

滋賀県立大学（第1期）トイレ改修工事

図面リスト												
工事区分	No.	図面名称	SCALE	工事区分	No.	図面名称	SCALE	工事区分	No.	図面名称	SCALE	
建築	A01	改修建築工事特記仕様書(1)	——	電気設備	E01		——	機械設備	M01	機械設備 特記仕様書	——	
	A02	改修建築工事特記仕様書(2)	——		[交流センター]	E02	1 交流センター 分電盤結線図		——	M02	全体配置図	1/1200
	A03	改修建築工事特記仕様書(3)	——			E03	1 交流センター 電灯コンセント設備工事図(改修)		1/50	M03	新設 衛生器具リスト	——
	A04	改修建築工事特記仕様書(4)・付近見取図	1/5000			E04	1 交流センター 電灯コンセント・弱電設備工事図(撤去)		1/50	M04	交流センター 給排水衛生設備 平面詳細図	1/50
	A05	全体配置図	1/1200			E05	1 交流センター 弱電設備工事図(改修)		1/50	M05	図書情報センター 給排水衛生設備 平面詳細図	1/50
	A06	配置図2	1/200 1/100			E06	1 交流センター 1階、2階弱電設備工事図		1/300	M06	体育館 給排水衛生設備 平面詳細図	1/50
	A07	平面図1(図書情報センター・管理棟・講義棟・体育館)	1/600 1/300		[図書情報センター]	E07	2 図書情報センター 分電盤結線図		——	M07	管理棟 給排水衛生設備 平面詳細図	1/50
	A08	平面図2(交流センター・園場実験施設・湖沼環境実験施設・地域共生センター)	1/300 1/200 1/100			E08	2 図書情報センター 電灯設備工事図(撤去・改修)		1/50	M08	講義棟・案内所 給排水衛生設備 平面詳細図	1/50
[交流センター]	A09	現況 平面詳細図・展開図	1/50		E09	2 図書情報センター コンセント設備工事図(撤去・改修)	1/50	M09	湖沼環境実験施設・共生センター 配置図	1/200		
	A10	改修後 平面詳細図・展開図	1/50		E10	2 図書情報センター 弱電設備工事図(撤去・改修)	1/50	M10	園場実験施設・湖沼環境実験施設・共生センター 給排水衛生設備 平面詳細図	1/50		
	A11	現況・改修後 天井伏せ図 建具リスト	1/100 1/50	[体育館]	E11	3 体育館 幹線設備工事図	1/100	M11	新設 換気機器リスト(1)	——		
[図書情報センター]	A12	現況1階 平面詳細図・天井伏図・部分断面詳細図・展開図	1/50 1/100		E12	3 体育館 電灯コンセント設備工事図(撤去・改修)	1/50	M12	新設 換気機器リスト(2)	——		
	A13	現況2階 平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50 1/100		E13	3 体育館 弱電設備工事図(撤去・改修)	1/100	M13	交流センター 換気設備 平面詳細図	1/50		
	A14	現況3階 平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50 1/100	[管理棟A0棟]	E14	4 管理棟 分電盤結線図	——	M14	図書情報センター 換気設備 平面詳細図	1/50		
	A15	改修後1階 平面詳細図・天井伏図・部分断面詳細図・展開図	1/50 1/100		E15	4 管理棟 電灯設備工事図(改修)	1/50	M15	体育館 換気設備 部分平面図	1/100		
	A16	改修後2階 平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50 1/100		E16	4 管理棟 コンセント設備工事図(改修)	1/50	M16	管理棟 換気設備 現況 平面詳細図	1/50		
	A17	改修後3階 平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50 1/100		E17	4 管理棟 電灯コンセント設備工事図(撤去)	1/50	M17	管理棟 換気設備 改修 平面詳細図	1/50		
	A18	建具リスト	1/50		E18	4 管理棟 弱電設備工事図(撤去・改修)	1/50	M18	講義棟・案内所 換気設備 平面詳細図	1/50		
[体育館]	A19	現況 平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50 1/100	[講義棟A1棟]	E19	5 講義棟 幹線・弱電設備工事図	1/100	M19	園場実験・共生センター・湖沼環境実験 換気設備 平面詳細図	1/50		
	A20	改修後 平面詳細図・天井伏図・展開図・建具リスト	1/50 1/100		E20	5 講義棟 電灯コンセント・弱電設備工事図(撤去・改修)	1/50	M20	保温施工標準図(1)	——		
[管理棟A0棟]	A21	現況1階 平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50 1/100	[案内所]	E21	6 案内所 電灯コンセント・弱電設備工事図(撤去・改修)	1/50	M21	保温施工標準図(2)	——		
	A22	現況2階 平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50 1/100	[園場実験施設棟]	E22	7 園場実験棟 幹線設備工事図	1/100					
	A23	現況3階 平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50 1/100		E23	7 園場実験棟 電灯コンセント設備工事図(撤去・改修)	1/50					
	A24	改修後1階 平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50 1/100		E24	7 園場実験棟 弱電設備工事図(撤去・改修)	1/50					
	A25	改修後2階 平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50 1/100	[湖沼環境実験施設棟]	E25	8 湖沼環境実験施設 電灯設備工事図(撤去・改修)	1/50					
	A26	改修後3階 平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50 1/100		E26	8 湖沼環境実験施設 コンセント設備工事図	1/50					
	A27	建具リスト	1/50		E27	8 湖沼環境実験施設 弱電・自火報設備工事図(撤去・改修)	1/50					
[講義棟A1棟]	A28	現況 平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50 1/100	[地域共生センター]	E28	9 共生センター 電灯設備工事図(撤去・改修)	1/50					
	A29	改修後 平面詳細図・天井伏図・展開図・建具リスト	1/50 1/100		E29	9 共生センター コンセント設備工事図(撤去・改修)	1/50					
[案内所]	A30	現況・改修後 平面詳細図・天井伏図・展開図・建具リスト	1/50 1/100		E30	9 共生センター 弱電設備工事図	1/50					
[園場実験施設棟]	A31	現況 平面詳細図・天井伏図・断面詳細図・展開図	1/50 1/100									
	A32	改修後 平面詳細図・天井伏図・断面詳細図・展開図・建具リスト	1/50 1/100									
[湖沼環境実験施設棟]	A33	現況 平面詳細図・天井伏図・断面詳細図・展開図	1/50 1/100									
	A34	改修後 平面詳細図・天井伏図・断面詳細図・展開図・建具リスト	1/50 1/100									
[地域共生センター]	A35	現況 平面詳細図・天井伏図・展開図	1/50 1/100									
	A36	改修後 平面詳細図・天井伏図・展開図・建具リスト	1/50 1/100									
[共通]	A37	サイン詳細図1	1/2 1/10									
	A38	サイン詳細図2	1/2 1/10									
	A39	サイン詳細図3	1/2 1/3									

内装改修工事	20	鉄筋	異形鉄筋 ※JIS G3112 種類 ※SD295A (表5.2.1) ※標準仕様書による。
	21	鉄筋の加工及び組立	鉄筋の継手 ※重ね継手 (5.3.2~3) (表5.3.2~3)
	22	土間・157コンクリート	仕様が示による 構造体補正有り (6.2.2~5・表6.3.2・6.1.4.3)
	23	排水溝底打コンクリート	仕様が示による 構造体補正無し (6.2.2~5・表6.3.2・6.1.4.3)
	24	軽量コンクリート	※1種 ※設計基準強度 24 N/mm ² 気乾単位容積重量 (t/m ³) ※1.0~2.1 (6.10.1)
	25	鉄骨 鋼材の種類	SS400 ・ S5400 ・ STR400 (7.2.1)
	26	鉄骨 工作図	作成する。 (7.3.2)
	27	鉄骨 溶接部の試験	浸透探査試験 (7.6.11・7.6.12)
	28	鉄骨 錆止め塗装	※表18.3.1 A種 (7.8.3)
	29	A.L.Cパネル	外壁用 単位荷重 (N/mm ²) ・1,176.8 厚さ (mm) ・100 ・50 (8.4.2) 下地補強鉄骨材は全てA.L.C板工事 (メーカー仕様による) 外壁パネル工法 ・ 二次接着ロック工法 ※開口補強アル型材は全てA.L.C板工事 (8.4.4)

ユニットその他工事	30	断熱材現場発泡工法	材質 硬質ウレタンフォームA-1相当 吹付厚さ 壁 50mm (19.9.3)
	31	断熱材	材質 グラスウール24K相当 厚さ 壁 50mm 100mm

ユニットその他工事	1	表示等	室名札 面付型 ・ 持出型 (スイングタイプ) 凸字型 ※文字書き入れ共 ピクトグラフ 硬所標識 ・ 車いす標識 (案内表示付き) 階段標識 材質 アクリル製 ・ 木製 アルミ製 ステンレス製
	2	カーテン	既存再使用する (養生方法:) [2.3.1] [5.1.6] 新設する (日焼け防止用) (20.2.14)
	3	カーテンレール	既存再使用する [5.1.6] 新設する (シングル ・ ダブル) (20.2.14) 材質 ※アルミニウム製 ・ ステンレス製 形式 ・ 片引き ・ 引分け (※増幅用は300mm以上の召合せの重掛けとする) ・ ()
	4	カーテンボックス	既存再使用する ・ 図示 [5.1.6] 新設する 市販品 (アルミニウム製 押出し型材) ・ 塗り付け (木製 検) 溝幅×深さ (mm) ・ 90×150 ※120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示 色彩 ※B-1 ・ B-2 (※ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)
	5	カウンター面台	カウンター・櫃: アイカ MDFメラミン板仕上 KEAタイプ 又は同等メーカー品 面台: アイカ MDFメラミン板仕上 KPAタイプ 又は同等メーカー品
	6	汚垂石	TOTO ハイドロセラ・フロPU (薄型) KPAタイプ 又は同等メーカー品
	7	消火器	ABC10型 ボックス共
	8	近隣対応について	仮囲いは図示による他、安全確保として仮設計画書の資料を立案し、監督職員・担当者と協議の上、承認を得て、必要部分に随時設けること。 敷地周辺の指定場所に、周辺住民に工事進捗状況を周知する工程看板を設置すること。 重機及び廃棄物運搬車の搬入経路は、しっかり養生を行うこと。又、搬入時において道路等に損傷を与えたり汚した場合は受注者の責任において現状復帰すること。又、処分場までの道路を撮影すること。 工事着手前に当該施設及び付近の状況を調査し、公害並びに安全対策工事完了時まで護じること。突一目曜機=騒音の工事作業は原則として禁止する。 工事関係車両の出入り通過については危険防止に努めると共に、出入口及び必要箇所必ず安全監視員を配置すること。 産業廃棄物及び産業廃棄物以外の廃棄物は、搬出簿を作成し、産業廃棄物管理票(7-211)のA票、B票、D票、E票の写しを添えて工事関係車両の出入り通過については危険防止に努めると共に、出入口及び必要箇所必ず安全監視員を配置すること。 産業廃棄物及び産業廃棄物以外の廃棄物は、搬出簿を作成し、産業廃棄物管理票(7-211)のA票、B票、D票、E票の写しを添えて提出する。 工事写真等は取り壊し前、取り壊し中、取り壊し後を撮影する。 受注者は、工事に伴う、道路占用許可、公害(騒音・粉塵)対策に係る。 諸申請書類を法令に照らし合わせ必要な手続きを行い、工事進捗のこと。 工事着手前に先立ち、建築基準法第15条第1項の規定による建築物除去高及び建築行為の届け、及び工事に関する一切の届出を所轄官庁に提出する事。 工事施工中、周辺道路、工作物、農地には工事による支障をきたさぬよう十分に配慮すること。又、事前事後の調査(写真撮影)を行い、不備があった場合は、速急に復旧すること。 工事施工中、敷地内外の清掃、除草等、環境美化に努力すること。 工事施工中、現場より発生する建設産業廃棄物は関係法規を遵守し、適正処理を行うこと。 低騒音型、低振動型建設機械指定要項に基づき、指定された建設機械を使用すること。 緊急時の連絡体制は必ず現場事務所に設置し監督職員に提出すること。 下記の緊急時体制表を提出し、対策について監督職員の承認を得ること。 自然災害(気象時) ・ 掘削面の崩壊・足場、仮囲いの倒壊 自然災害(地震時) ・ 火災、燃料の流出、掘削面の崩壊、足場からの転落 事故(運輸事故) ・ 人身事故、車両事故、廃棄物の飛散・流出 事故(作業事故) ・ 車両どうしの接触、重機の転倒、巻き込まれ、掘削面の崩壊、転落 事故(施設事故) ・ 停電、電線、電話線の切断、解体建物の崩壊 その他異常時(周辺環境事故) ・ 現場周辺への廃棄物漏洩 その他異常時(周辺環境事故) ・ 現場周辺への廃棄物漏洩 低騒音型・低振動型建設機械指定要項に基づき、指定された建設機械を使用すること。 特別管理産業廃棄物及び特殊な建設副産物について、調査を行い適正に処理すること 溶断等火気を使用する場合は、火の粉等が飛散しないよう対策を講じるとともに、火気を使用する付近に消火器を準備すること。 工事現場の整理整頓を行い、事故、有害物の漏洩のない現場整理を行うこと。 解体材を敷地内において焼却したり埋設することは認めない。また、Sは破片を破さないよう、特に注意すること。 既設建築物で、本工事に影響のある部分はすべて解体撤去処分とする。見切りは原則として、すべて1/10(1/10)切り切りによるものとする。 解体に伴う仮囲い、養生等は、受注者の責任において騒音、粉塵が発生しないよう十分に配慮すること。 解体建物(解体する建物内外にある備品、機器類すべてを含む)は特記なき限り、地盤下も含め分別解体撤去すること。(地盤下は捨て30kg-を含むものとし、埋切りまたは埋戻しとする。) 廃材処分場の廃材投棄場所等については請負人において選定し、事前に監督員に報告すると共に産業廃棄物処理法に基づき契約を締結すること。 工事実施にあたっては、風向き等に留意し近隣に迷惑を及ぼさぬ様配慮し、必要ある時は監督員と協議の上工事の一時中止の措置を行うこと。 解体作業により万一近隣建物及び工作物に損傷を与えたり、その構造機能を低下させた場合は、請負人の責任において現状に復旧すること。また、搬入出時において道路等に損傷を与えたり、汚した場合は請負人の責任において現状に復旧すること。 工事中は通時散水を行い、粉塵の飛散を極力防止すること。 解体に先立ち、図示部分以外についても建材等のアスベスト含有の有無を確認し、含有する建材等があった場合は監督員に直ちに報告し、その処理方法について協議すること。 アスベスト成形材については、関係法令等に基づき専門業者が所定の方法で解体撤去し、適切に処分すること。 外壁吹付材のアスベスト含有の有無を調査すること。 外壁吹付材のアスベスト含有が確認された場合は、速やかに監督職員と対応を協議すること。
	9	仮設工事等	仮設工事等
	10	騒音振動の防止	騒音振動の防止
11	その他の注意事項	その他の注意事項	

排水工事	1	排水溝	種類 ・ U字溝 ・ 現場打倒溝 ・ 勾配可変溝 ふたの種類 ・ グレーチング蓋 歩道用ノンスリップ編目 ・ コンクリート蓋 ・ 天然石充填透水蓋 カネソウ同等品 ・ 樹脂製蓋 ・ 化粧蓋 カネソウ同等品
	2	排水管	種類 ・ 硬質塩化ビニル管(※VP・VU) (21.2.1) ・ 塩心鉄筋コンクリート管(外径管 ※1種・2種) ・ リサイクル繊維ポリ塩化ビニル管(RS-VU、RF-VP)
	3	排水ます	車道部の排水溝の敷設 ※ 図示 ・ 砂基礎(地盤厚さ200mm以上 材料:山砂の類) (21.2.2) ますの種類 ・ 現場施工 ・ 既製品(環境に配慮した材料として一般廃棄物の溶融融化物等を極力使用すること。製品は、JIS製品。JISに規定のない製品は、JIS工機製作品又は同等品とする。)

舗装工事	1	路床	遮断層 ※ 設ける(川砂・山砂) ・ 設けない ・ 厚さ (22.2.2) (22.2.3) CBR試験 ・ 行わない ・ 行う (22.2.5) 締固め度試験 ・ 行わない ・ 行う
	2	路盤	種類 ※ 再生クラッシュラン RC-40 ・ クラッシュラン C-40 (22.3.2) (22.3.3) 厚さ: 150 (mm)
	3	アスファルト舗装	アスファルト舗装 材質: ※ 再生アスファルト ・ ストレートアスファルト (22.4.2a~4) 車道部の基層 ※ なし 厚さ(mm) 表層 ※ 50 ・ ・ あり 厚さ(mm) 表層 ※ 30 ・ 基層 ※ 50 ・ 締固め度試験 ・ シールコート ・ 行わない ・ 行う (22.4.5) ・ 混合物の抽出試験 ・ 行わない ・ 行う (22.4.6) ・ 締固めの厚及び締固め度試験 ※ 行う
	4	コンクリート舗装	注入目地材料 ・ 使用しない ・ 使用しない (表22.5.2) 溶接金網 ※ あり ・ なし (22.5.3.4) 厚さ試験 ・ 行わない ・ 行う (22.5.6) 混合物の試験 ・ 行わない ・ 行う ニート工法の試験 ・ 行わない ・ 行う 塗布工法の試験 ・ 行わない ・ 行う
	5	カラー舗装	カラー舗装 材質: ※ 着色加熱アスファルト混合物(表層の種類 ※ 粒粒 ・ 粒粒) (22.4.2a~4) 車道部の基層 ※ なし 厚さ(mm) 表層 ※ 50 ・ ・ あり 厚さ(mm) 表層 ※ 30 ・ 基層 ※ 50 ・ (22.6.6) 透水試験 ・ 行う (22.7.6)
	6	透水性アスファルト舗装	舗装厚さの試験 ・ 混合物の抽出試験 (22.7.6)
	7	透水性アスファルト舗装	種類 ・ 改質アスファルトI類 ※ 改質アスファルトII類 (22.8.2) (22.8.3)

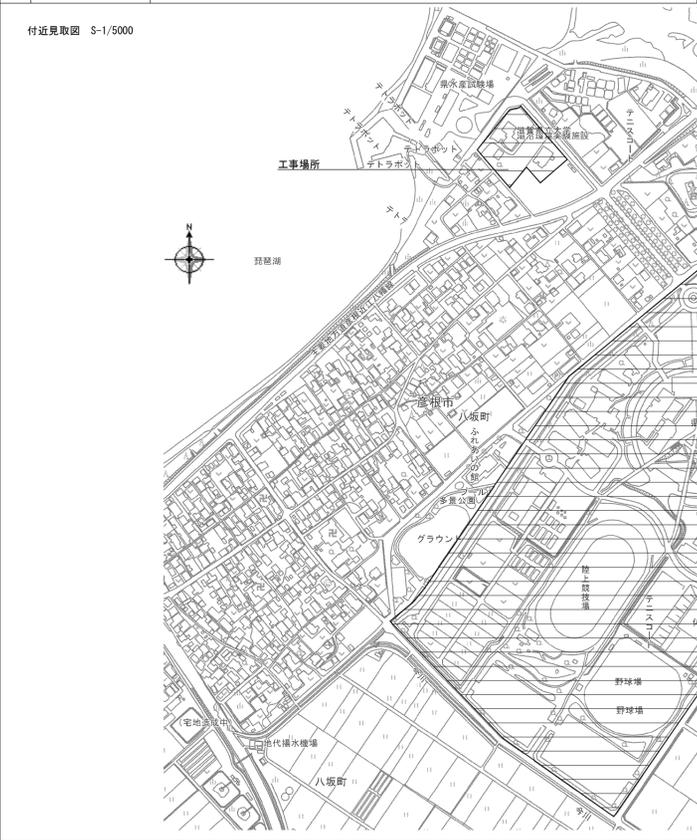
8	ブロック系舗装	・ コンクリート平板舗装 (22.9.2) (22.9.3) 種類 ※ 普通平板 ・ カラー平板 ・ 洗い出平板 ・ 縦石平板 寸法(mm) ※ 300角 ・ 厚さ(mm) ※ 目地材 ※ 砂 ・ モルタル ・ インターロッキングブロック舗装 (22.9.3) 種類 ※ 標準ブロック ・ 透水性ブロック ・ 溝溝、注意喚起用ブロック ・ 厚さ(mm) ・ 縦石舗装 基層の種類 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 (22.9.2) (22.8.3) 種類 形状寸法 品 質 J I S K 5 6 6 5 による。 ※ 3種1号 ・ 色 ・ 寸法 幅(mm) ※ 150 ・ 100 ・ 50 厚さ(mm) ※ 1 ・ 0 施工 ※ 溶融式 11 縦石等 12 砂利敷 (22.10.2) 歩道境界ブロック 形状寸法 ・ 図示	
	9	真砂土舗装	形状寸法
	10	路面表示用塗料	品 質 J I S K 5 6 6 5 による。 ※ 3種1号 ・ 色 ・ 寸法 幅(mm) ※ 150 ・ 100 ・ 50 厚さ(mm) ※ 1 ・ 0 施工 ※ 溶融式
	11	縦石等	形状寸法
	12	砂利敷	形状寸法 ・ 図示
	13	設備基礎コンクリート	仕様が示による 構造体補正無し (6.2.2~5・表6.3.2・6.1.4.3)
	14	土間コンクリート	仕様が示による 構造体補正無し (6.2.2~5・表6.3.2・6.1.4.3)

13	1	一般共通事項	・ 本工事は、工事請負契約及び約款を遵守し、本特記仕様書、図面により完全施工すること。 ・ 受注者は、工事の内容に応じた建設工事保険等を付するものとする。 ・ 着工に先立ち調査を行い、施工計画書を作成して監督職員に提出し、協議を行うこと。 ・ 施工計画書は、解体共通仕様書に基づき作成すること。又産業廃棄物の搬出運搬経路図、運搬車両ナンバー一覧を添付すること。 ・ 技術者は、別途運搬工事が発生する場合、その施工者と密な連絡をとり、全工事支障ないよう施工のこと。 受注者は、工事の着手前及び完了後に、図示部分の近隣家屋・工作物等の密な調査を実施し、工事に起因する損傷の有無を確認し、記憶すること。 万一、損傷が発生した場合は受注者の責任において現状に復旧すること。又、受注者自ら必要と思われる図示以外の近隣家屋工作物についても同様とする。 ・ 受注者は工事期間中、近隣施設及び近隣自治会との調整を随時随時すること。 ・ 近隣に対する工事騒音、臭気が発生する工事(工事着手日、搬入ルート)は、監督職員に事前報告をし、近隣への告知等の対応を行うこと。
	2	仮設工事等	仮囲いは図示による他、安全確保として仮設計画書の資料を立案し、監督職員・担当者と協議の上、承認を得て、必要部分に随時設けること。 敷地周辺の指定場所に、周辺住民に工事進捗状況を周知する工程看板を設置すること。 重機及び廃棄物運搬車の搬入経路は、しっかり養生を行うこと。又、搬入時において道路等に損傷を与えたり汚した場合は受注者の責任において現状復帰すること。又、処分場までの道路を撮影すること。 工事着手前に当該施設及び付近の状況を調査し、公害並びに安全対策工事完了時まで護じること。突一目曜機=騒音の工事作業は原則として禁止する。 工事関係車両の出入り通過については危険防止に努めると共に、出入口及び必要箇所必ず安全監視員を配置すること。 産業廃棄物及び産業廃棄物以外の廃棄物は、搬出簿を作成し、産業廃棄物管理票(7-211)のA票、B票、D票、E票の写しを添えて工事関係車両の出入り通過については危険防止に努めると共に、出入口及び必要箇所必ず安全監視員を配置すること。 産業廃棄物及び産業廃棄物以外の廃棄物は、搬出簿を作成し、産業廃棄物管理票(7-211)のA票、B票、D票、E票の写しを添えて提出する。 工事写真等は取り壊し前、取り壊し中、取り壊し後を撮影する。 受注者は、工事に伴う、道路占用許可、公害(騒音・粉塵)対策に係る。 諸申請書類を法令に照らし合わせ必要な手続きを行い、工事進捗のこと。 工事着手前に先立ち、建築基準法第15条第1項の規定による建築物除去高及び建築行為の届け、及び工事に関する一切の届出を所轄官庁に提出する事。 工事施工中、周辺道路、工作物、農地には工事による支障をきたさぬよう十分に配慮すること。又、事前事後の調査(写真撮影)を行い、不備があった場合は、速急に復旧すること。 工事施工中、敷地内外の清掃、除草等、環境美化に努力すること。 工事施工中、現場より発生する建設産業廃棄物は関係法規を遵守し、適正処理を行うこと。 低騒音型、低振動型建設機械指定要項に基づき、指定された建設機械を使用すること。 緊急時の連絡体制は必ず現場事務所に設置し監督職員に提出すること。 下記の緊急時体制表を提出し、対策について監督職員の承認を得ること。 自然災害(気象時) ・ 掘削面の崩壊・足場、仮囲いの倒壊 自然災害(地震時) ・ 火災、燃料の流出、掘削面の崩壊、足場からの転落 事故(運輸事故) ・ 人身事故、車両事故、廃棄物の飛散・流出 事故(作業事故) ・ 車両どうしの接触、重機の転倒、巻き込まれ、掘削面の崩壊、転落 事故(施設事故) ・ 停電、電線、電話線の切断、解体建物の崩壊 その他異常時(周辺環境事故) ・ 現場周辺への廃棄物漏洩 その他異常時(周辺環境事故) ・ 現場周辺への廃棄物漏洩 低騒音型・低振動型建設機械指定要項に基づき、指定された建設機械を使用すること。 特別管理産業廃棄物及び特殊な建設副産物について、調査を行い適正に処理すること 溶断等火気を使用する場合は、火の粉等が飛散しないよう対策を講じるとともに、火気を使用する付近に消火器を準備すること。 工事現場の整理整頓を行い、事故、有害物の漏洩のない現場整理を行うこと。 解体材を敷地内において焼却したり埋設することは認めない。また、Sは破片を破さないよう、特に注意すること。 既設建築物で、本工事に影響のある部分はすべて解体撤去処分とする。見切りは原則として、すべて1/10(1/10)切り切りによるものとする。 解体に伴う仮囲い、養生等は、受注者の責任において騒音、粉塵が発生しないよう十分に配慮すること。 解体建物(解体する建物内外にある備品、機器類すべてを含む)は特記なき限り、地盤下も含め分別解体撤去すること。(地盤下は捨て30kg-を含むものとし、埋切りまたは埋戻しとする。) 廃材処分場の廃材投棄場所等については請負人において選定し、事前に監督員に報告すると共に産業廃棄物処理法に基づき契約を締結すること。 工事実施にあたっては、風向き等に留意し近隣に迷惑を及ぼさぬ様配慮し、必要ある時は監督員と協議の上工事の一時中止の措置を行うこと。 解体作業により万一近隣建物及び工作物に損傷を与えたり、その構造機能を低下させた場合は、請負人の責任において現状に復旧すること。また、搬入出時において道路等に損傷を与えたり、汚した場合は請負人の責任において現状に復旧すること。 工事中は通時散水を行い、粉塵の飛散を極力防止すること。 解体に先立ち、図示部分以外についても建材等のアスベスト含有の有無を確認し、含有する建材等があった場合は監督員に直ちに報告し、その処理方法について協議すること。 アスベスト成形材については、関係法令等に基づき専門業者が所定の方法で解体撤去し、適切に処分すること。 外壁吹付材のアスベスト含有の有無を調査すること。 外壁吹付材のアスベスト含有が確認された場合は、速やかに監督職員と対応を協議すること。
	3	仮設工事等	仮設工事等
	4	騒音振動の防止	騒音振動の防止
	5	その他の注意事項	その他の注意事項

13	1	一般共通事項	・ 本工事は、工事請負契約及び約款を遵守し、本特記仕様書、図面により完全施工すること。 ・ 受注者は、工事の内容に応じた建設工事保険等を付するものとする。 ・ 着工に先立ち調査を行い、施工計画書を作成して監督職員に提出し、協議を行うこと。 ・ 施工計画書は、解体共通仕様書に基づき作成すること。又産業廃棄物の搬出運搬経路図、運搬車両ナンバー一覧を添付すること。 ・ 技術者は、別途運搬工事が発生する場合、その施工者と密な連絡をとり、全工事支障ないよう施工のこと。 受注者は、工事の着手前及び完了後に、図示部分の近隣家屋・工作物等の密な調査を実施し、工事に起因する損傷の有無を確認し、記憶すること。 万一、損傷が発生した場合は受注者の責任において現状に復旧すること。又、受注者自ら必要と思われる図示以外の近隣家屋工作物についても同様とする。 ・ 受注者は工事期間中、近隣施設及び近隣自治会との調整を随時随時すること。 ・ 近隣に対する工事騒音、臭気が発生する工事(工事着手日、搬入ルート)は、監督職員に事前報告をし、近隣への告知等の対応を行うこと。
	2	仮設工事等	仮囲いは図示による他、安全確保として仮設計画書の資料を立案し、監督職員・担当者と協議の上、承認を得て、必要部分に随時設けること。 敷地周辺の指定場所に、周辺住民に工事進捗状況を周知する工程看板を設置すること。 重機及び廃棄物運搬車の搬入経路は、しっかり養生を行うこと。又、搬入時において道路等に損傷を与えたり汚した場合は受注者の責任において現状復帰すること。又、処分場までの道路を撮影すること。 工事着手前に当該施設及び付近の状況を調査し、公害並びに安全対策工事完了時まで護じること。突一目曜機=騒音の工事作業は原則として禁止する。 工事関係車両の出入り通過については危険防止に努めると共に、出入口及び必要箇所必ず安全監視員を配置すること。 産業廃棄物及び産業廃棄物以外の廃棄物は、搬出簿を作成し、産業廃棄物管理票(7-211)のA票、B票、D票、E票の写しを添えて工事関係車両の出入り通過については危険防止に努めると共に、出入口及び必要箇所必ず安全監視員を配置すること。 産業廃棄物及び産業廃棄物以外の廃棄物は、搬出簿を作成し、産業廃棄物管理票(7-211)のA票、B票、D票、E票の写しを添えて提出する。 工事写真等は取り壊し前、取り壊し中、取り壊し後を撮影する。 受注者は、工事に伴う、道路占用許可、公害(騒音・粉塵)対策に係る。 諸申請書類を法令に照らし合わせ必要な手続きを行い、工事進捗のこと。 工事着手前に先立ち、建築基準法第15条第1項の規定による建築物除去高及び建築行為の届け、及び工事に関する一切の届出を所轄官庁に提出する事。 工事施工中、周辺道路、工作物、農地には工事による支障をきたさぬよう十分に配慮すること。又、事前事後の調査(写真撮影)を行い、不備があった場合は、速急に復旧すること。 工事施工中、敷地内外の清掃、除草等、環境美化に努力すること。 工事施工中、現場より発生する建設産業廃棄物は関係法規を遵守し、適正処理を行うこと。 低騒音型、低振動型建設機械指定要項に基づき、指定された建設機械を使用すること。 緊急時の連絡体制は必ず現場事務所に設置し監督職員に提出すること。 下記の緊急時体制表を提出し、対策について監督職員の承認を得ること。 自然災害(気象時) ・ 掘削面の崩壊・足場、仮囲いの倒壊 自然災害(地震時) ・ 火災、燃料の流出、掘削面の崩壊、足場からの転落 事故(運輸事故) ・ 人身事故、車両事故、廃棄物の飛散・流出 事故(作業事故) ・ 車両どうしの接触、重機の転倒、巻き込まれ、掘削面の崩壊、転落 事故(施設事故) ・ 停電、電線、電話線の切断、解体建物の崩壊 その他異常時(周辺環境事故) ・ 現場周辺への廃棄物漏洩 その他異常時(周辺環境事故) ・ 現場周辺への廃棄物漏洩 低騒音型・低振動型建設機械指定要項に基づき、指定された建設機械を使用すること。 特別管理産業廃棄物及び特殊な建設副産物について、調査を行い適正に処理すること 溶断等火気を使用する場合は、火の粉等が飛散しないよう対策を講じるとともに、火気を使用する付近に消火器を準備すること。 工事現場の整理整頓を行い、事故、有害物の漏洩のない現場整理を行うこと。 解体材を敷地内において焼却したり埋設することは認めない。また、Sは破片を破さないよう、特に注意すること。 既設建築物で、本工事に影響のある部分はすべて解体撤去処分とする。見切りは原則として、すべて1/10(1/10)切り切りによるものとする。 解体に伴う仮囲い、養生等は、受注者の責任において騒音、粉塵が発生しないよう十分に配慮すること。 解体建物(解体する建物内外にある備品、機器類すべてを含む)は特記なき限り、地盤下も含め分別解体撤去すること。(地盤下は捨て30kg-を含むものとし、埋切りまたは埋戻しとする。) 廃材処分場の廃材投棄場所等については請負人において選定し、事前に監督員に報告すると共に産業廃棄物処理法に基づき契約を締結すること。 工事実施にあたっては、風向き等に留意し近隣に迷惑を及ぼさぬ様配慮し、必要ある時は監督員と協議の上工事の一時中止の措置を行うこと。 解体作業により万一近隣建物及び工作物に損傷を与えたり、その構造機能を低下させた場合は、請負人の責任において現状に復旧すること。また、搬入出時において道路等に損傷を与えたり、汚した場合は請負人の責任において現状に復旧すること。 工事中は通時散水を行い、粉塵の飛散を極力防止すること。 解体に先立ち、図示部分以外についても建材等のアスベスト含有の有無を確認し、含有する建材等があった場合は監督員に直ちに報告し、その処理方法について協議すること。 アスベスト成形材については、関係法令等に基づき専門業者が所定の方法で解体撤去し、適切に処分すること。 外壁吹付材のアスベスト含有の有無を調査すること。 外壁吹付材のアスベスト含有が確認された場合は、速やかに監督職員と対応を協議すること。
	3	仮設工事等	仮設工事等
	4	騒音振動の防止	騒音振動の防止
	5	その他の注意事項	その他の注意事項

13	1	一般事項	石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)以下、「石綿等」という。)、大気汚染防止法(環境省)を遵守すること。 ●施工調査 [6.1.3]<9.1.1(d)> ※ 行う (調査結果は図面に記録し、監督職員に提出すること。調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。) 調査場所 ※ 図示 (掘削内) 調査事項 ※ アスベスト含有建材等の種類、厚さ ※ 施工範囲と工事範囲区分 ※ 廃棄物などの搬出方法 ・ 行わない。 ●アスベスト含有分析 6物質分析 ・ 行う (分析結果は監督職員に提出する。) 分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。 ●工事前の調査、分析等
	2	除去工事共通事項	専門業者 ※ [6.2.1]<9.1.2(a)> アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出すること。 作業主任者の選出 [6.2.2]<9.1.2(b)> 石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。 除去作業者の教育 [6.2.3]<9.1.2(c)> 作業者は、就業時に石綿第27条に基づく教育を受けたものとする。 また、一般健康診断、じん肺健康診断を受診したものとし、肺機能に異常のないものとする。 特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 <9.1.2(d)> 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理しなければならない。ただし、アスベスト含有成形材の処理工事を除く。 表示及び掲示 [6.2.4]<9.1.2(f)> 更衣室など見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。 ※ アスベスト作業主任者名と職務内容 ※ 関係者以外立入禁止 ※ 喫煙・飲食の禁止 ※ 「アスベスト除去作業中」の表示 ※ アスベストの有害性 ※ 取り扱ひ上の注意事項 ※ 使用済み保護具 周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。 ※ 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制装置、塵埃防止措置等)」 保護員、保護衣 [6.2.5]<9.1.2(g)> 作業内容に応じた、呼吸用保護具、保護めがねを使用すること。 除去したアスベスト含有物の保管、運搬等 [6.3.3]<9.1.3(c)>[9.1.4(a)>[9.1.5(d)> ※ 他の内装材、廃棄物等と分別保管 ※ 保管場所での飛散防止を施す。また、アスベスト成形材を運搬する場合は、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 ※ アスベスト等の保管場所である旨の表示を行う。 本工事に必要な書類の作成、請負人への申請、届出の手続きは請負人が代行し、これに要する費用は請負人で行うこと。 アスベスト含有吹き付け材の除去工事 <9.1.3(b)> ・ 行う ・ 行わない 適用範囲 ※ 図示 (A8・9・11・13・15・21) 外壁撤去工法: 全面養生上、剝離併用工具ケレン工法
	3	アスベスト含有吹き付け材の除去	アスベスト含有吹き付け材の除去工事 <9.1.3(b)> ・ 行う ・ 行わない 適用範囲 ※ 図示 (A8・9・11・13・15・21) 外壁撤去工法: 全面養生上、剝離併用工具ケレン工法

13	2	除去工事共通事項	専門業者 ※ [6.2.1]<9.1.2(a)> アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出すること。 作業主任者の選出 [6.2.2]<9.1.2(b)> 石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。 除去作業者の教育 [6.2.3]<9.1.2(c)> 作業者は、就業時に石綿第27条に基づく教育を受けたものとする。 また、一般健康診断、じん肺健康診断を受診したものとし、肺機能に異常のないものとする。 特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 <9.1.2(d)> 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理しなければならない。ただし、アスベスト含有成形材の処理工事を除く。 表示及び掲示 [6.2.4]<9.1.2(f)> 更衣室など見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。 ※ アスベスト作業主任者名と職務内容 ※ 関係者以外立入禁止 ※ 喫煙・飲食の禁止 ※ 「アスベスト除去作業中」の表示 ※ アスベストの有害性 ※ 取り扱ひ上の注意事項 ※ 使用済み保護具 周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。 ※ 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制装置、塵埃防止措置等)」 保護員、保護衣 [6.2.5]<9.1.2(g)> 作業内容に応じた、呼吸用保護具、保護めがねを使用すること。 除去したアスベスト含有物の保管、運搬等 [6.3.3]<9.1.3(c)>[9.1.4(a)>[9.1.5(d)> ※ 他の内装材、廃棄物等と分別保管 ※ 保管場所での飛散防止を施す。また、アスベスト成形材を運搬する場合は、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 ※ アスベスト等の保管場所である旨の表示を行う。 本工事に必要な書類の作成、請負人への申請、届出の手続きは請負人が代行し、これに要する費用は請負人で行うこと。 アスベスト含有吹き付け材の除去工事 <9.1.3(b)> ・ 行う ・ 行わない 適用範囲 ※ 図示 (A8・9・11・13・15・21) 外壁撤去工法: 全面養生上、剝離併用工具ケレン工法
	3	アスベスト含有吹き付け材の除去	アスベスト含有吹き付け材の除去工事 <9.1.3(b)> ・ 行う ・ 行わない 適用範囲 ※ 図示 (A8・9・11・13・15・21) 外壁撤去工法: 全面養生上、剝離併用工具ケレン工法



◆NOTE◆	DRAWN	CHECKED	DATE

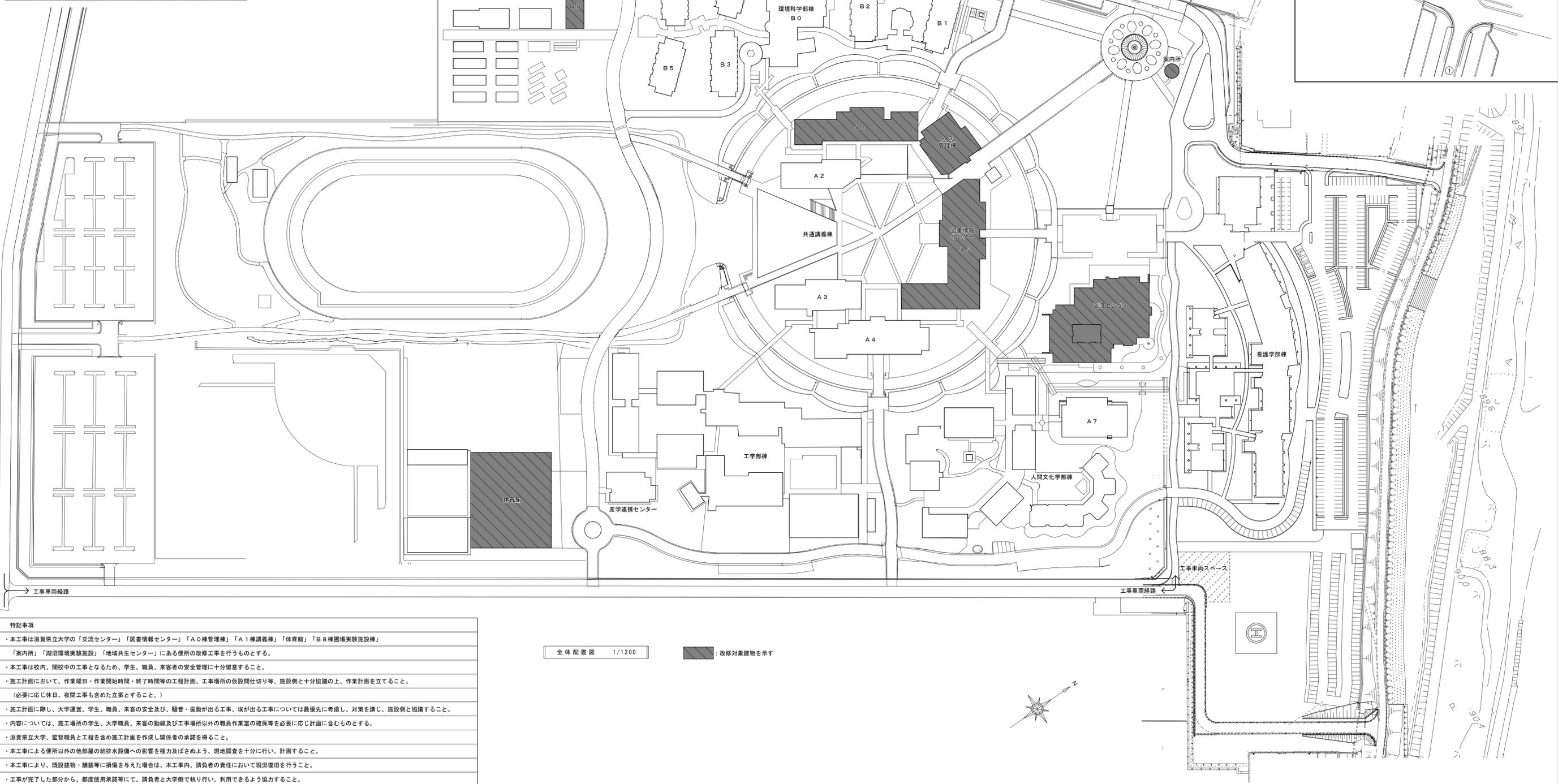
管理建築士 一級建築士(大匠)登録229265号 大村 悟子	株式会社 大村建築設計事務所 一級建築士事務所 代表取締役 大村 修 TEL (0749) 62-2651
-----------------------------------	---

◆TITLE◆	滋賀県立大学(第1期)トイレ改修工事
---------	--------------------

◆SHEET TITLE◆	特記仕様書(4)		
◆SCALE◆			
MANAGER	CHECKED	DRAWN	DRAWN
A-4	39 枚ノ内		
◆SHEET No◆			

＜本工事参考工程表＞

令和3年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
トイレ 改修工事	準備期間					竣工
【交流センター】	仮設・解体	内部改修	部分検査			
【図書センター】	3F 仮設・解体	内部改修	部分検査	2F 仮設・解体	内部改修	部分検査
【体育館】	1F 仮設・解体	内部改修	部分検査			
【管理棟】	3F 仮設・解体	内部改修	部分検査	2F 仮設・解体	内部改修	部分検査
【講義棟】	1F 仮設・解体	内部改修	部分検査			
【案内所】	仮設・解体	内部改修	部分検査			
【園地 実験施設】			仮設・解体	内部改修	部分検査	
【湖沼環境 実験棟】			仮設・解体	内部改修	部分検査	
【共生センター】	仮設・解体	内部改修	部分検査			



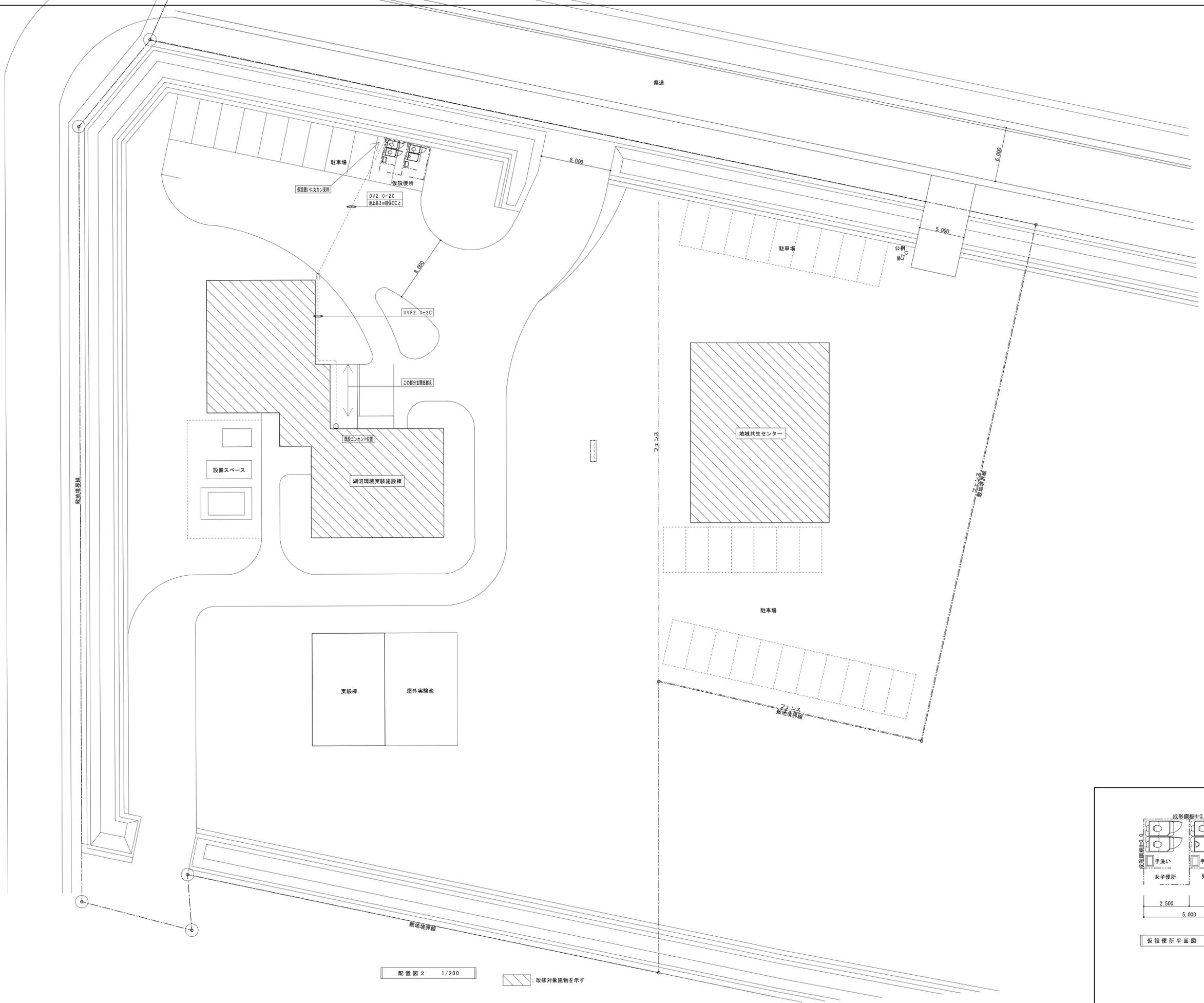
特記事項

- ・本工事は滋賀県立大学の「交流センター」「図書情報センター」「A0棟管理棟」「A1棟講義棟」「体育館」「B8棟園地実験施設」「案内所」「湖沼環境実験施設」「地域共生センター」にある便所の改修工事を行うものとする。
- ・本工事は校内、開校中の工事となるため、学生、職員、来客者の安全管理に十分留意すること。
- ・施工計画において、作業曜日・作業開始時間・終了時間等の工程計画、工事場所の仮設間仕切り等、施設側と十分協議の上、作業計画を立てること。
- （必要に応じ休日、夜間工事も含めた立案とする。）
- ・施工計画に際し、大学運営、学生、職員、来客の安全及び騒音・振動が出る工事、埃が出る工事については最優先に考慮し、対策を講じ、施設側と協議すること。
- ・内容については、施工場所の学生、大学職員、来客の動線及び工事場所以外の職員作業室の確保等を必要に応じ計画に含むものとする。
- ・滋賀県立大学、監督職員と工程を含め施工計画を作成し関係者の承認を得ること。
- ・本工事による便所以外の他部屋の給排水設備への影響を極力及ばせよう、現地調査を十分にを行い、計画すること。
- ・本工事により、既設建物・舗装等に損傷を与えた場合は、本工区内、請負者の責任において現状復旧を行うこと。
- ・工事が完了した部分から、都度使用承諾等にて、請負者と大学側で取り合い、利用できるよう協力すること。

全体配置図 1/1200

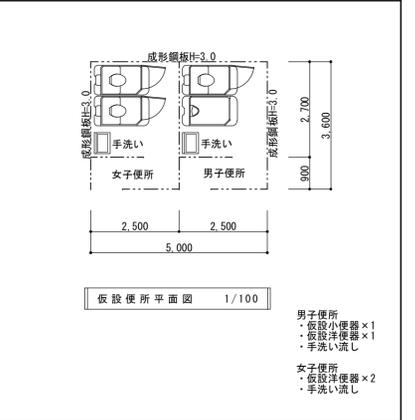
改修対象建物を示す





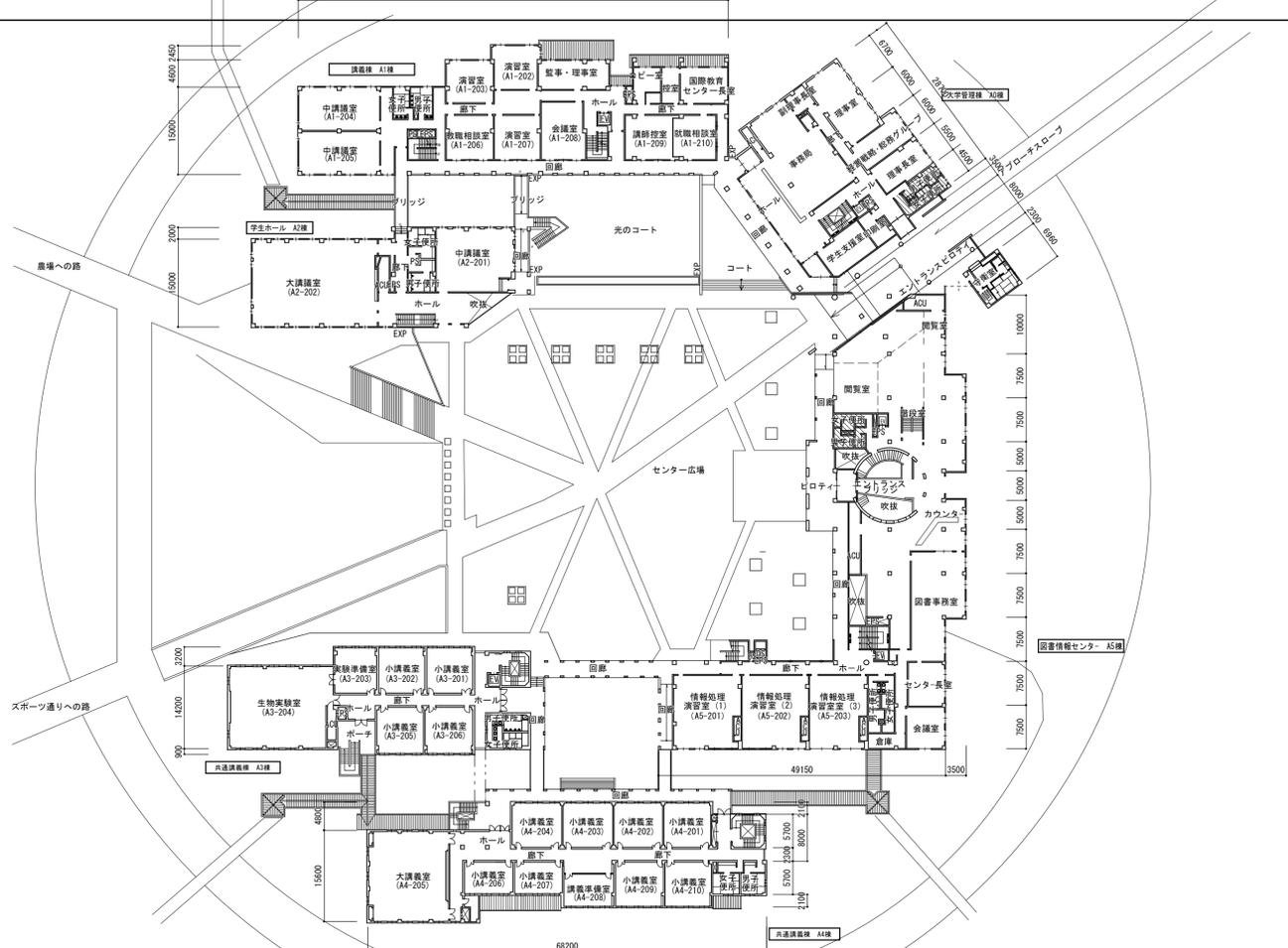
配置図 2 1/200

改修対象建物を示す

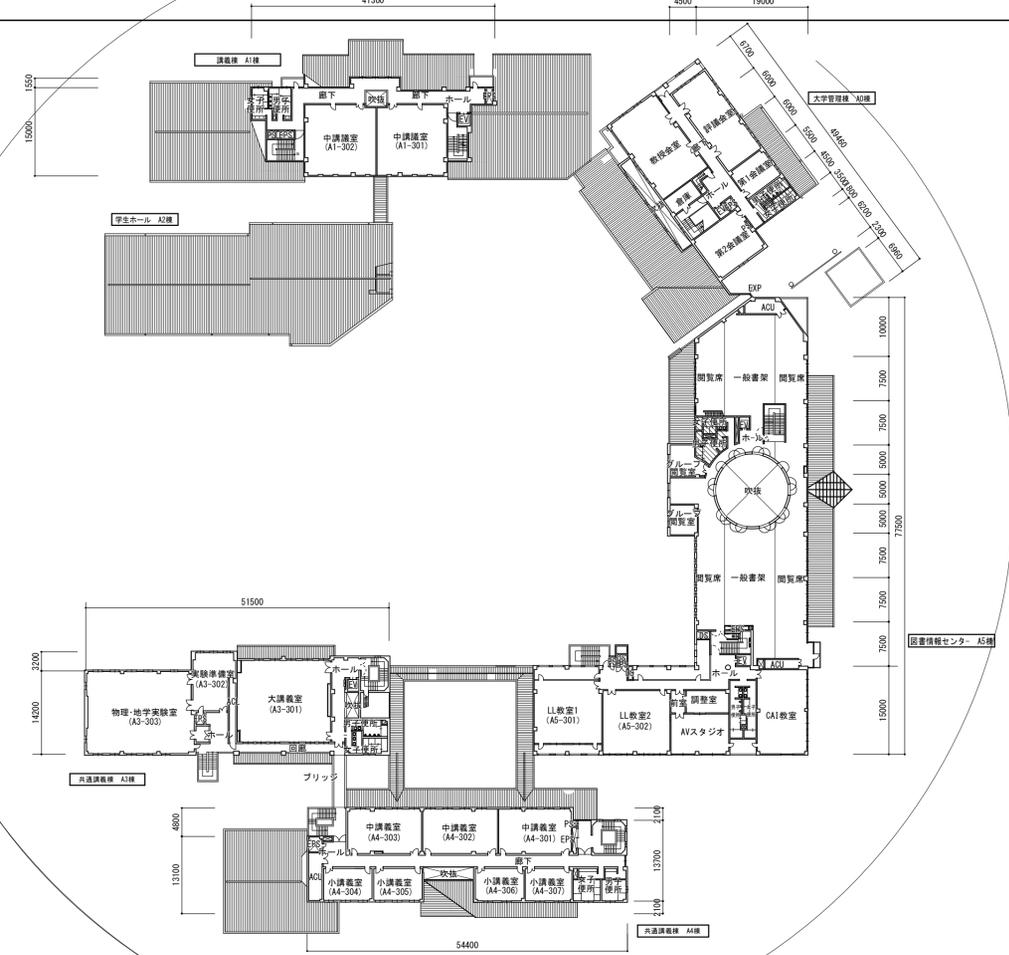


仮設便所平面図 1/100

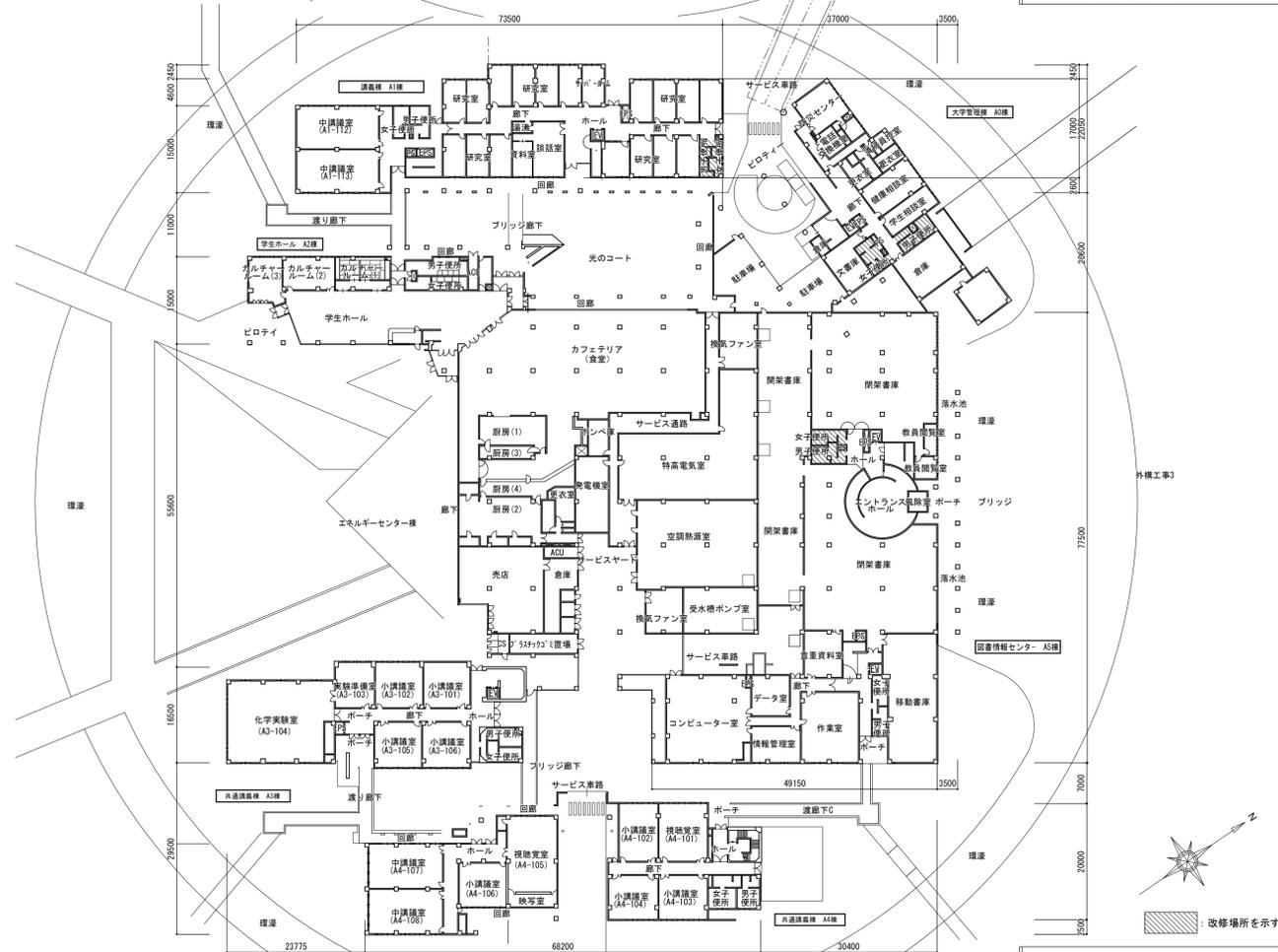
◆NOTE◆	DRAWN	一級建築士(大臣)登録229265号 大村 悟子 一級建築士事務所 滋賀県知事登録(特)152号	株式会社 大村建築設計事務所 一級建築士事務所 TEL (0749)62-2651 FAX (0749)65-0351	◆TITLE◆ 滋賀県立大学(第1期)トイレ改修工事 湖沼環境実験棟・地域共生センター	◆SHEET TITLE◆ 配置図 2 湖沼環境実験棟・地域共生センター	◆SCALE◆ A1:1/200 A3:1/400	MANAGER	CHECKED	DRAWN	DRAWN	A-6 39 枚ノ内 ◆SHEET No◆
	DATE										
	CHECK										
	DATE										



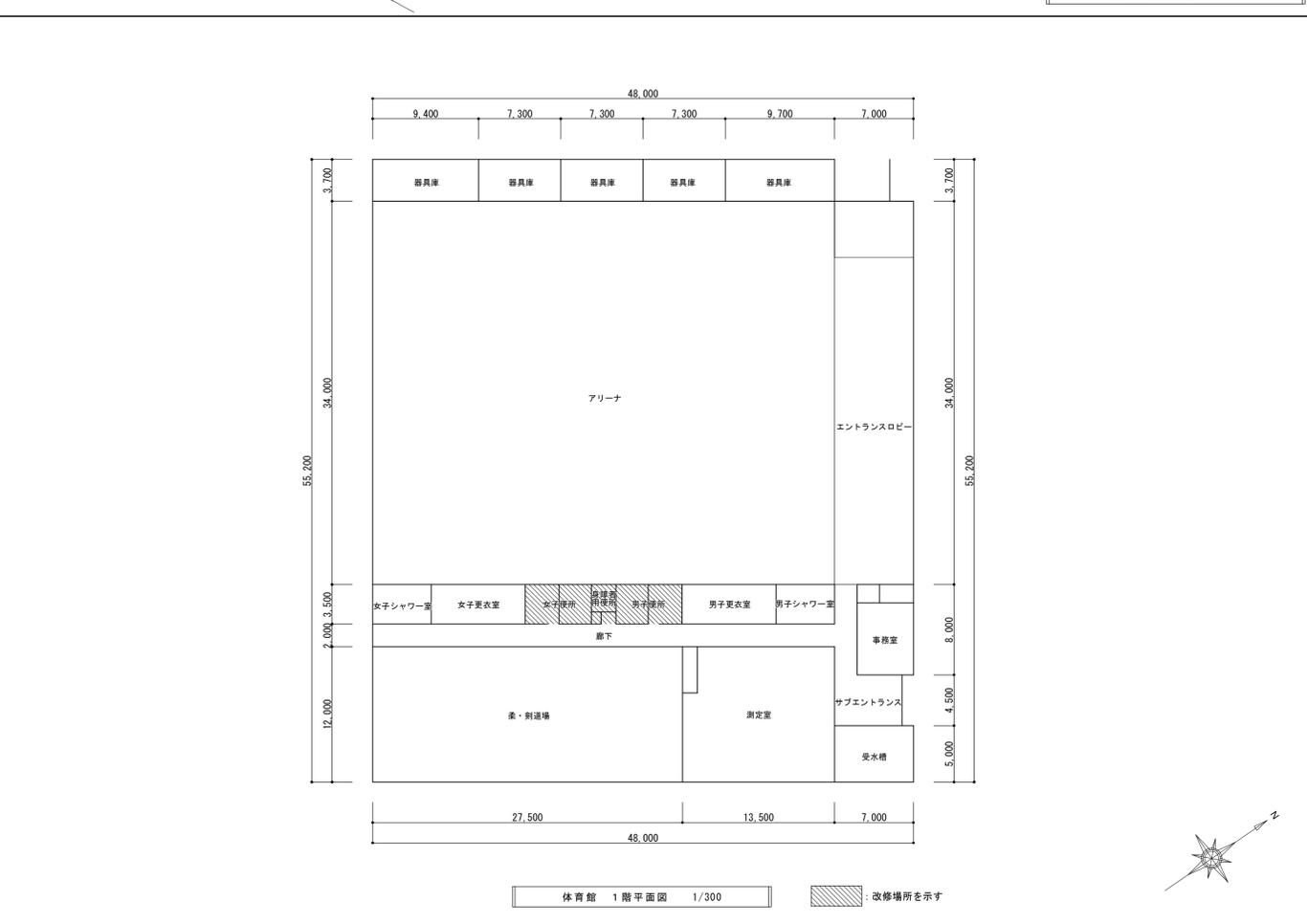
A棟 2階平面図 1/600



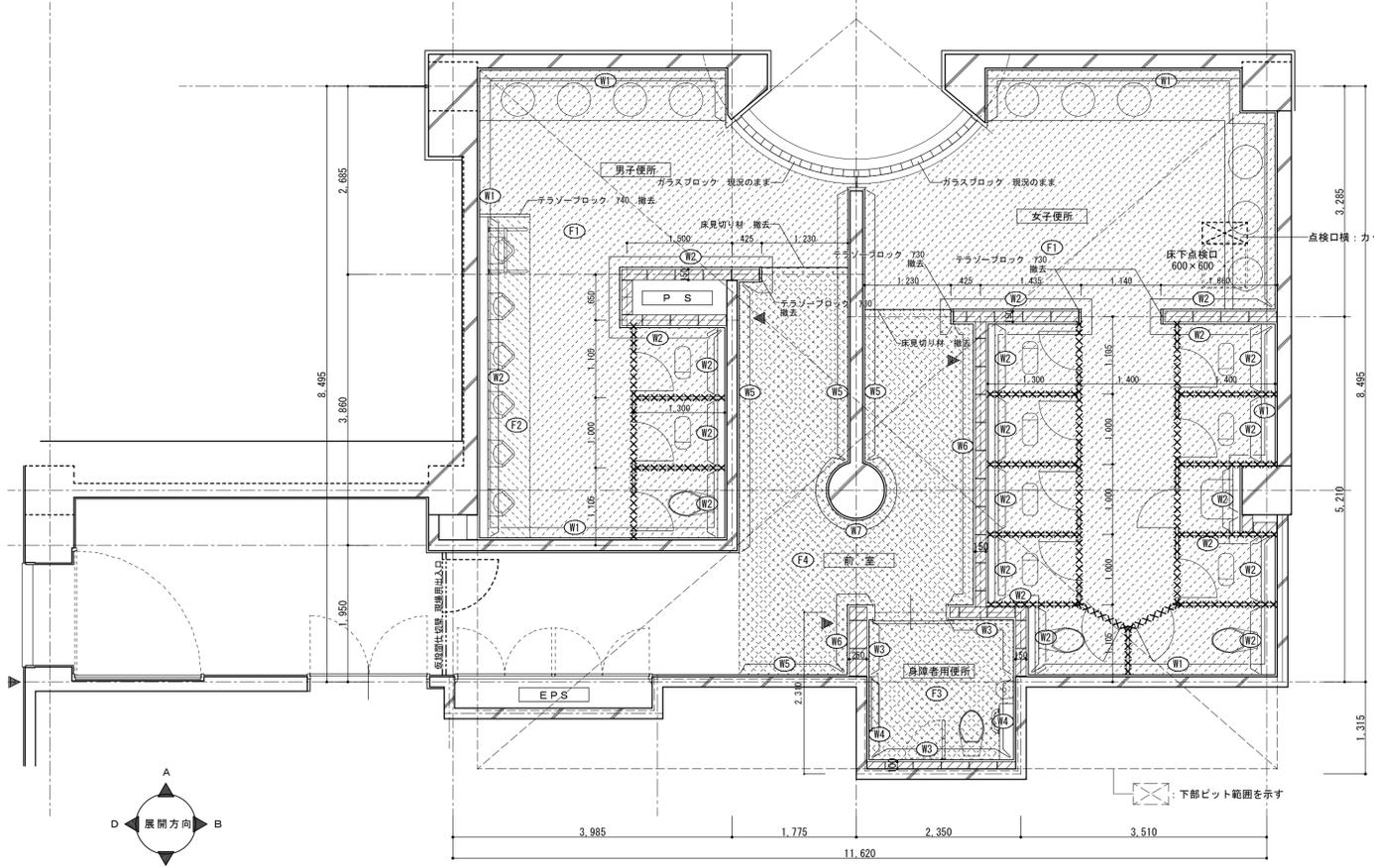
A棟 3階平面図 1/600



A棟 1階平面図 1/600



体育館 1階平面図 1/300

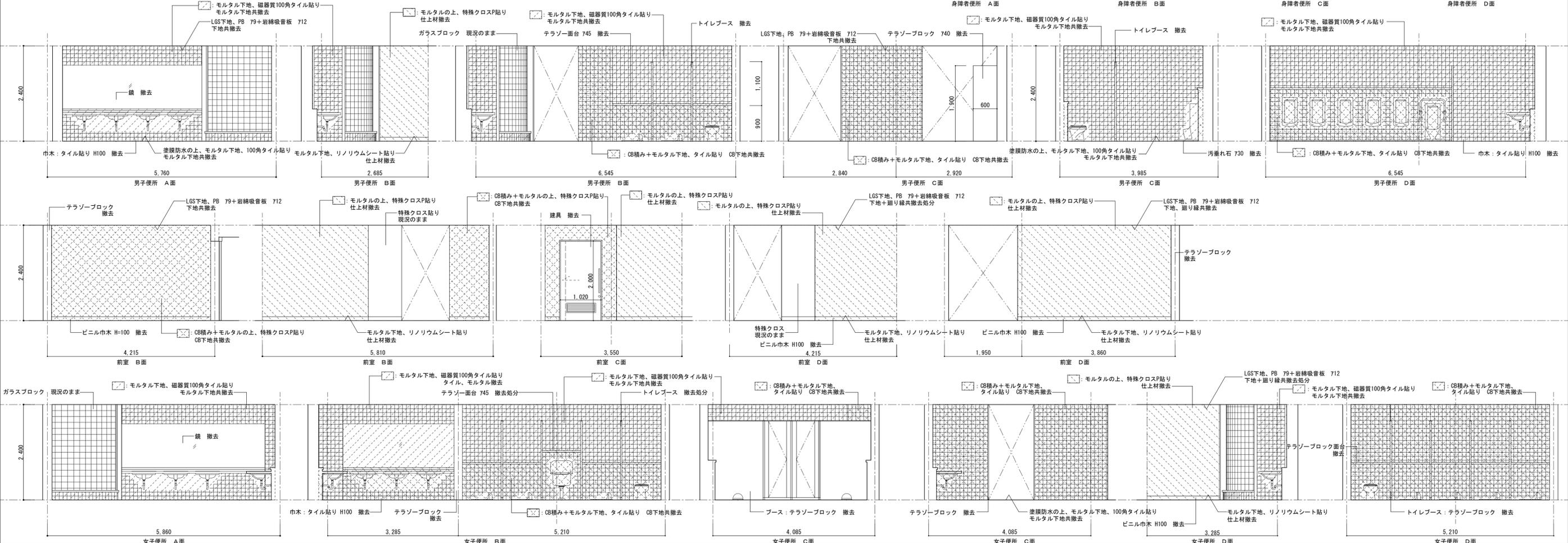
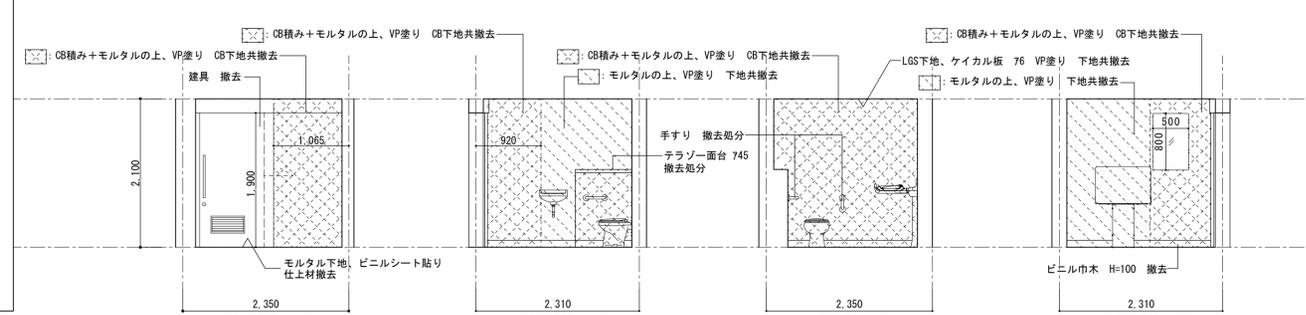


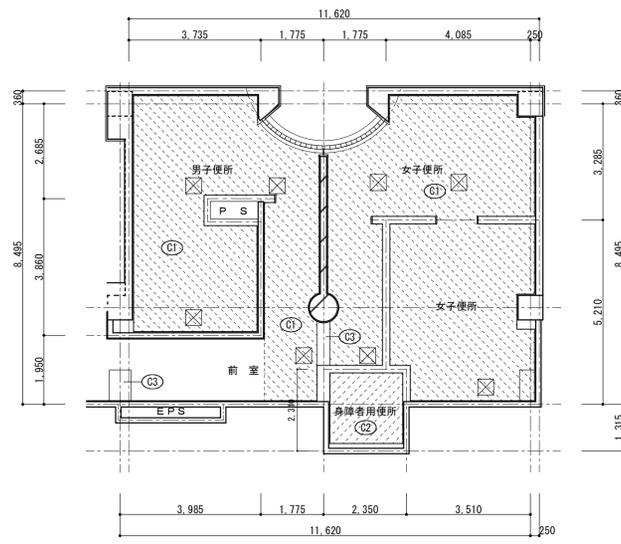
現況平面詳細図 1/50

現況仕上表 男子・女子便所		現況仕上表 前室	
床	F1 塗膜防水の上、モルタル下地、100角タイル貼り 下地共撤去	床	F4 モルタル下地、リノリウムシート貼り 仕上材撤去
	F2 小便器前：花崗岩水磨き 730貼り 撤去	巾木	W5 ビニル巾木 H=100 撤去
巾木	W1 タイル貼り H=100 撤去	壁	W6 モルタルの上、特殊クロスP貼り 仕上材撤去
壁	W2 モルタル下地、100角タイル貼り 下地共撤去		W7 CB積み+モルタルの上、特殊クロスP貼り CB下地共撤去
	W3 CB積み+モルタル下地、タイル貼り CB下地共撤去	天井	C1 モルタルの上、特殊クロスP貼り 現況のまま
天井	C1 LGS下地、PB 79+岩綿吸音板 712 下地共撤去	天井	C2 LGS下地、PB 79+岩綿吸音板 712 下地共撤去
廻り縁	塩ビ製 撤去	廻り縁	C3 梁型：モルタルの上、特殊クロスP貼り 現況のまま
備考	XXX ブース：テラゾーブロック 740 撤去	備考	塩ビ製 撤去
	ライニング欄：テラゾーブロック 745 撤去		サイン 撤去
	洗面カウンター：人造大理石 撤去		

現況仕上表 身障者用便所		特記事項	
床	F3 モルタル下地、ビニルシート貼り 仕上材撤去	<ul style="list-style-type: none"> ・改修範囲における衛生設備類については全て撤去を行う事。(設備工事) ・改修範囲における内装・建具・造作部分については建築工事にて全て撤去を行う事。 ・仮設間仕切壁(===: LGS W50+GB-R 712.5程度)及び工事用出入口を設ける事。 	
巾木	W3 ビニル巾木 H=100 撤去		
壁	W3 CB積み+モルタルの上、VP塗り CB下地共撤去		
W4 モルタルの上、VP塗り 下地共撤去			
天井	C2 LGS下地、ケイカル板 76 VP塗り 下地共撤去		
廻り縁	塩ビ製 撤去		
備考	ライニング欄：テラゾーブロック 745 撤去		
	建具 撤去		

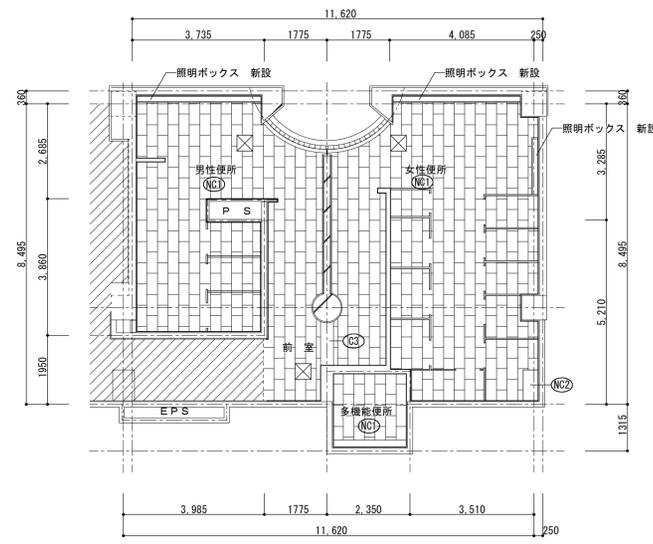
現況展開図 S=1/50





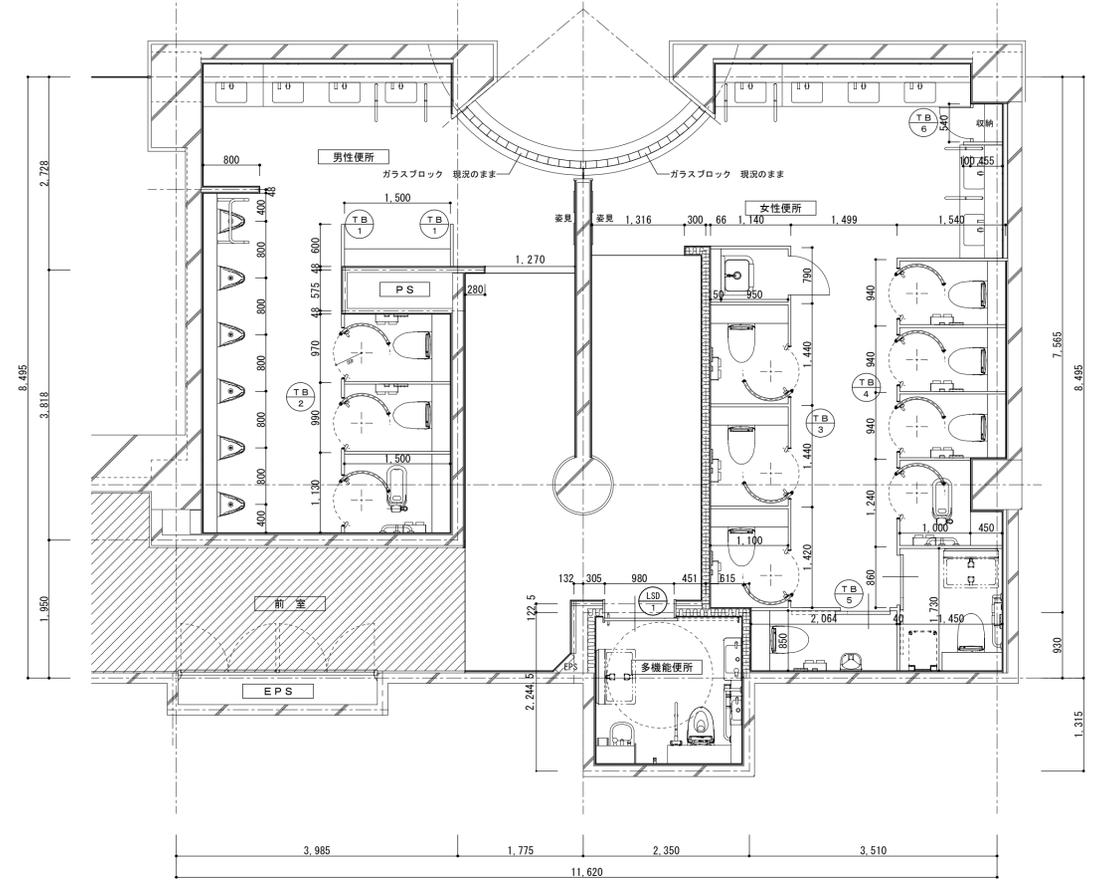
現況天井伏図 1/100

現況 天井仕上表	
C1	LGS下地、PB 79+岩綿吸音板 712 下地共撤去
C2	LGS下地、ケイカル板 76 VP塗り 下地共撤去
C3	梁型：モルタルの上、特殊クロスP貼り 現況のまま
C4	梁型：モルタルの上、塗装仕上 現況のまま
	塩ビ製廻り縁 撤去
☒	天井点検口 撤去



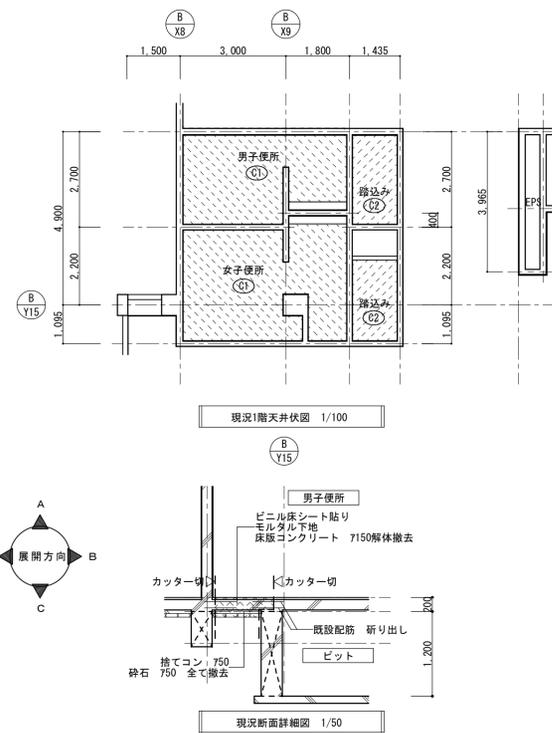
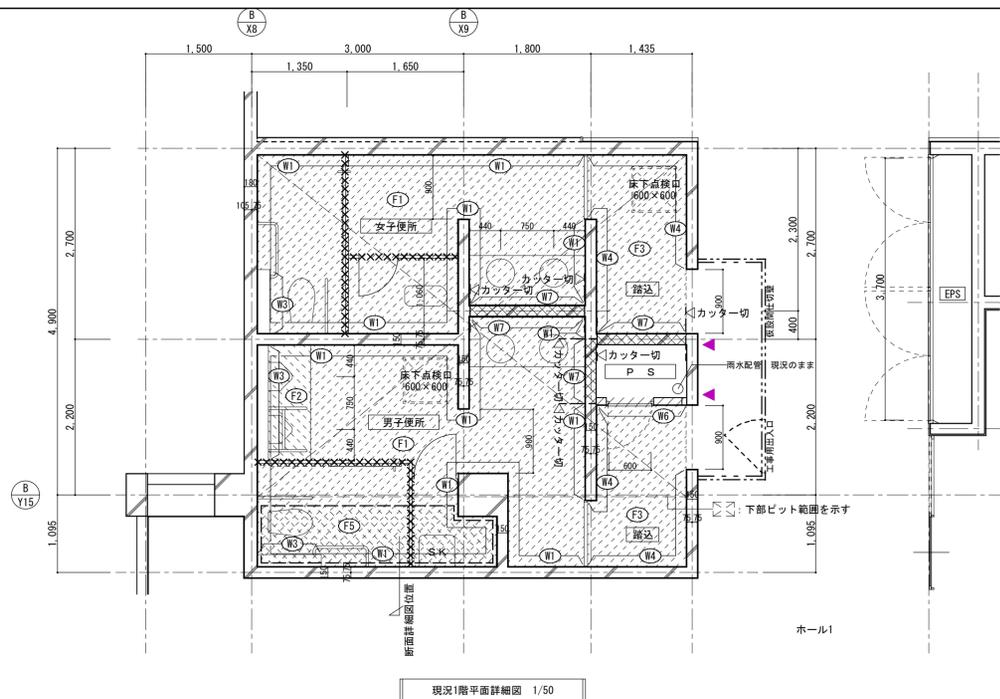
改修後天井伏図 1/100

改修後 天井仕上表	
NC1	LGS下地、GB-R 79.5+ロックウール吸音板 715貼り (リブ付) 新設
NC2	梁型：下地調整R種の上、EP塗り 新設
C3	梁型：モルタルの上、特殊クロスP貼り 現況のまま
	塩ビ製廻り縁 新設
☒	天井点検口 450角 新設



改修後建具案内図 1/50

記号	名前	数量	図	室名	材質	仕上	見込	硝子	金物	備考
T.B. 1	トイレブース	2		交流センター 男性便所	メラミン化粧板	38	—	—	SUS巾木	—
T.B. 2	トイレブース (R扉)	1		交流センター 男性便所	メラミン化粧板	38	—	—	SUS巾木 ALレール 回転ラッチ 戸当り金具 バニックオープン 大型ドアハンドル フック	ウェイブレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 兼オカムラ 同等品
T.B. 3	トイレブース (R扉)	1		交流センター 女性便所	メラミン化粧板	38	—	—	SUS巾木 ALレール 回転ラッチ 戸当り金具 バニックオープン 大型ドアハンドル フック SK: 取手	ウェイブレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 兼オカムラ 同等品
T.B. 4	トイレブース (R扉)	1		交流センター 女性便所	メラミン化粧板	38	—	—	SUS巾木 ALレール 回転ラッチ 戸当り金具 バニックオープン 大型ドアハンドル フック	ウェイブレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 兼オカムラ 同等品
T.B. 5	トイレブース	1		交流センター 女性便所	メラミン化粧板	38	—	—	SUS巾木、ALレール、ハンガー装置、引き棒、表示錠、戸当り金物	—
LSD 1	鋼製 片引き戸	1		交流センター 多機能便所	枠：焼付塗装 扉：焼付塗装	—	—	F4	ハンガー金物、引き棒、表示錠、自閉装置、アルミガラリ	—



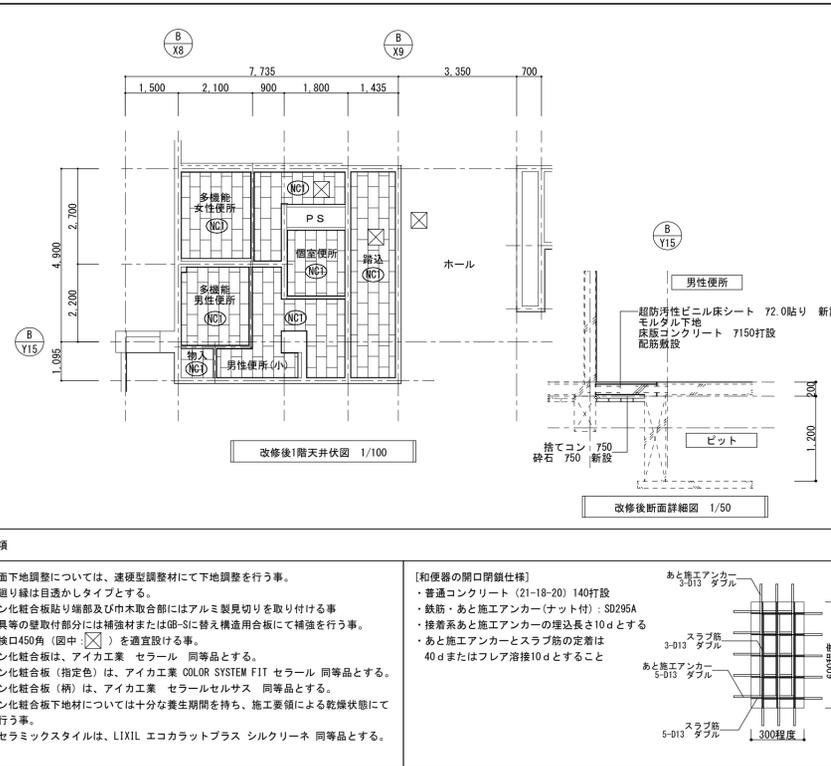
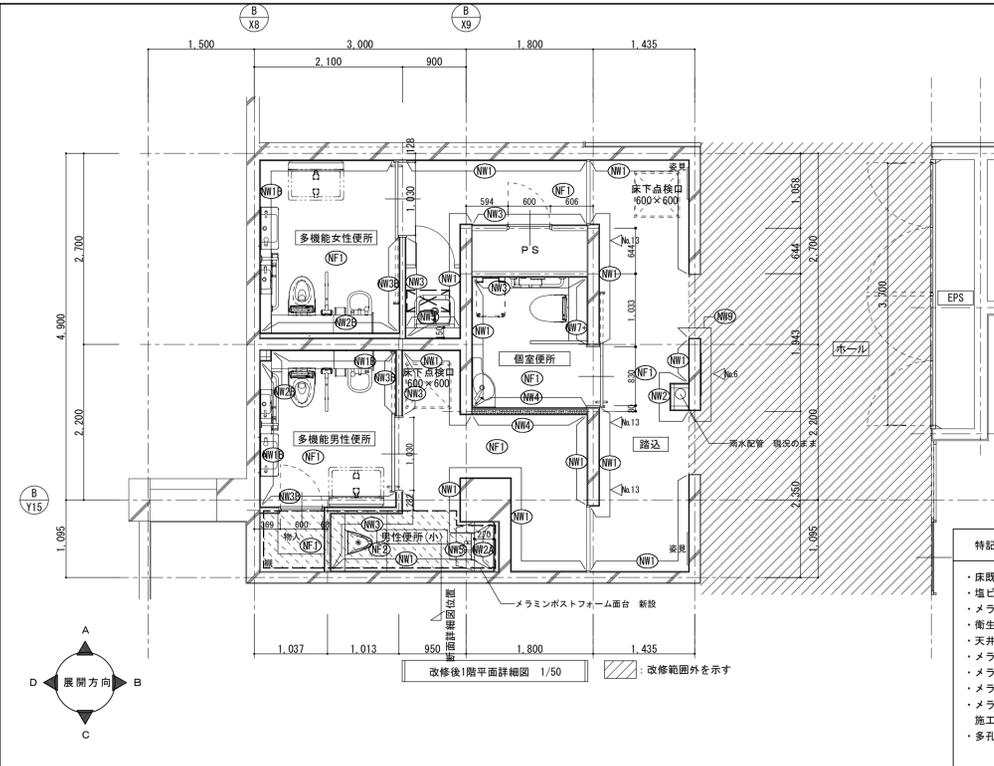
現況仕上表 ホール・踏込	
床	F3: 1F: モルタル下地、ビニル床タイル 72.0貼り 仕上材撤去
	F4: 2・3F: モルタル下地、カーペットタイル貼り 仕上材撤去
巾木	1階: ビニル巾木 H=75 撤去
壁	W4: 1F: モルタル薄塗り下地、AEP塗り 塗膜除去
	W5: 2・3F: モルタル薄塗り下地、クロス貼り 現況のまま
	W6: CB積み+モルタル下地、AEP塗り CB下地共撤去
	W7: RC壁の上、モルタル薄塗り下地、AEP塗り コンクリート共撤去
天井	C2: 1F: LGS下地、石膏ボード 712+着色ロックウール吸音板 712貼り 下地共撤去
廻り縁	アルミ見切り縁 撤去
備考	▼ サイン 撤去

現況仕上表 男子・女子便所	
床	F1: モルタル下地、ビニル床シート 72.5貼り 仕上材撤去
	F2: モルタル下地、磁器質300角タイル貼り 仕上材撤去
	F5: コンクリートの上、モルタル下地、ビニル床シート 72.5貼り コンクリート共撤去
巾木	W1: ビニル巾木 H=75 撤去
壁	W1: モルタル薄塗り下地、VE塗り 塗膜除去
	W2: CB積み+モルタル下地、VE塗り CB下地共撤去
	W3: 小便器・面台部: CB積み+モルタル下地、100角タイル貼り CB下地共撤去
	W7: RC壁の上、モルタル薄塗り下地、VE塗り コンクリート共撤去
天井	C1: LGS下地、石膏ボード 79+ロックウール吸音板 712貼り 下地共撤去
廻り縁	プラスチック見切り縁 撤去
備考	XXX トイレブース 撤去
	甲板: テラゾーブロック 撤去

特記事項	
・	改修範囲における衛生設備類については全て撤去を行う事。(設備工事)
・	改修範囲における内装・建具・造作部分については建築工事にて全て撤去を行う事。
・	便所スラブコンクリート撤去においては地中込に注意し、周囲カッター切の上、コンクリートの解体撤去を行う事。また改修における配筋の定着(40d)を考慮し、周囲は既設配筋を折り出し、残す事。
・	仮設開口切壁(=::=:: LGS W50+GB-R 712.5程度)及び工事用出入口を設ける事。

現況展開図 S=1/50

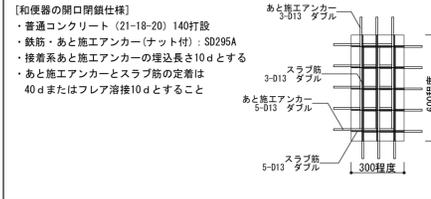




特記事項

床既設面下地調整については、連環型調整材にて下地調整を行う事。
 ・塩ビ製廻り縁は目透かしタイプとする。
 ・メラミン化粧板貼り端部及び巾木取合部にはアルミ製見切りを取り付ける事。
 ・衛生器具等の埋付部分には補強材またはGB-Siに替り構造用合板にて補強を行う事。
 ・天井点検口450角(图中 ⊗)を適宜設ける事。
 ・メラミン化粧板は、アイカ工業 セラール 同等品とする。
 ・メラミン化粧板(指定色)は、アイカ工業 COLOR SYSTEM FIT セラール 同等品とする。
 ・メラミン化粧板(柄)は、アイカ工業 セラールセルサス 同等品とする。
 ・メラミン化粧板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領による乾燥状態にて施工を行う事。
 ・多孔質セラミックスタイルは、LIXIL エコカラットプラス シルクリーネ 同等品とする。

[和便器の開口閉鎖仕様]
 ・普通コンクリート (21-18-20) 140打設
 ・鉄筋・あと土工アンカー(ナット付): SD295A
 ・接着系あと土工アンカーの埋込長さ10dとする
 ・あと土工アンカーとスラブ筋の定着は40dまたはプレア溶接10dとすること



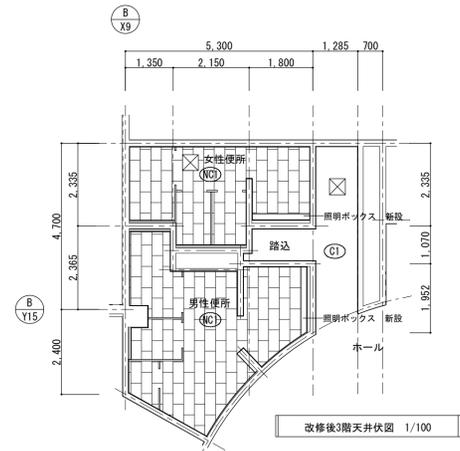
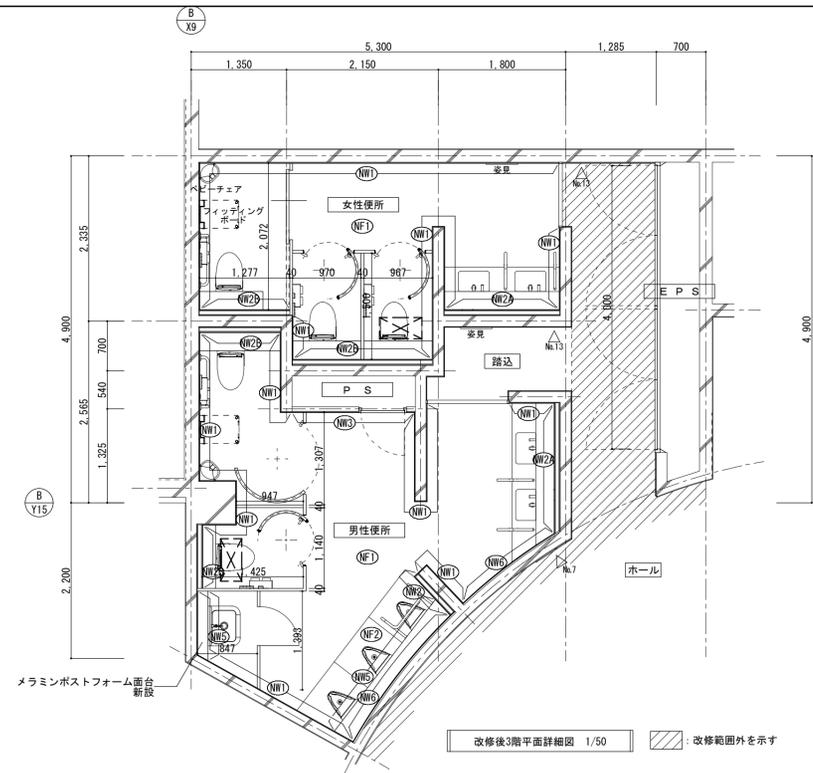
改修後仕上表 男性・女性・個室便所

床	NF1	既設面: 下地調整の上、超防汚性ビニル床シート 72.0貼り 新設
	NF2	小便器前: モルタル下地、おだれ石 新設
		撤去部: 砕石 7100 + コンクリート 7150打設の上、モルタル下地
巾木		床材巻上げ巾木 H=100 新設
壁	NI1	既設面: 下地調整RA種の上、メラミン化粧板 73.0貼り 新設
	NI1B	既設面: 下地調整RA種の上、メラミン化粧板(柄) 73.0貼り 新設
	NI2	LGS W50下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板 73.0貼り 新設
	NI2B	LGS W50下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板(指定色) 73.0貼り 新設
	NI2C	LGS W50下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板(柄) 73.0貼り 新設
	NI3	LGS W65下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板 73.0貼り 新設
	NI3B	LGS W65下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板(柄) 73.0貼り 新設
	NI4	LGS W65 (グラスウール24K 750充填) 下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板 73.0貼り 新設
	NI5	LGS W100下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板 73.0貼り 新設
	NI6	既設面: 下地調整RA種の上、多孔質セラミックスタイル (接着工法) 貼り 新設
	NI7	モルタル薄塗り下地、多孔質セラミックスタイル 75.5貼り 新設
天井	NC1	LGS下地、GB-R 79.5+ロックウール吸音板 715貼り (リブ付) 新設
廻り縁		塩ビ製 新設
備考		和便器開口閉鎖 メラミンボストフォーム面台 新設
構造仕様		設計基準強度: Fc21-18-20 普通コンクリート 厚150 鉄筋: SD295A 定着長さ: 40d
配筋	短辺	上端筋: D13 @200 下端筋: D13 @200
	長辺	上端筋: D10・D13 @200 下端筋: D10・D13 @200

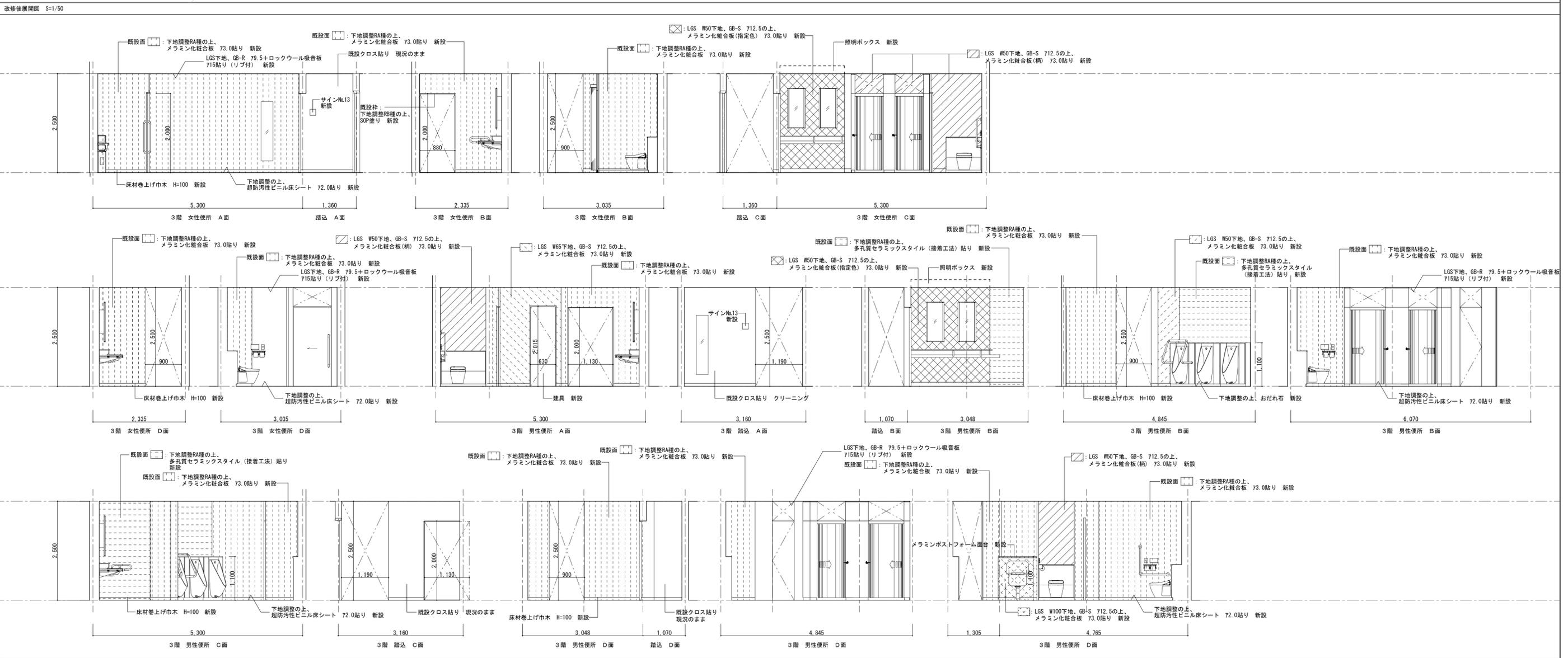
改修後仕上表 ホール・廊下

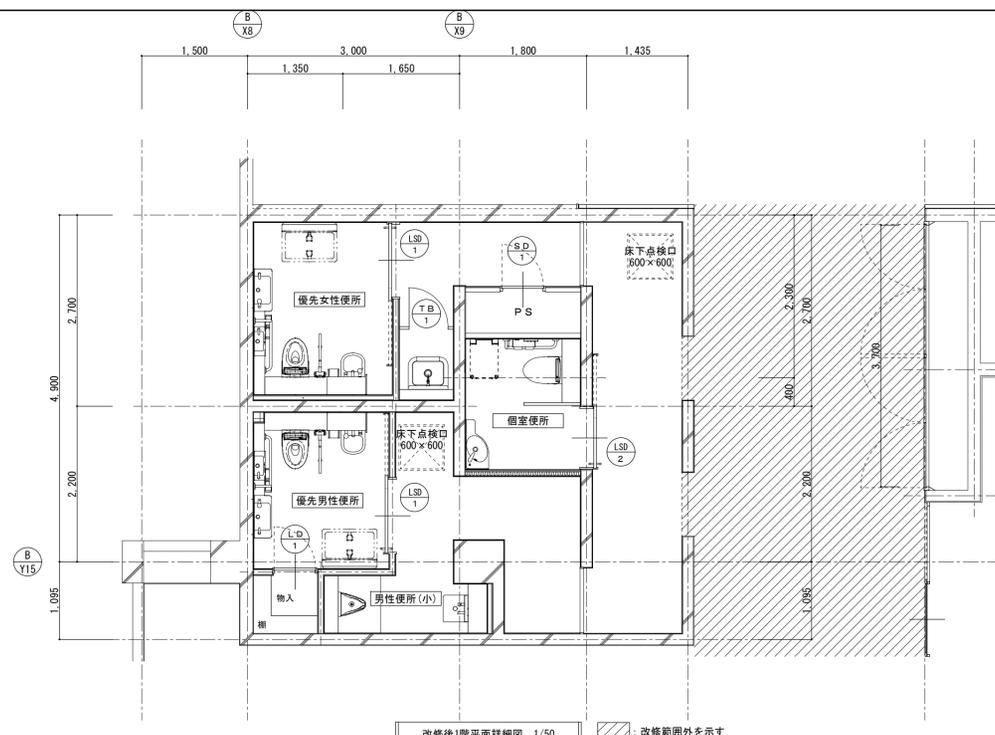
床	NF1	既設面: 下地調整の上、超防汚性ビニル床シート 72.0貼り 新設
巾木		ソフト巾木 H100 新設
壁	NI1	既設面: 下地調整RA種の上、メラミン化粧板 73.0貼り 新設
	NI2	LGS W50下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板 73.0貼り 新設
	NI3	モルタル薄塗り下地、メラミン化粧板 73.0貼り 新設
	NI4	既設面: 下地調整RB種の上、SOP塗り 新設
	NI5	既設面: 下地調整RB種の上、EP塗り 新設
天井	NC1	LGS下地、GB-R 79.5+ロックウール吸音板 715貼り (リブ付) 新設
廻り縁		塩ビ製 新設
備考		既設枠: 下地調整RB種の上 SOP塗り 新設 サイン 新設 (サイン詳細図-6.13 参照)
改修後仕上表 物入		
床	NF1	既設面: 下地調整の上、超防汚性ビニル床シート 72.0貼り 新設
巾木		ソフト巾木 H100 新設
壁		既設面: 下地調整RA種の上、EP塗り 新設
		LGS W65下地、GB-S 712.5の上、EP塗り 新設
天井	NC1	LGS下地、GB-R 79.5+ロックウール吸音板 715貼り (リブ付) 新設
廻り縁		塩ビ製 新設
備考		欄2段 新設



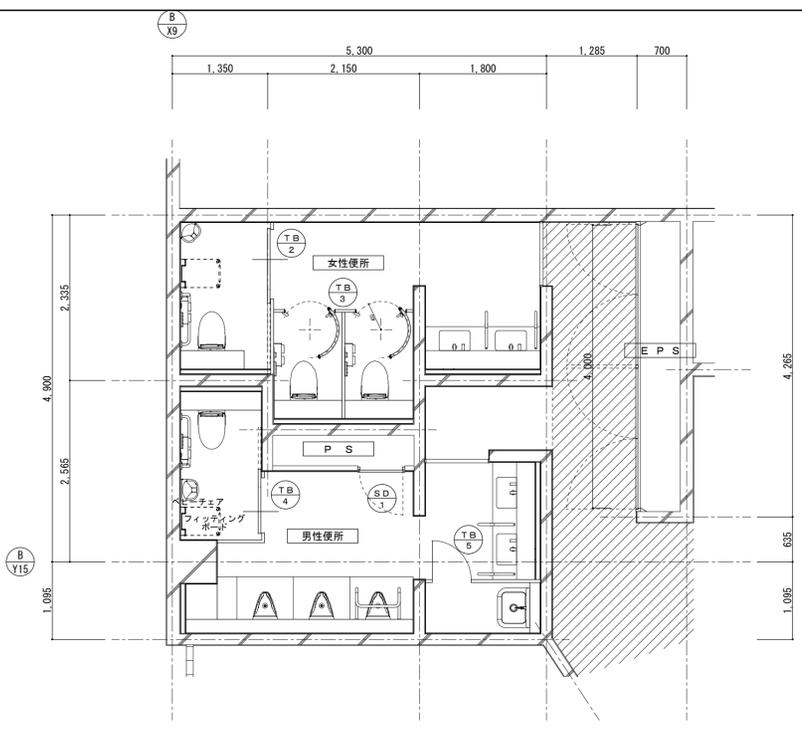


改修後仕上表 男性・女性便所		特記事項
床	① 既設面：下地調整の上、超防汚性ビニル床シート 72.0貼り 新設	・床既設面下地調整については、速硬型調整材にて下地調整を行う事。
	② 小便器前：下地調整の上、おだれ石 新設	・塩ビ製廻り縁は目透かしタイプとする。
巾木	床材巻上げ巾木 H=100 新設	・メラミン化粧板貼り端部及び巾木取合部にはアルミ製見切りを取り付ける事
壁	①W1 既設面：下地調整RA種の上、メラミン化粧板 73.0貼り 新設	・衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-SIに替え構造用合板にて補強を行う事。
	①W2 LGS W50下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板 73.0貼り 新設	・天井点検口450角(図中 ⊗)を適宜設ける事。
	①W2a LGS W50下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板(指定色) 73.0貼り 新設	・メラミン化粧板は、アイカ工業 セラール 同等品とする。
	①W2b LGS W50下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板(柄) 73.0貼り 新設	・メラミン化粧板(指定色)は、アイカ工業 COLOR SYSTEM FIT セラール 同等品とする。
	①W3 LGS W65下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板 73.0貼り 新設	・メラミン化粧板(柄)は、アイカ工業 セラールセルサス 同等品とする。
	①W4 LGS W65(ガラスウール24K 750充填)下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板 73.0貼り 新設	・メラミン化粧板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領による乾燥状態にて施工を行う事。
①W5 LGS W100下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板 73.0貼り 新設		
①W6 既設面：下地調整RA種の上、多孔質セラミックスタイル(接着工法)貼り 新設	・多孔質セラミックスタイルは、LIXIL エコカラットプラス シルクリーネ 同等品とする。	
天井	①C1 LGS下地、GB-R 79.5+ロックウール吸音板 715貼り(リブ付) 新設	
廻り縁	塩ビ製 新設	
備考	① 和便器開口閉鎖	
改修後仕上表 ホール 路達		
床	ホール：既設カーペット 現況のまま 路達：既設カーペット クリーニング	[和便器の開口閉鎖仕様] ・普通コンクリート(21-18-20)140打設 ・鉄筋・あと施工アンカー(ナット付)：SD295A ・接着系あと施工アンカーの埋込長さ10dとする ・あと施工アンカーとスラブ筋の定着は40dまたはフレア溶接10dとすること
巾木	木製巾木 現況のまま	
壁	ホール：既設クロス貼り 現況のまま 路達：既設クロス貼り クリーニング	
天井	①C1 LGS下地、石膏ボード 79+着色ロックウール吸音板 712貼り 現況のまま	
廻り縁	アルミ見切り縁 現況のまま	
備考	① サイン 新設(サイン詳細図-7.13 参照) 既設枠：下地調整R種の上 SOP塗 新設	

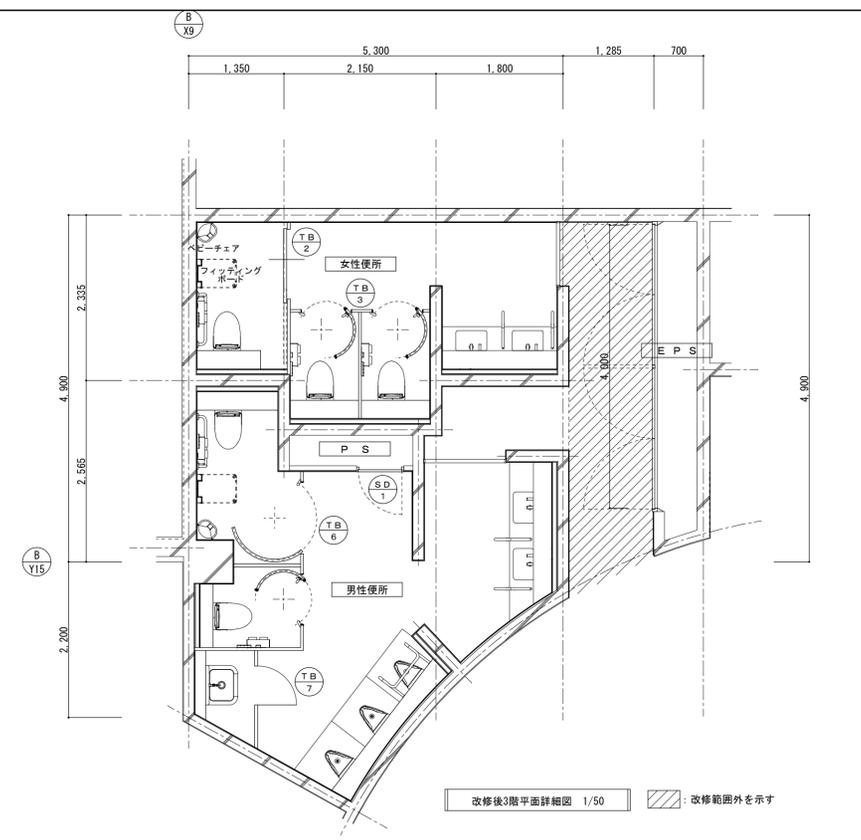




改修後1階平面詳細図 1/50

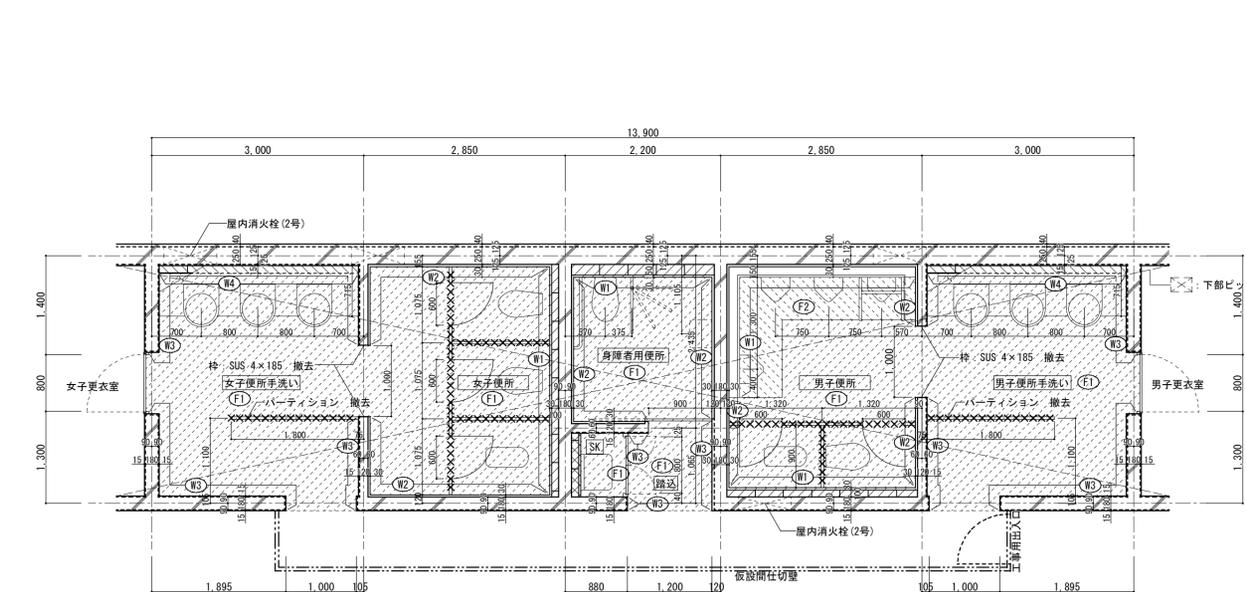


改修後2階平面詳細図 1/50

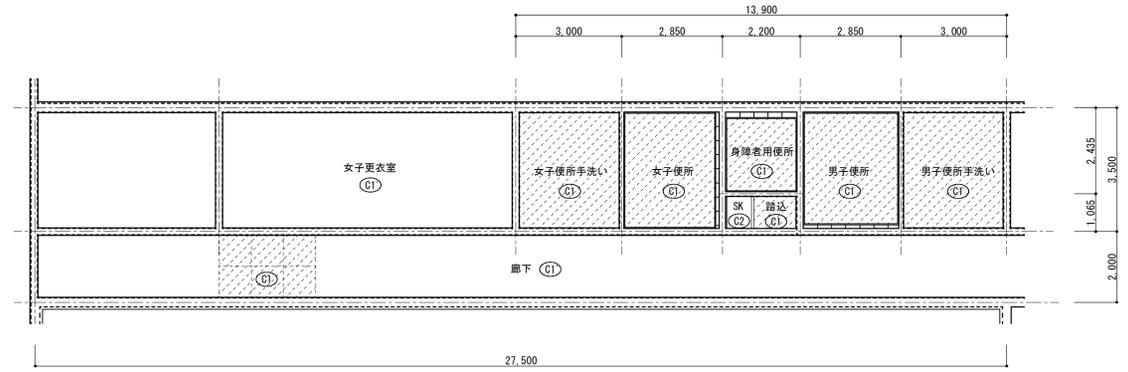
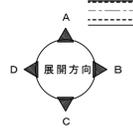


改修後3階平面詳細図 1/50

記号	名前	数量	図	室名	材質	仕上	見込	硝子	金物	備考
(LSD) 1	鋼製 片引き戸	2		図書情報センター 1階多機能男性・女性便所	枠: 焼付塗装	扉: 焼付塗装			ハンガー金物、引き棒、表示錠、自閉装置、アルミガラリ	
(LSD) 2	鋼製 片引き戸	1		図書情報センター 1階個室便所	枠: 焼付塗装	扉: 焼付塗装	F4		ハンガー金物、引き棒、表示錠、自閉装置、アルミガラリ	
(SD) 1	鋼製 片開き戸	3		図書情報センター 各階PS	枠: 焼付塗装	扉: 焼付塗装			カムロック (カバー付)、丁番	サイン貼付 (サイン詳細図-16 参照)
(TB) 1	トイレブース	1		図書情報センター 2階女性便所	メラミン化粧板	38			SUS巾木、取手	
(TB) 2	トイレブース	2		図書情報センター 2階・3階女性便所	メラミン化粧板	38			SUS巾木、戸当りゴム、表示錠、大型ドアハンドル、フック	ウェイブレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 脚オカムラ 同等品
(TB) 4	トイレブース	1		図書情報センター 2階男性便所	メラミン化粧板	38			SUS巾木、戸当りゴム、表示錠、大型ドアハンドル、フック	ウェイブレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 脚オカムラ 同等品
(TB) 3	トイレブース (R扉)	2		図書情報センター 2階・3階女性便所	メラミン化粧板	38			SUS巾木、ALレール、回転ラッチ、戸当り金具、パニックオープン、大型ドアハンドル、フック	ウェイブレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 脚オカムラ 同等品
(TB) 5	トイレブース	1		図書情報センター 2階男性便所	メラミン化粧板	38			SUS巾木、取手	
(TB) 6	トイレブース (R扉)	1		図書情報センター 1階男性便所	メラミン化粧板	38			SUS巾木、ALレール、回転ラッチ、戸当り金具、パニックオープン、大型ドアハンドル、フック	ウェイブレット ハイタイプ仕様 Eタイプ 脚オカムラ 同等品
(TB) 7	トイレブース	1		図書情報センター 1階男性便所	メラミン化粧板	38			SUS巾木、取手	
(TB) 8	トイレブース	1		図書情報センター 1階個室便所	メラミン化粧板	38			SUS巾木	
(LD) 1	軽鋼製片開き戸	1		図書情報センター 1階男性便所	枠: 化粧鋼板	扉: 焼付塗装			丁番、レバーハンドル (シンジダー錠)、DC	



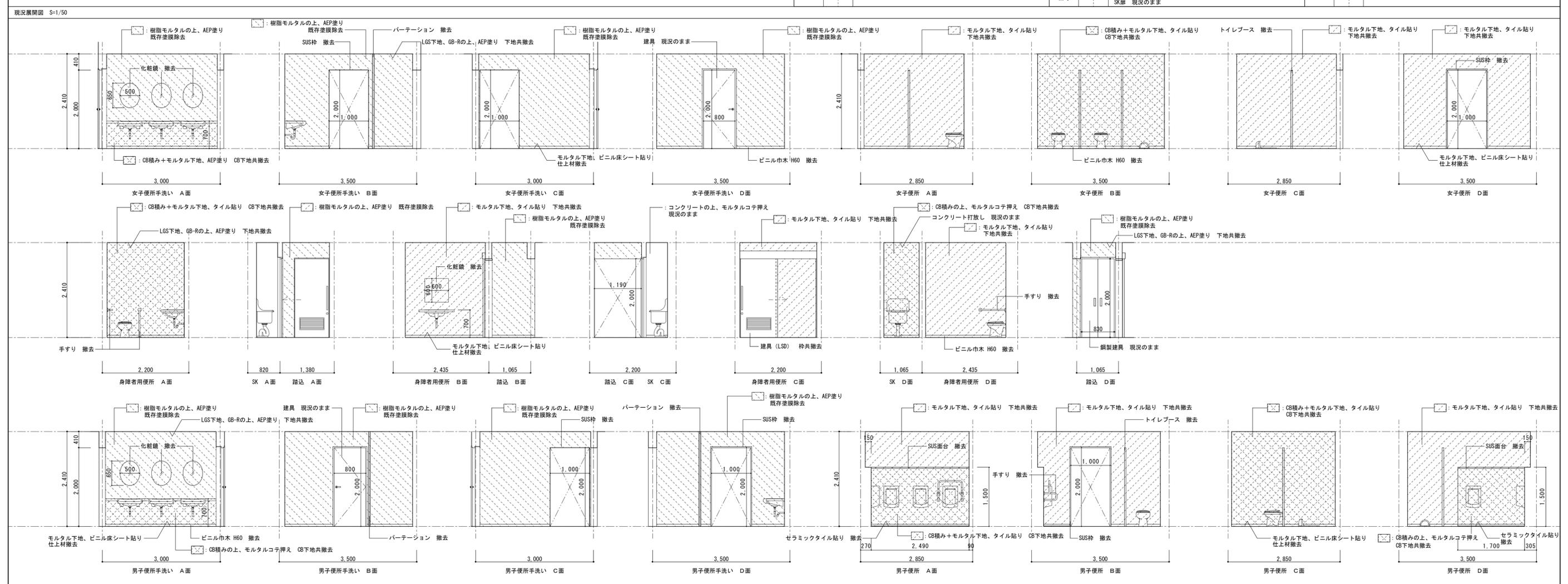
現況1階平面詳細図 1/50

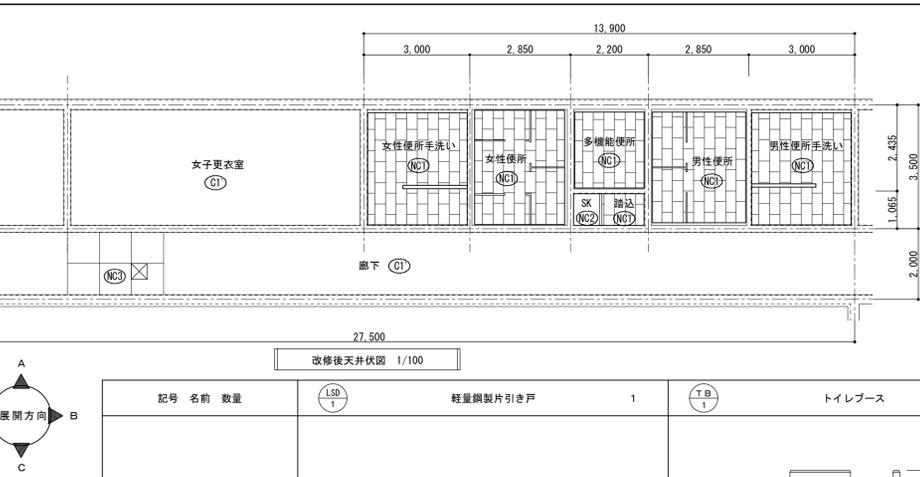
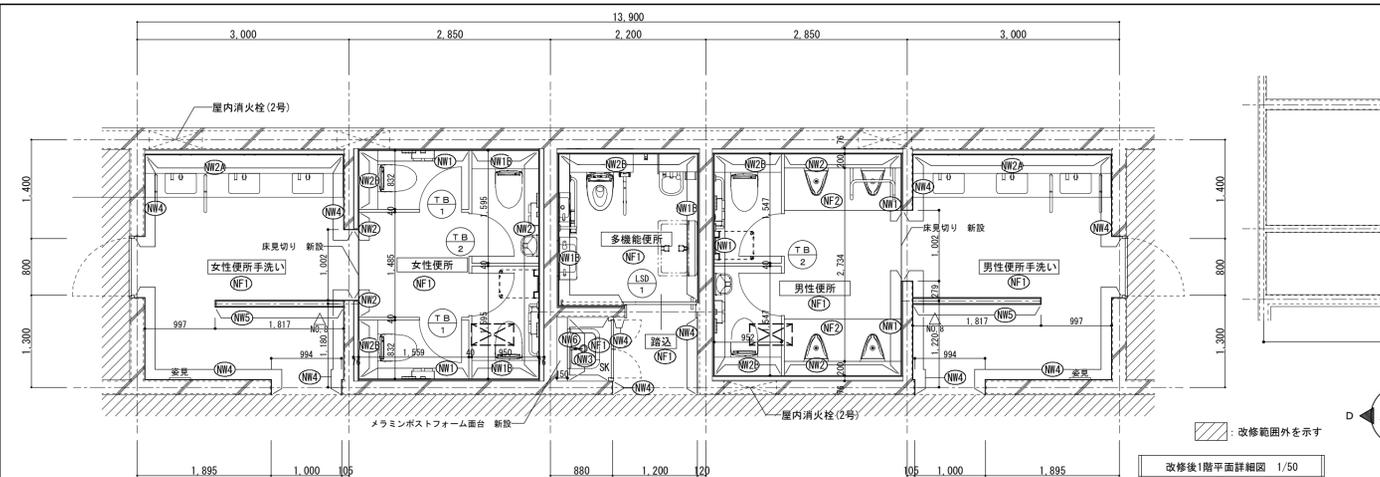


現況天井伏図 1/100

現況仕上表 男子・女子便所		現況仕上表 身障者用便所・SK		現況仕上表 手洗い・踏込・廊下	
床	F1: モルタル下地、ビニル床シート貼り 仕上材撤去 F2: 小便器前: モルタル下地、セラミックタイル貼り 仕上材撤去	床	F1: モルタル下地、ビニル床シート貼り 仕上材撤去	床	F1: モルタル下地、ビニル床シート貼り 仕上材撤去
巾木	ビニル巾木 H=60 撤去	巾木	ビニル巾木 H=60 撤去	巾木	ビニル巾木 H=60 撤去
壁	W1: CB積み+モルタル下地、タイル貼り CB下地共撤去 W2: モルタル下地、タイル貼り 下地共撤去	壁	W1: CB積み+モルタル下地、タイル貼り CB下地共撤去 W2: モルタル下地、タイル貼り 下地共撤去	壁	W3: 樹脂モルタルの上、AEP塗り 塗膜除去 W4: CB積み+モルタルの上、AEP塗り CB下地共撤去
天井	C1: LGS下地、せつこうボードの上、AEP塗り 下地共撤去	天井	C1: LGS下地、せつこうボードの上、AEP塗り 下地共撤去	天井	C1: LGS下地、せつこうボードの上、AEP塗り 下地共撤去 C2: LGS下地、せつこうボードの上、AEP塗り 現況のまま
廻り縁		廻り縁	C2: SK部: コンクリート打放し 現況のまま	廻り縁	
備考	XXX トイレブース 撤去	備考	LSD 枠共撤去 SK部 現況のまま	備考	XXX パーティション 撤去

特記事項
 ・改修範囲における衛生設備については全て撤去を行う事。(設備工事)
 ・改修範囲における内装・建具・造作部分については建築工事にて全て撤去を行う事。
 ・仮設間仕切壁(===) LGS W50+GB-R 712.5程度)及び工事用出入口を設ける事。





特記事項

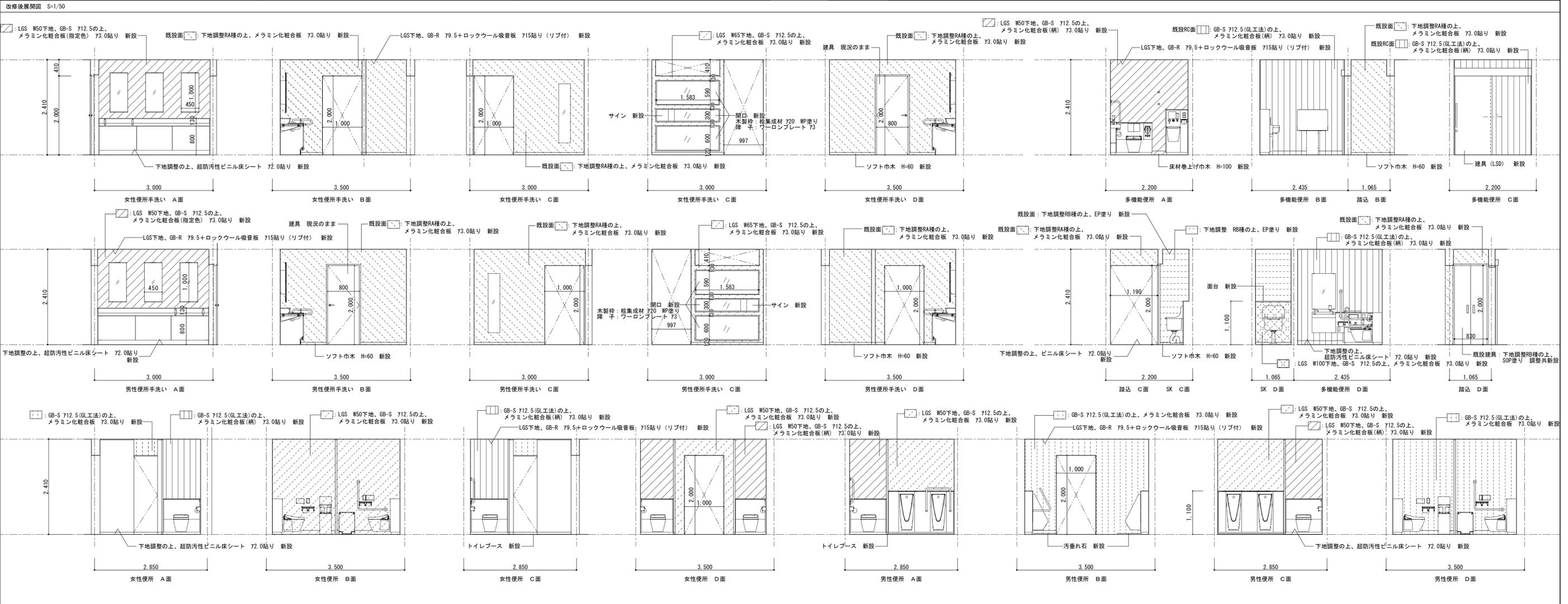
- 床既設面下地調整については、速硬型調整材にて下地調整を行う事。
- 塩ビ製建具は目透かしタイプとする。
- メラミン化粧板貼付端部及び巾木取合部にはアルミ製見切りを取り付ける事。
- 衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-Sに替え構造用合板にて補強を行う事。
- 天井点検口450角 (図中: ⊗) を適宜設ける事。
- メラミン化粧板は、アイカ工業 セラール 同等品とする。
- メラミン化粧板 (指定色) は、アイカ工業 COLOR SYSTEM FIT セラール 同等品とする。
- メラミン化粧板 (柄) は、アイカ工業 セラールセルサス 同等品とする。
- メラミン化粧板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領による乾燥状態にて施工を行う事。

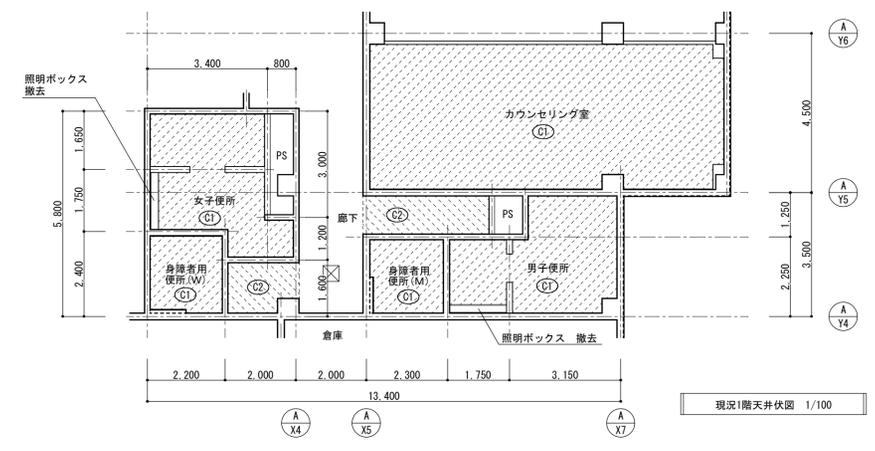
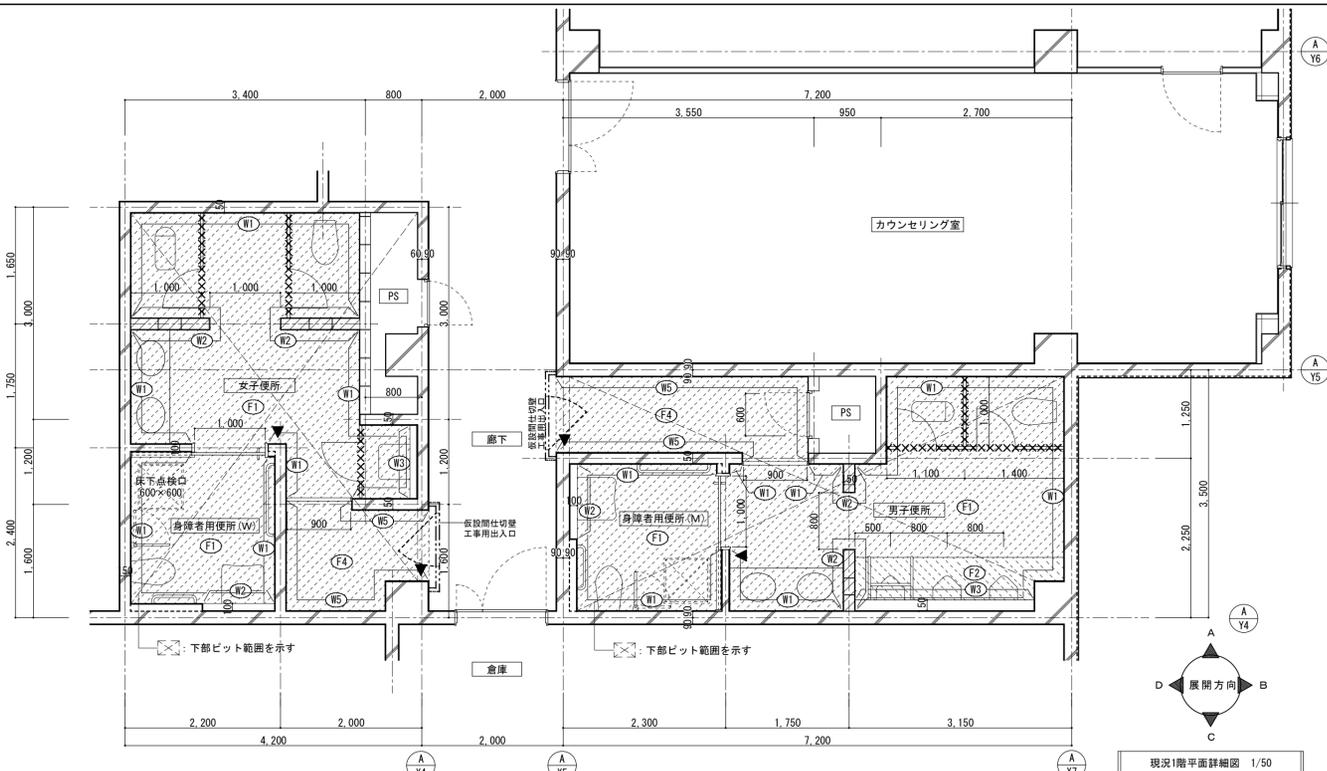
【和便器の開口閉鎖仕様】

- 普通コンクリート (21-18-20) 140打設
- 鉄筋・あと施工アンカー (ナット付): SD295A
- 接着系あと施工アンカーの埋込長さ10dとする
- あと施工アンカーとスラブ筋の定着は40dまたはフレア溶接10dとすること

改修後仕上表 男性・女性便所		改修後仕上表 多機能便所・SK		改修後仕上表 手洗い・踏込・廊下	
床	NF1 下地調整の上、超防汚性ビニル床シート 72.0貼り 新設	床	NF1 下地調整の上、超防汚性ビニル床シート 72.0貼り 新設	床	NF1 下地調整の上、超防汚性ビニル床シート 72.0貼り 新設
	NF2 下地調整の上、おだれ石 新設	巾木	床材巻上げ巾木 H=100 新設 SK部: ソフト巾木 H=60 新設	巾木	ソフト巾木 H=60 新設
巾木	床材巻上げ巾木 H=100 新設	壁	既設RC面: GB-S 712.5 (GL工法) の上、メラミン化粧板 (柄) 73.0貼り 新設	壁	NW4 既設面: 下地調整RA種の上、メラミン化粧板 73.0貼り 新設
壁	NW1 既設RC面: GB-S 712.5 (GL工法) の上、メラミン化粧板 (柄) 73.0貼り 新設	NW2	LGS W50下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板 (柄) 73.0貼り 新設	NW2	LGS W50下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板 73.0貼り 新設
NW1B	既設RC面: GB-S 712.5 (GL工法) の上、メラミン化粧板 (柄) 73.0貼り 新設	NW3	LGS W100下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板 (柄) 73.0貼り 新設	NW2A	LGS W50下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板 (指定色) 73.0貼り 新設
NW2	LGS W50下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板 (柄) 73.0貼り 新設	NW6	既設面: 下地調整 RB種の上、EP塗り 新設	NW5	LGS W65下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板 73.0貼り 新設
NW2B	LGS W50下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板 (柄) 73.0貼り 新設	天井	NC1 LGS下地、GB-R 79.5+ロックウール吸音板 715貼り (リブ付) 新設	天井	NC3 LGS下地、GB-R 79.5 EP塗り 新設
天井	NC1 LGS下地、GB-R 79.5+ロックウール吸音板 715貼り (リブ付) 新設	天井	NC2 既設面: 下地調整 RB種の上、EP塗り 新設	NC2	LGS下地、せっこうボードの上、AEP塗り 現況のまま
廻り縁	塩ビ製 新設	廻り縁	塩ビ製 新設	廻り縁	塩ビ製 新設
備考	トイレブース 新設 和便器開口閉鎖 小便器部: 専用ライニングパック 新設 (設備工事)	備考	SK部: メラミンポスターフォーム面台 新設	備考	サイン 新設 (サイン詳細図-8 参照)

記号	名前	数量	仕様	1	2	2
	姿		軽量鋼製片引き戸			
	室名		体育館 多機能便所		体育館 女性便所	体育館 女性便所、男性便所
	材質 仕上 見込		枠: 焼付塗装 扉: 焼付塗装		メラミン化粧板 40	メラミン化粧板 40
	硝子		F4		-	-
	金物		ハンガー装置 自閉装置 引き棒 表示錠 アルミガラリ		SUS巾木 表示錠 (非常時開放装置付) 戸当たりフック SK: 取手	SUS巾木 表示錠 (非常時開放装置付) 戸当たりフック SK: 取手
	備考		サイン貼付 (サイン詳細図-9 参照)		アルミカラーアルエッジ フルパネル仕様 コマニー糊 同等品	アルミカラーアルエッジ フルパネル仕様 コマニー糊 同等品

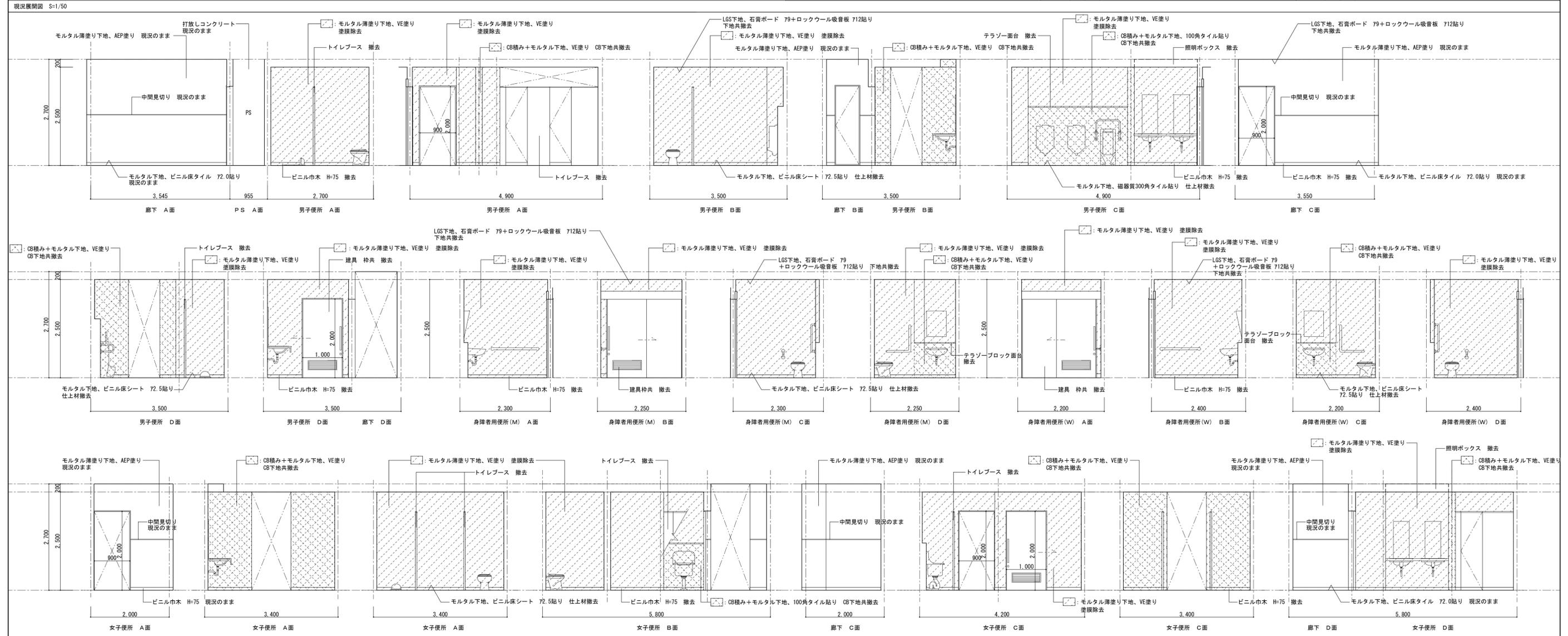


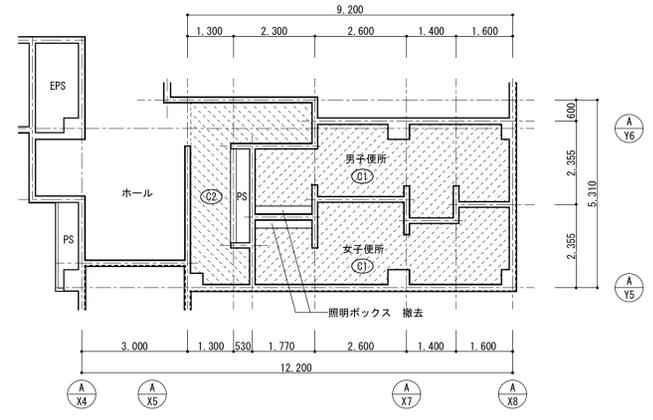
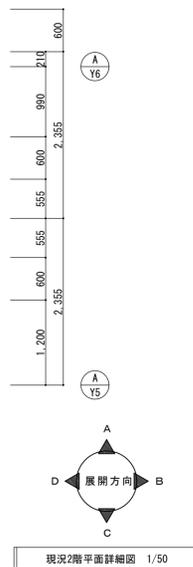
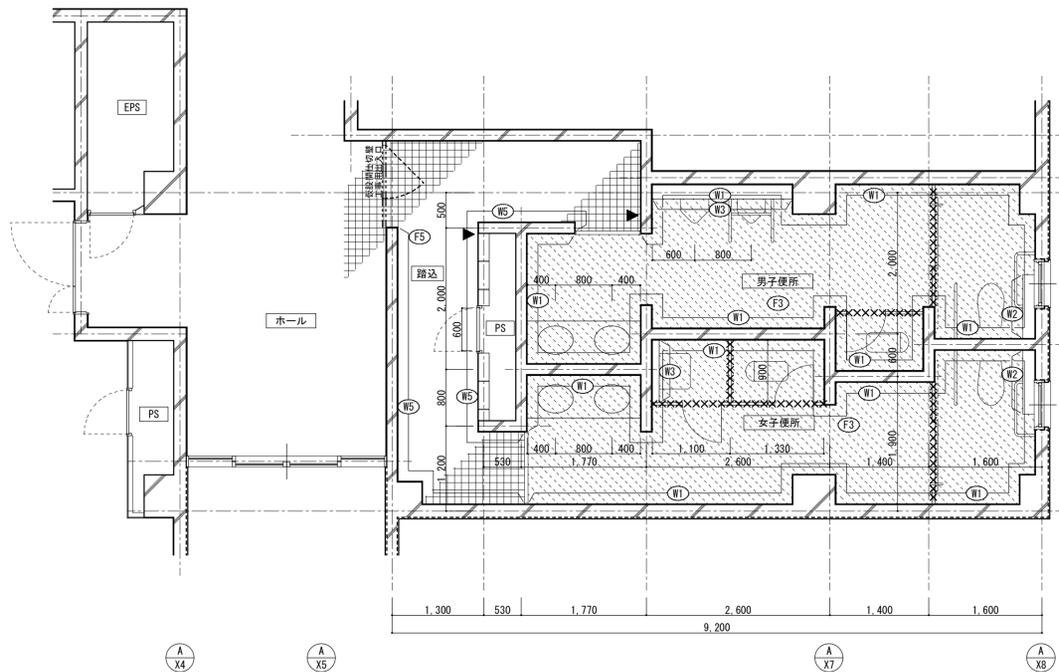


現況仕上表 男子・女子便所	
床 (F1)	1F: モルタル下地、ビニル床シート 72.5貼り 仕上材撤去
床 (F2)	1F小便器部: モルタル下地、磁器質300角タイル貼り 仕上材撤去
床 (F3)	2・3F: 塗膜防水の上、モルタル下地、磁器質300角タイル貼り 下地共撤去
巾木	1F: ビニル巾木 H=75 撤去
壁 (W1)	モルタル薄塗り下地、VE塗り 塗膜除去
壁 (W2)	CB積み+モルタル下地、VE塗り CB下地共撤去
壁 (W3)	小便器部、SK部: CB積み+モルタル下地、100角タイル貼り CB下地共撤去
壁 (W4)	LGS W65下地、石膏ボード 712の上、VE塗り 下地共撤去
天井 (C1)	LGS下地、石膏ボード 79+ロックウール吸音板 712貼り 下地共撤去
廻り縁	プラスチック見切り縁 撤去
備考	トイレブース 撤去
	甲板: テラゾーブロック 撤去

特記事項	現況仕上表 廊下
・改修範囲における衛生設備類については全て撤去を行う事。(設備工事)	床 (F4) 1・3F: モルタル下地、ビニル床シート 72.0貼り 現況のまま
・改修範囲における内装・建具・造作部分については建築工事にて全て撤去を行う事。	床 (F5) 2F: モルタル下地、磁器質100角タイル貼り 現況のまま
・仮設間仕切壁 (二二二: LGS W50+GB-R 712.5程度)及び工事用出入口を設ける事。	巾木 1F: ビニル巾木 H=75 現況のまま
	壁 (W5) 1・2F: モルタル薄塗り下地、AEP塗り 現況のまま
	壁 (W6) 3F: モルタル薄塗り下地、AEP塗り/吹付 現況のまま
	天井 (C2) LGS下地、石膏ボード 79+着色ロックウール吸音板 712貼り 下地共撤去
	廻り縁 アルミ見切り縁 撤去
	備考 サイン 撤去

現況仕上表 身障者用便所	
床 (F1)	1F: モルタル下地、ビニル床シート 72.5貼り 仕上材撤去
巾木	1F: ビニル巾木 H=75 撤去
壁 (W1)	モルタル薄塗り下地、VE塗り 塗膜除去
壁 (W2)	CB積み+モルタル下地、VE塗り CB下地共撤去
天井 (C1)	LGS下地、石膏ボード 79+ロックウール吸音板 712貼り 下地共撤去
廻り縁	プラスチック見切り縁 撤去
備考	甲板: テラゾーブロック 撤去
	サイン 撤去



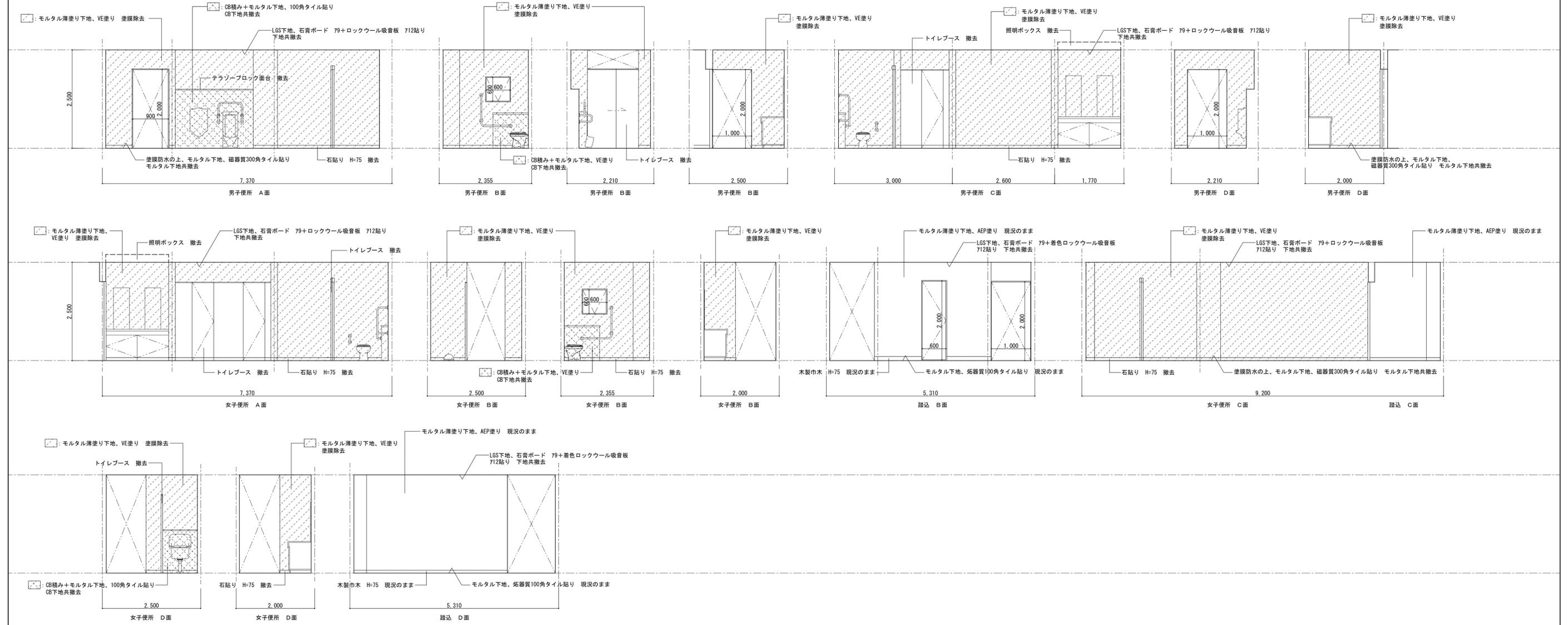


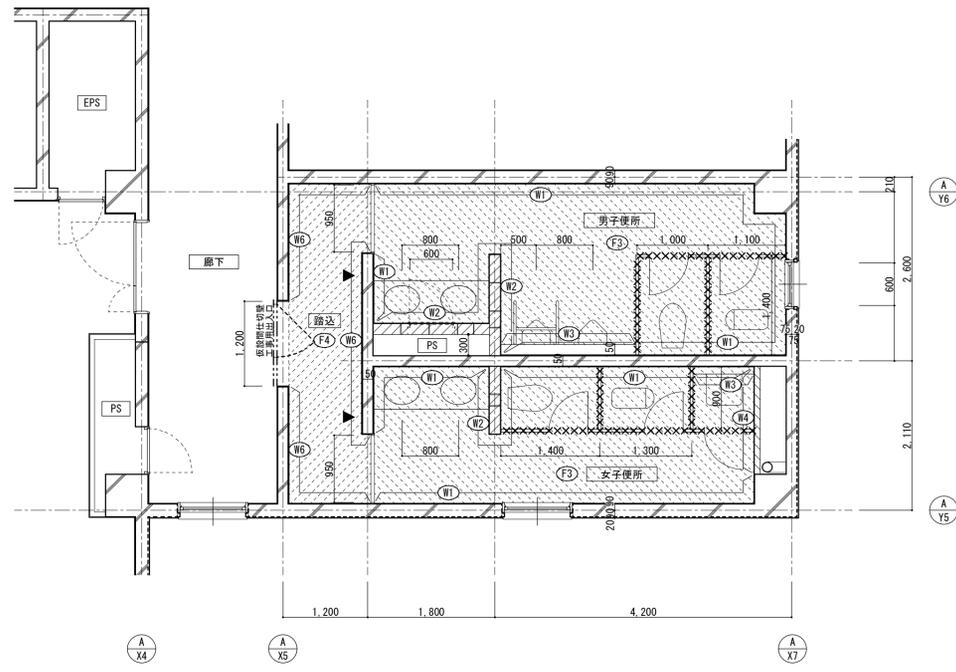
現況2階天井伏図 1/100

※注記
 ・男子便所小便器面台の解体に際し、現状音漏れが発生しているため、原因確認・報告の上、作業を行う事。
 ・仮設間仕切壁（＝＝＝：LGS W50+GB-R 712.5程度）及び工事用出入口を設ける事。

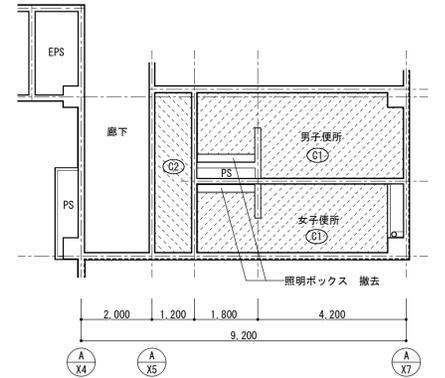
現況仕上表 男子・女子便所	
床	F3 2・3F: 塗膜防水の上、モルタル下地、磁器質300角タイル貼り モルタル下地共撤去
巾木	2・3F: 石貼り H=75 撤去
壁	W1 モルタル薄塗り下地、VE塗り 塗膜除去
	W2 CB積み+モルタル下地、VE塗り CB下地共撤去
	W3 小便器部、SK部: CB積み+モルタル下地、100角タイル貼り CB下地共撤去
	W4 LGS W65下地、石膏ボード 712の上、VE塗り 下地共撤去
天井	C1 LGS下地、石膏ボード 79+ロックウール吸音板 712貼り 下地共撤去
廻り縁	プラスチック見切り縁 撤去
備考	××× トイレブース 撤去
	甲板: テラゾーブロック 撤去
現況仕上表 廊下	
床	F4 1・2F: モルタル下地、ビニル床タイル 72.0貼り 現況のまま
	F5 2F: モルタル下地、磁器質100角タイル貼り 現況のまま
巾木	2・3F: 木製巾木 H=75 現況のまま
	1・2F: モルタル薄塗り下地、AEP塗り 現況のまま
壁	W5 3F: モルタル薄塗り下地、AEP塗り/吹付 現況のまま
	C2 LGS下地、石膏ボード 79+着色ロックウール吸音板 712貼り 下地共撤去
廻り縁	アルミ見切り縁 撤去
備考	▼ サイン 撤去
特記事項	
・改修範囲における衛生設備類については全て撤去を行う事。(設備工事) ・改修範囲における内装・建具・造作部分については建築工事にて全て撤去を行う事。 ・仮設間仕切壁（＝＝＝：LGS W50+GB-R 712.5程度）及び工事用出入口を設ける事。	

現況展開図 S=1/50





現況3階平面詳細図 1/50



現況3階天井伏図 1/100

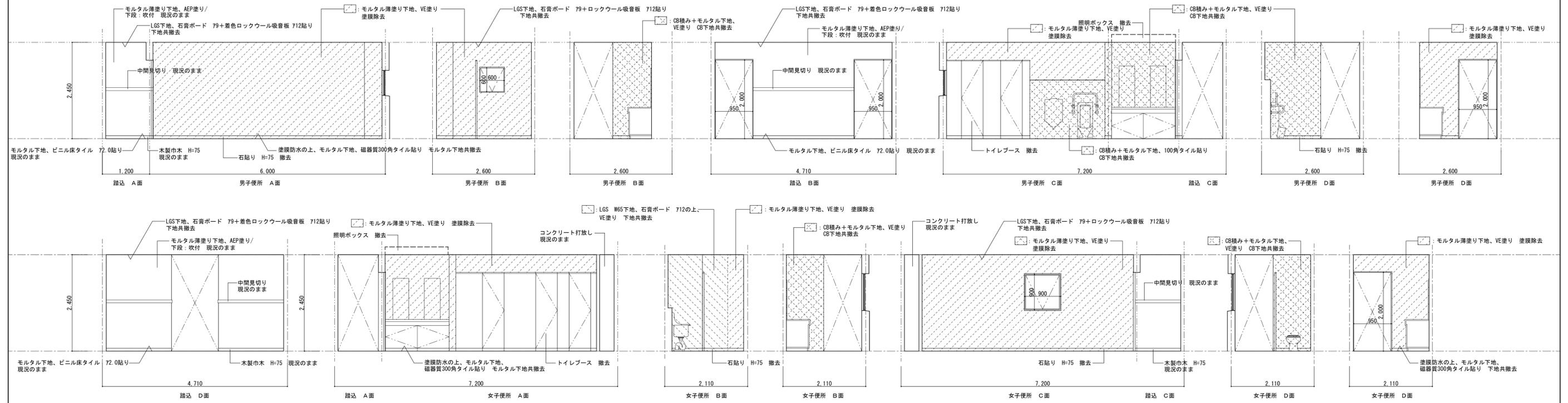
現況仕上表 男子・女子便所	
床	F3 2・3F: 塗膜防水の上、モルタル下地、磁器質300角タイル貼り モルタル下地共撤去
巾木	2・3F: 石貼り H=75 撤去
壁	W1 モルタル薄塗り下地、VE塗り 塗膜除去
	W2 CB積み+モルタル下地、VE塗り CB下地共撤去
	W3 小便器部、SK部: CB積み+モルタル下地、100角タイル貼り CB下地共撤去
	W4 LGS W65下地、石膏ボード 712の上、VE塗り 下地共撤去
天井	C1 LGS下地、石膏ボード 79+ロックウール吸音板 712貼り 下地共撤去
廻り縁	プラスチック見切り縁 撤去
備考	××× トイレブース 撤去
	甲板: テラゾーブロック 撤去

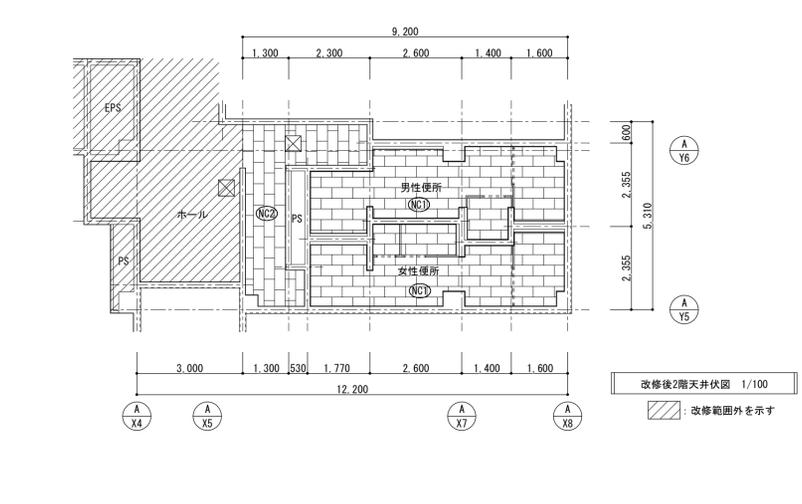
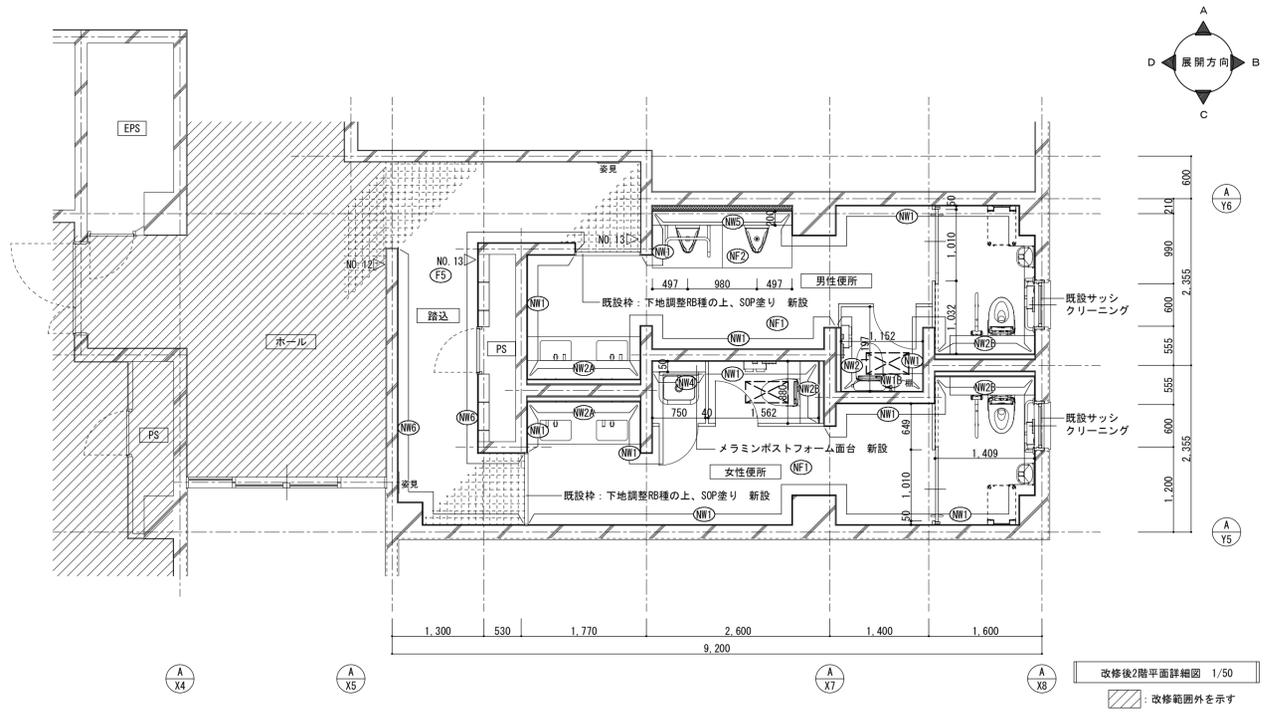
現況仕上表 廊下	
床	F4 1・3F: モルタル下地、ビニル床タイル 72.0貼り 現況のまま
	F5 2F: モルタル下地、磁器質100角タイル貼り 現況のまま
巾木	2・3F: 木製巾木 H=75 現況のまま
壁	3F: モルタル薄塗り下地、AEP塗り/下段: 吹付 現況のまま
天井	C2 LGS下地、石膏ボード 79+着色ロックウール吸音板 712貼り 下地共撤去
廻り縁	アルミ見切り縁 撤去
備考	▼ サイン 撤去

特記事項

- ・改修範囲における衛生設備類については全て撤去を行う事。(設備工事)
- ・改修範囲における内装・建具・造作部分については建築工事にて全て撤去を行う事。
- ・仮設間仕切壁 (====) : LGS W50+GB-R 712.5程度) 及び工事用出入口を設ける事。

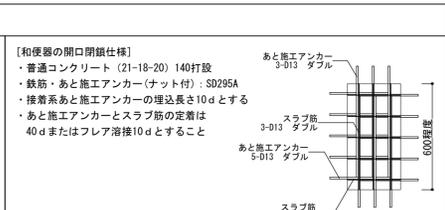
現況展開図 S=1/50





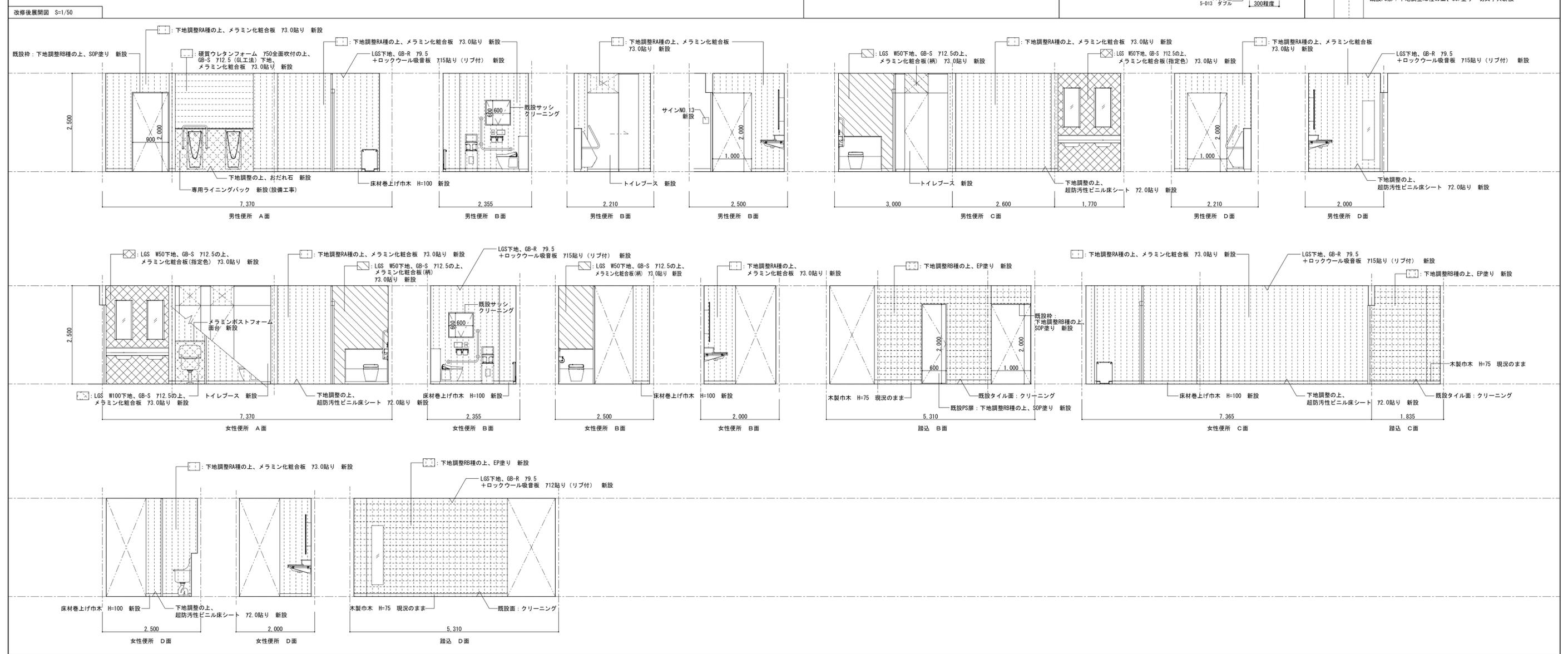
特記事項

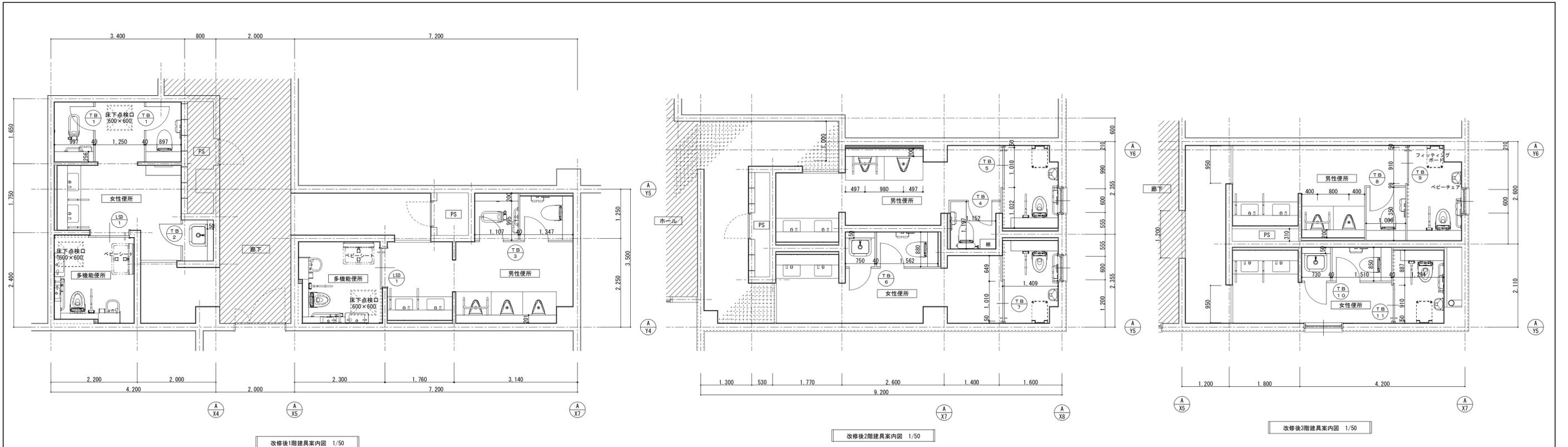
- 床既設面下地調整については、遠隔型調整材にて下地調整を行う事。
- 塩ビ製廻り縁は目透かしタイプとする。
- メラミン化粧板貼付端部及び巾木取合部にはアルミ製見切りを取り付ける事。
- 衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-Sに替え構造用合板にて補強を行う事。
- 天井点検口450角(图中 ⊗)を適宜設ける事。
- メラミン化粧板は、アイカ工業 セラール 同等品とする。
- メラミン化粧板(指定色)は、アイカ工業 COLOR SYSTEM FIT セラール 同等品とする。
- メラミン化粧板(柄)は、アイカ工業 セラールセルサス 同等品とする。
- メラミン化粧板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領による乾燥状態にて施工を行う事。



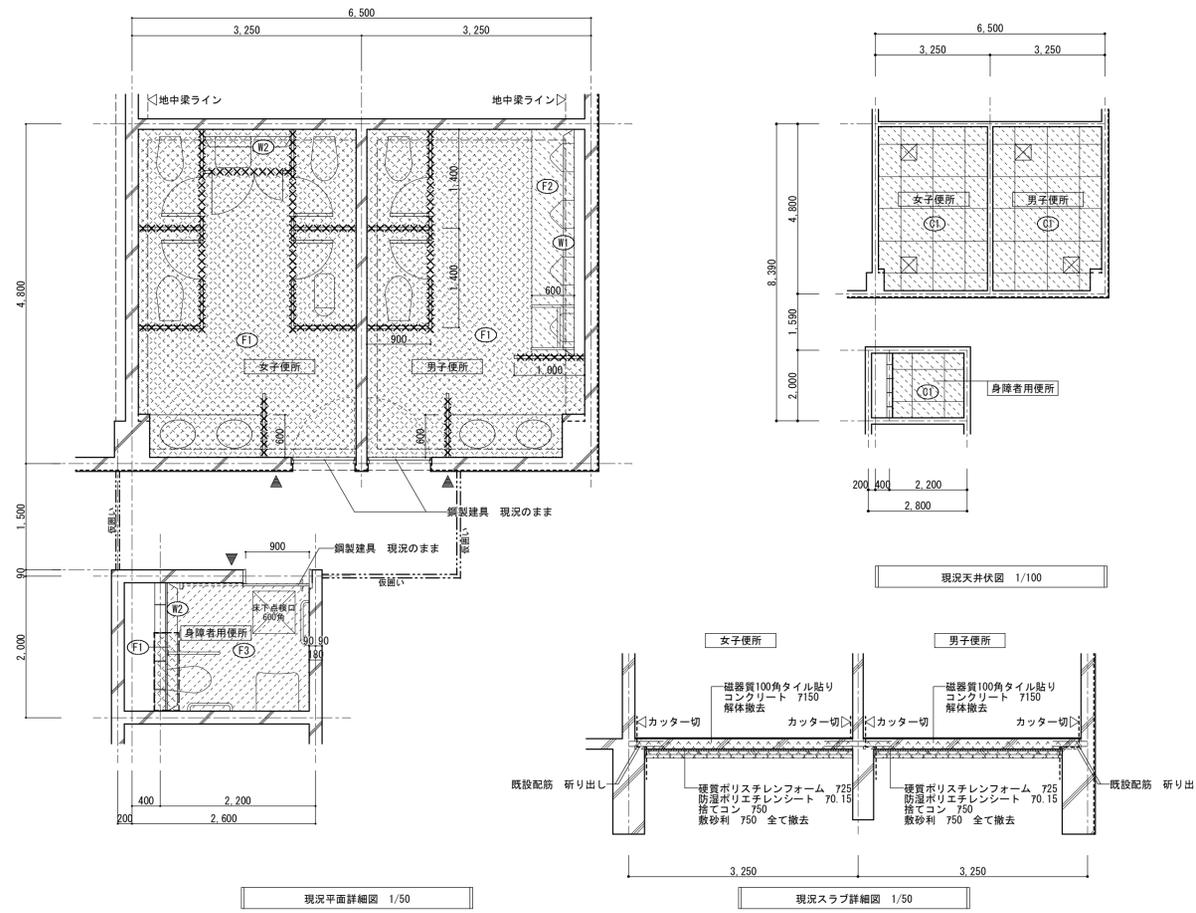
改修後仕上表 男性・女性便所	
床	① 既設面：下地調整の上、超防汚性ビニル床シート 72.0貼り 新設
	② 小便器前：下地調整の上、おだれ石 新設
巾木	床材巻上げ巾木 H=100 新設
壁	① 既設面：下地調整RA種の上、メラミン化粧板 73.0貼り 新設
	② 既設面：下地調整RA種の上、メラミン化粧板(柄) 73.0貼り 新設
	③ LGS W50下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板(柄) 73.0貼り 新設
	④ LGS W50下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板(指定色) 73.0貼り 新設
	⑤ LGS W50下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板(柄) 73.0貼り 新設
	⑥ LGS W65下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板 73.0貼り 新設
	⑦ LGS W65下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板(指定色) 73.0貼り 新設
	⑧ LGS W100下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧板 73.0貼り 新設
	⑨ 硬質ウレタンフォーム 750全面吹付の上、GB-S 712.5 (GL工法) 下地、メラミン化粧板 73.0貼り 新設
天井	① LGS下地、GB-R 79.5+ロックウール吸音板 715貼り (リブ付) 新設
	② LGS下地、GB-R 79.5+ロックウール吸音板 712貼り (リブ付) 新設
廻り縁	塩ビ製 新設
備考	メラミンポストフォーム面台 新設 既設面：下地調整RA種の上、SOP塗り 新設 既設サッシ クリーニング 和便器開口閉鎖

改修後仕上表 踏込	
床	⑤ 既設タイル面：クリーニング
巾木	木製巾木 H=75 現状のまま
壁	⑥ 既設面：下地調整RB種の上、EP塗り 新設
天井	② LGS下地、GB-R 79.5+ロックウール吸音板 712貼り (リブ付) 新設
廻り縁	アルミ製 新設
備考	④ サイン 新設 (サイン詳細図-12.13 参照) 既設PS扉：下地調整RB種の上、SOP塗り 切文字共新設



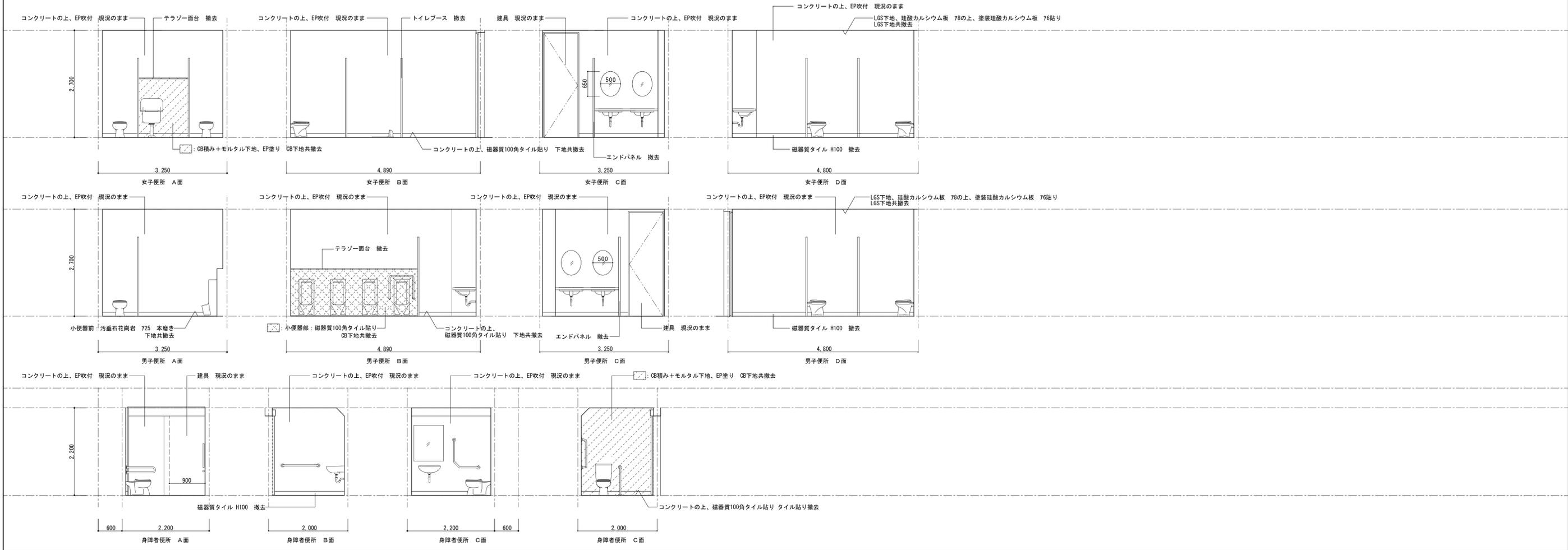


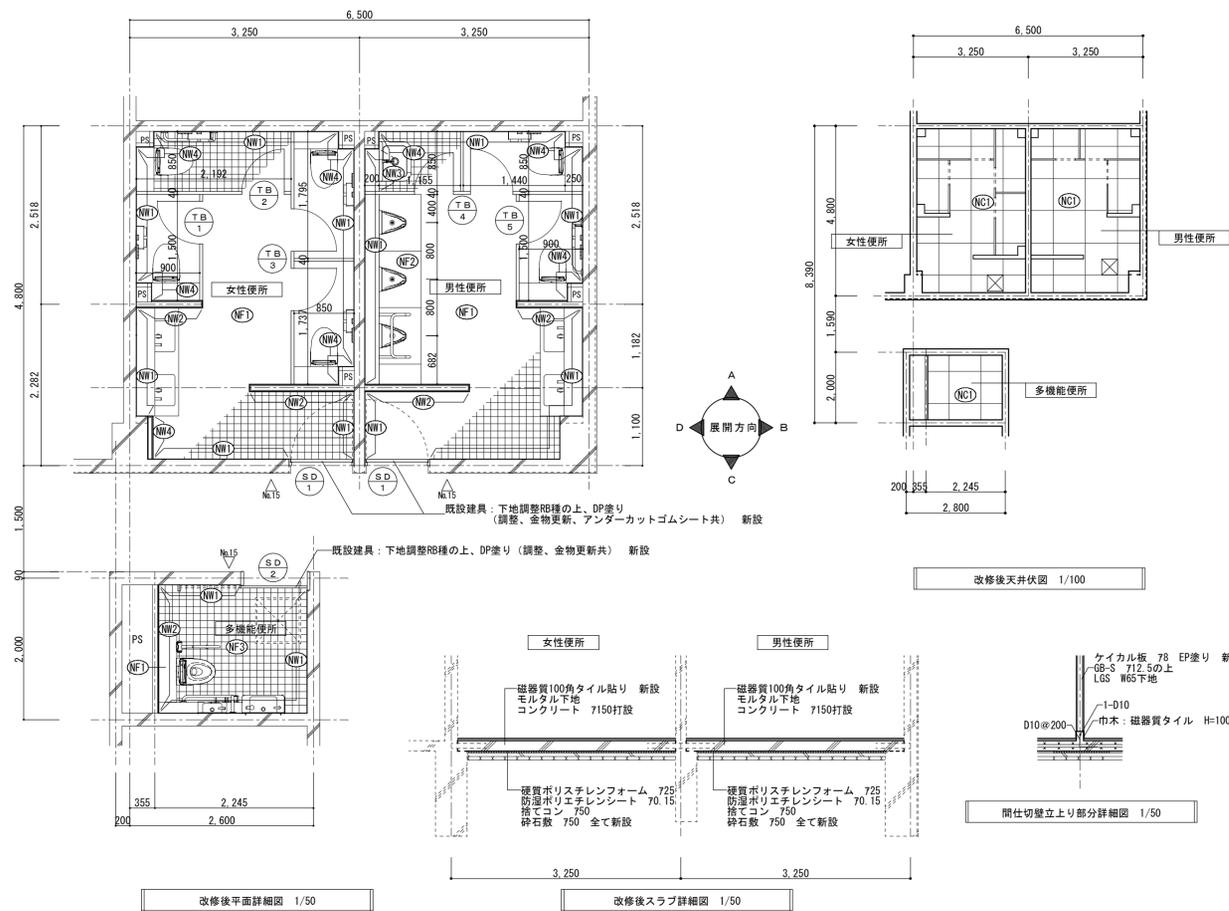
記号 名前 数量	(LSD 1) 鋼製 片開き戸 4	(T.B 1) トイレブース 2	(T.B 2) トイレブース 1	(T.B 3) トイレブース 1	(T.B 4) トイレブース 1	(T.B 5) トイレブース 1	(T.B 6) トイレブース 1
図							
室名	管理棟 1階多機能便所	管理棟 1階女性便所	管理棟 1階女性便所	管理棟 1階男性便所	管理棟 2階男性便所	管理棟 2階男性便所	管理棟 2階女性便所
材質 仕上 見込	枠: 焼付塗装 扉: 焼付塗装	メラミン化粧板 40	メラミン化粧板 40	メラミン化粧板 40	メラミン化粧板 40	メラミン化粧板 40	メラミン化粧板 40
硝子	F4	—	—	—	—	—	—
金物	ハンガー金物 引き棒 表示錠 自閉装置 アルミガラリ	SUS巾木 表示錠 (非常時開放装置付) 戸当りフック	SUS巾木 取手	SUS巾木 表示錠 (非常時開放装置付) 戸当りフック	SUS巾木 表示錠 (非常時開放装置付) 戸当りフック	SUS巾木 ハンガー装置 戸当りゴム 大型ドアハンドル 表示錠 フック	SUS巾木 表示錠 (非常時開放装置付) 戸当りフック SK: 取手
備考		アルミカラーアールエッジ フルパネル仕様 コマニー揃 同等品	アルミカラーアールエッジ フルパネル仕様 コマニー揃 同等品	アルミカラーアールエッジ フルパネル仕様 コマニー揃 同等品	アルミカラーアールエッジ フルパネル仕様 コマニー揃 同等品	アルミカラーアールエッジ フルパネル仕様 コマニー揃 同等品	アルミカラーアールエッジ フルパネル仕様 コマニー揃 同等品
記号 名前 数量	(T.B 7) トイレブース 2	(T.B 8) トイレブース 1	(T.B 9) トイレブース 1	(T.B 10) トイレブース 1	(T.B 11) トイレブース 1		
図							
室名	管理棟 2階女性便所	管理棟 3階男性便所	管理棟 3階男性便所	管理棟 3階女性便所	管理棟 3階女性便所		
材質 仕上 見込	メラミン化粧板 40	メラミン化粧板 40	メラミン化粧板 40	メラミン化粧板 40	メラミン化粧板 40		
硝子	—	—	—	—	—		
金物	SUS巾木 ハンガー装置 戸当りゴム 大型ドアハンドル 表示錠 フック	SUS巾木 表示錠 (非常時開放装置付) 戸当りフック SK: 取手	SUS巾木 ハンガー装置 戸当りゴム 大型ドアハンドル 表示錠 フック	SUS巾木 表示錠 (非常時開放装置付) 戸当りフック SK: 取手	SUS巾木 ハンガー装置 戸当りゴム 大型ドアハンドル 表示錠 フック		
備考	アルミカラーアールエッジ フルパネル仕様 コマニー揃 同等品	アルミカラーアールエッジ フルパネル仕様 コマニー揃 同等品	アルミカラーアールエッジ フルパネル仕様 コマニー揃 同等品	アルミカラーアールエッジ フルパネル仕様 コマニー揃 同等品	アルミカラーアールエッジ フルパネル仕様 コマニー揃 同等品		



現況仕上表 男子・女子便所		
床	F1	コンクリートの上、磁器質100角タイル貼り コンクリート下地共撤去
	F2	小便器前：汚垂石花崗岩 725 本磨き 下地共撤去
巾木		磁器質タイル H=100 撤去
壁		コンクリートの上、EP吹付 現況のまま
	W1	小便器部：磁器質100角タイル貼り CB下地共撤去
	W2	CB積み+モルタル下地、EP塗り CB下地共撤去
天井	G1	LGS下地、珪酸カルシウム板 78の上、塗装珪酸カルシウム板 76貼り LGS下地共撤去
廻り縁		塩ビ製 撤去
備考	XXX	トイレブース 撤去
		テラゾー面台 撤去
	▽	サイン 撤去
現況仕上表 身障者用便所		
床	F1	コンクリートの上、磁器質100角タイル貼り コンクリート下地共撤去
	F3	コンクリートの上、磁器質100角タイル貼り タイル貼り 撤去
巾木		磁器質タイル H=100 撤去
壁		コンクリートの上、EP吹付 現況のまま
	W2	CB積み+モルタル下地、EP塗り CB下地共撤去
天井	G1	LGS下地、珪酸カルシウム板 78の上、塗装珪酸カルシウム板 76貼り LGS下地共撤去
廻り縁		塩ビ製 撤去
備考	▽	サイン 撤去
特記事項		
・改修範囲における衛生設備類については全て撤去を行う事。(設備工事)		
・改修範囲における内装・建具・造作部分については建築工事にて全て撤去を行う事。		
・便所スラブコンクリート撤去においては地中梁に注意し、周囲カッター切の上、コンクリートの解体撤去を行う事。また改修における配筋の定着(40d)を考慮し、周囲は既設配筋を研り出し、残す事。		
・工事作業において仮囲い(=ニ=：ガードフェンス程度)を設ける事。		

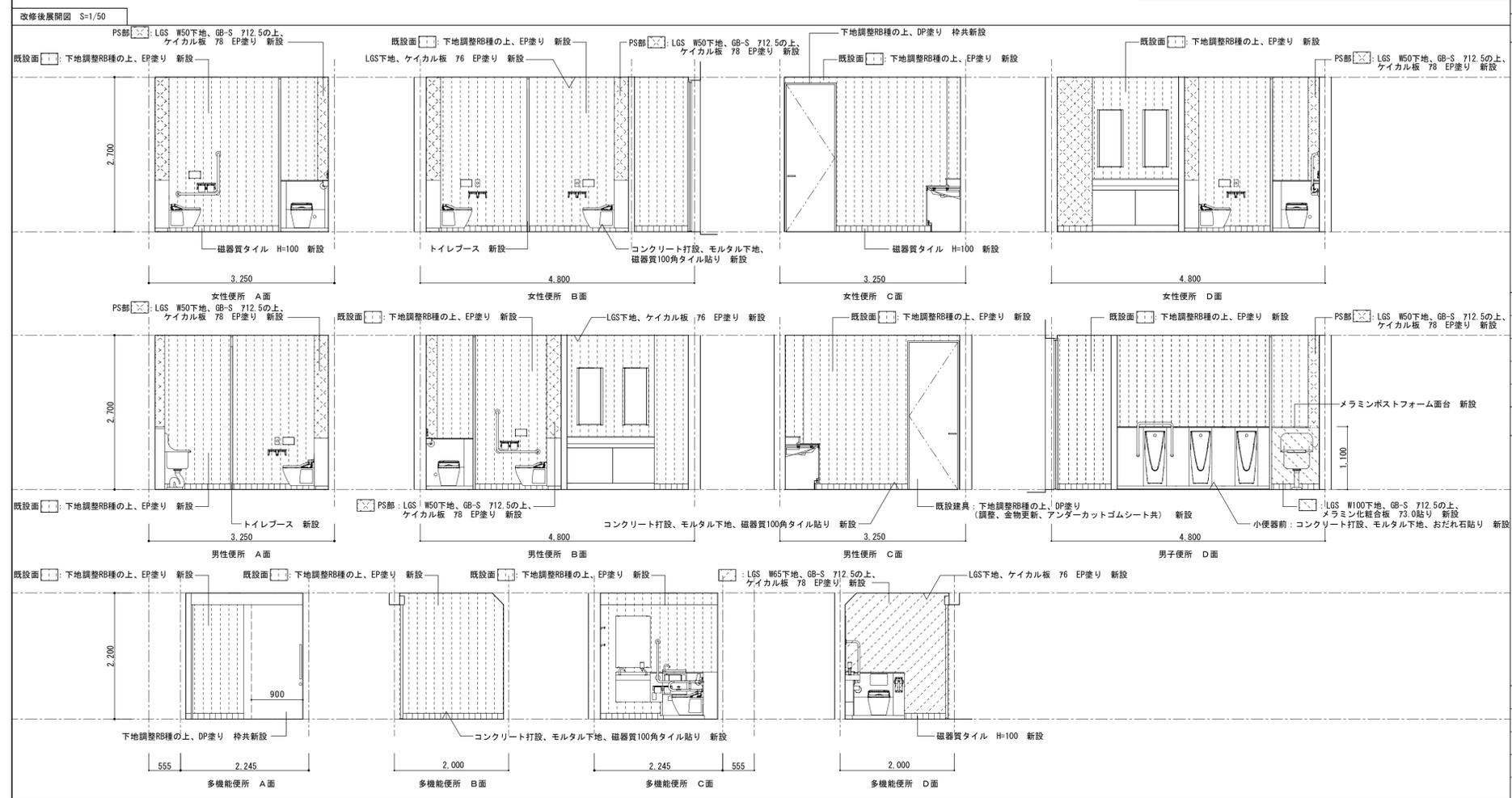
現況展開図 S=1/50

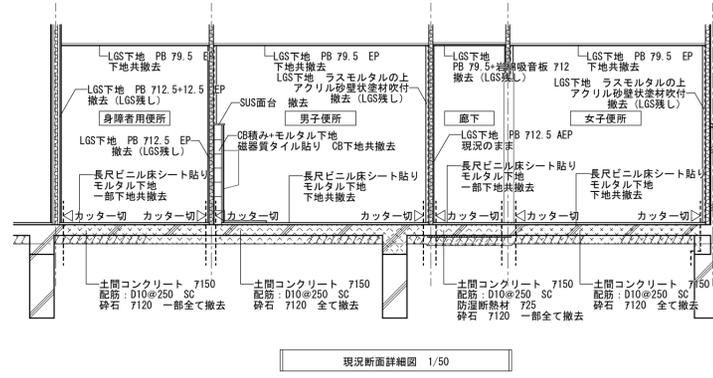
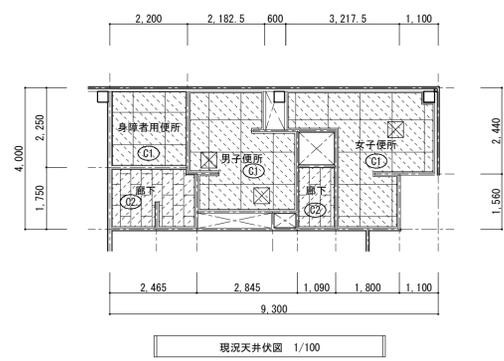
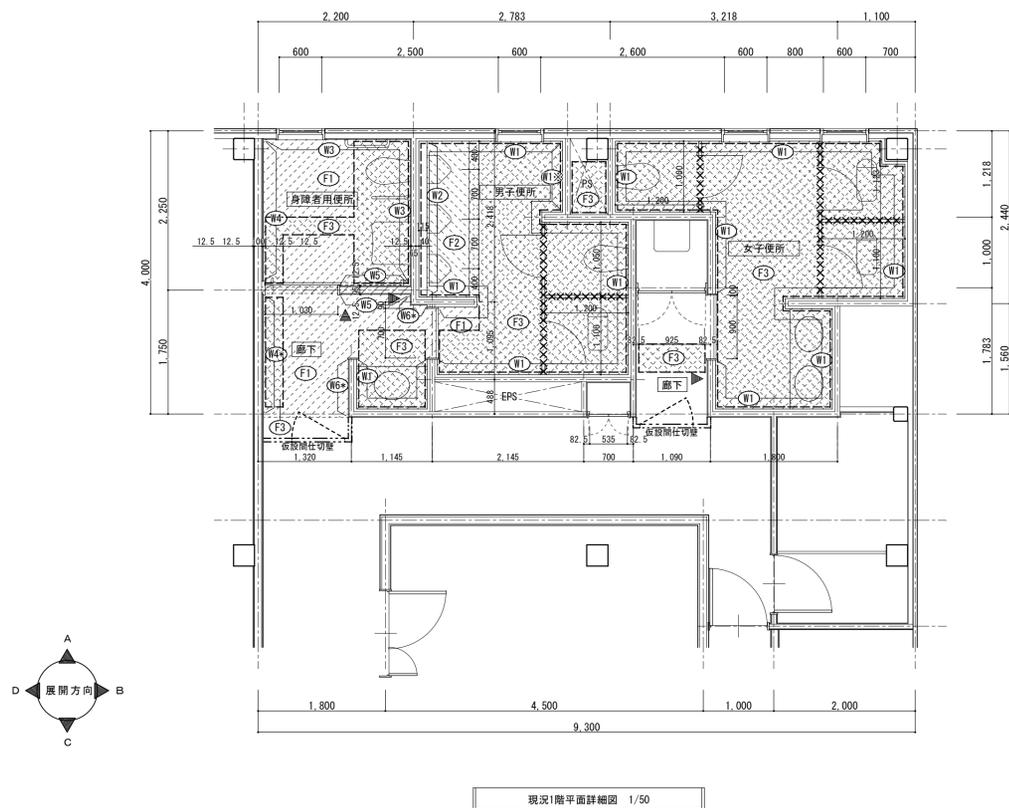




改修後仕上表 男性・女性便所	
床	①F1: コンクリート打設、モルタル下地、磁器質100角タイル貼り 新設 ②F2: 小便器前: コンクリート打設、モルタル下地、おだれ石貼り 新設
巾木	磁器質タイル H-100 新設
壁	①NW1: 既設面: 下地調整R種の上、EP塗り 新設 ②NW2: 間仕切壁: LGS W65下地、GB-S 712.5の上、ケイカル板 78 EP塗り 新設 ③NW3: 面台部: LGS W100下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧合板 73.0貼り 新設 ④NW4: PS部: LGS W50下地、GB-S 712.5の上、ケイカル板 78 EP塗り 新設
天井	①NC1: LGS下地、ケイカル板 76 EP塗り 新設
廻り縁	塩ビ製 新設
備考	▽ サイン 新設 (サイン詳細図-15参照)
改修後仕上表 多機能便所	
床	①F1: 洋便器面台下部: コンクリート打設、モルタル金コテ押え 新設 ②F3: 既設面: 下地調整の上、磁器質100角タイル貼り 新設
巾木	磁器質タイル H-100 新設
壁	①NW1: 既設面: 下地調整R種の上、EP塗り 新設 ②NW2: 間仕切壁: LGS W65下地、GB-S 712.5の上、ケイカル板 78 EP塗り 新設
天井	①NC1: LGS下地、ケイカル板 76 EP塗り 新設
廻り縁	塩ビ製 新設
備考	▽ サイン 新設 (サイン詳細図-15参照)
特記事項	
・塩ビ製廻り縁は目隠しタイプとする。	
・衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-Sに替え構造用合板にて補強を行う事。	
・天井点検口450角 (図中: ⊗) を適宜設ける事。	
・建具枠には防虫対策として忌避ラインテープ貼りをを行う事。	
構造仕様	
設計基準強度: Fc21-18-20 普通コンクリート 厚150	
鉄筋: SD295A	
定着長さ: 40d	
配筋	短辺 上端筋: D13 @200 下端筋: D13 @200 長辺 上端筋: D10・D13 @200 下端筋: D10・D13 @200

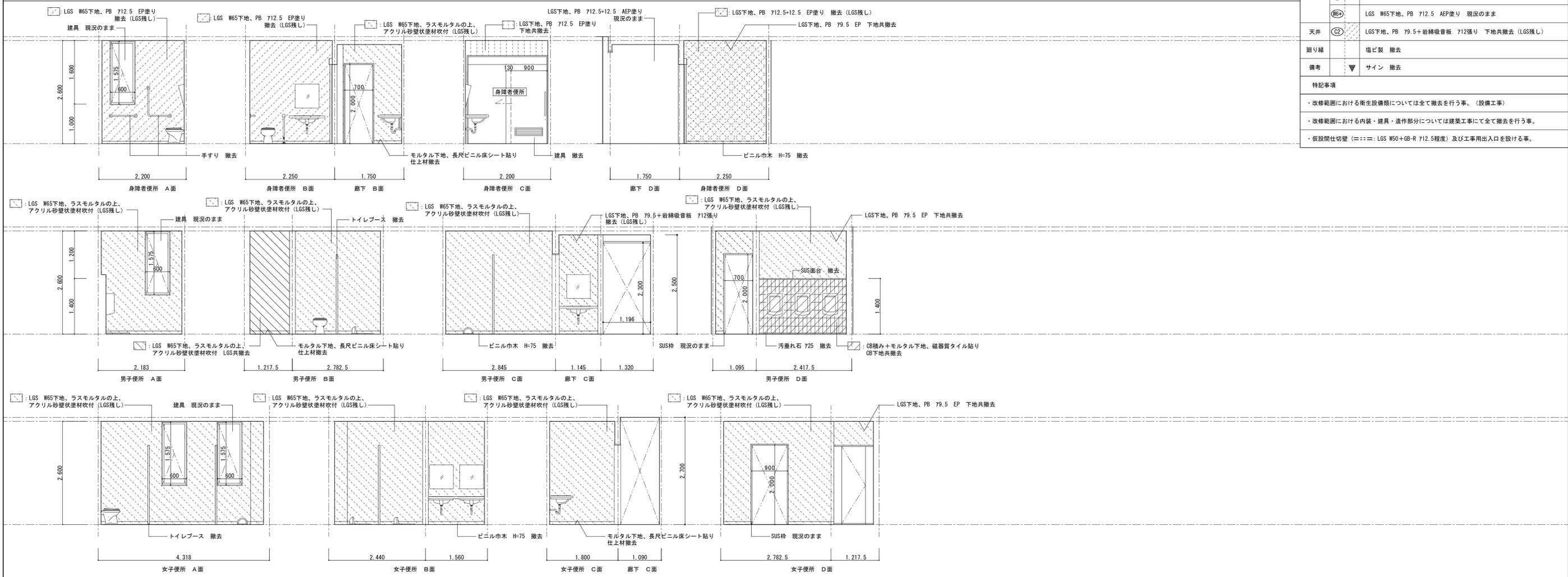
記号 名前 数量	トイレブース	
	T.B. 1	T.B. 2
姿 図		
室名	共生センター 女性便所	共生センター 女性便所
材質 仕上 見込	メラミン化粧板 40	メラミン化粧板 40
硝子	—	—
金物	SUS巾木 表示錠 (非常時開放装置付) 戸当たりフック	SUS巾木 表示錠 (非常時開放装置付) 戸当たりフック
備考	アルミカラーアルエッジ フルパネル仕様 コマニー揃 同等品	アルミカラーアルエッジ フルパネル仕様 コマニー揃 同等品
記号 名前 数量	トイレブース	
	T.B. 3	T.B. 4
姿 図		
室名	共生センター 男性便所	共生センター 男性便所
材質 仕上 見込	メラミン化粧板 40	メラミン化粧板 40
硝子	—	—
金物	SUS巾木 表示錠 (非常時開放装置付) 戸当たりフック SK: 取手	SUS巾木 表示錠 (非常時開放装置付) 戸当たりフック
備考	アルミカラーアルエッジ フルパネル仕様 コマニー揃 同等品	アルミカラーアルエッジ フルパネル仕様 コマニー揃 同等品
記号 名前 数量	トイレブース	
	T.B. 5	
姿 図		
室名	共生センター 男性便所	
材質 仕上 見込	メラミン化粧板 40	
硝子	—	
金物	SUS巾木 表示錠 (非常時開放装置付) 戸当たりフック SK: 取手	
備考	アルミカラーアルエッジ フルパネル仕様 コマニー揃 同等品	
記号 名前 数量	既設 鋼製片引き戸	
	S.D. 1	S.D. 2
姿 図		
室名	園場実験棟 男性便所、女性便所	園場実験棟 多機能便所
材質 仕上 見込	既設 St-1.6 片面フラッシュ: 下地調整R種の上、DP塗り 新設	既設 St-1.6 両面フラッシュ: 下地調整R種の上、DP塗り 新設
硝子	—	—
金物	レバーハンドル シリンダー錠 丁番 取替調整新設	ハンガー装置 自閉装置 引き棒 表示錠 取替調整新設
備考	アンダーカット部: ゴムシート 新設	

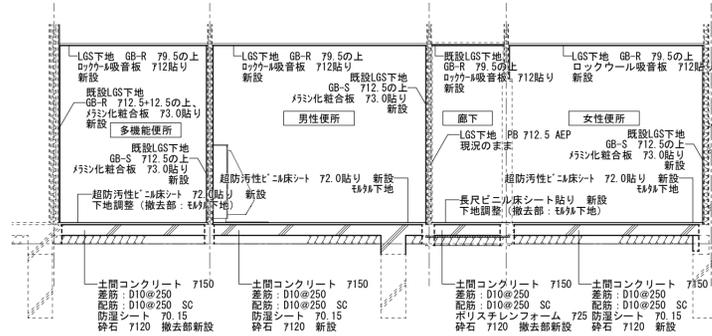
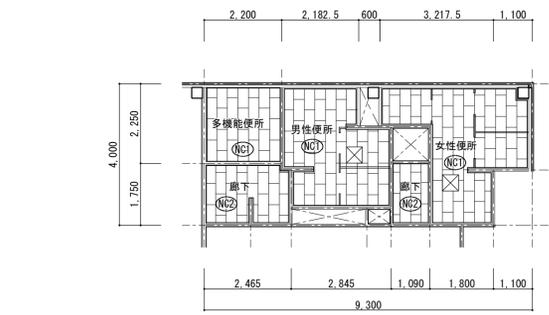
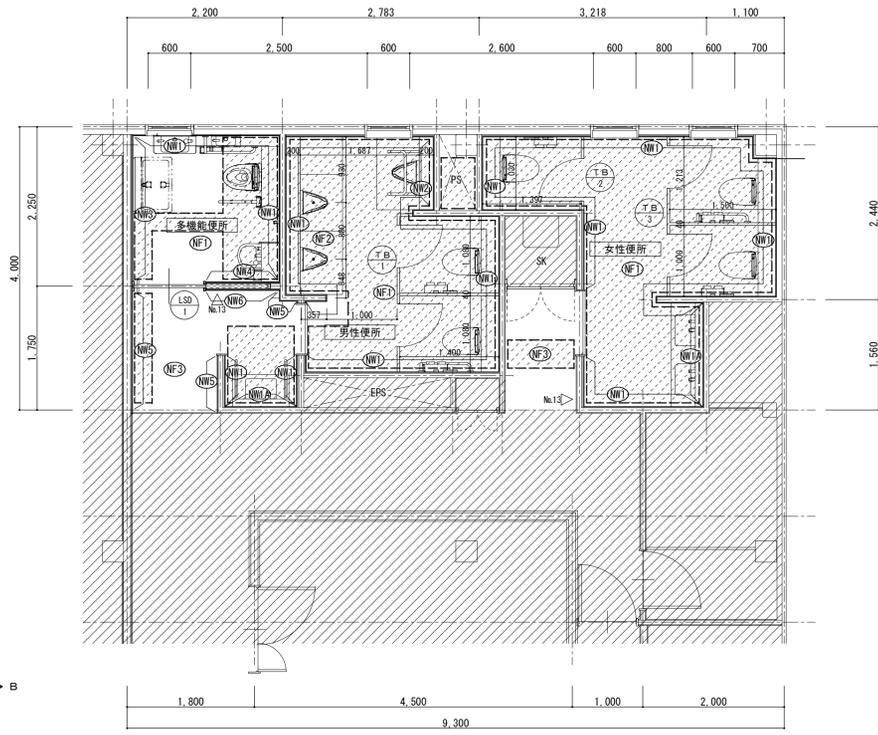




現況仕上表 男子・女子便所	
床	F1: モルタル下地、長尺ビニル床シート貼り 仕上材撤去 F2: 土間コンクリート7150の上、モルタル下地、おだれ石 725 コンクリート共撤去 F3: 土間コンクリート7150の上、モルタル下地、長尺ビニル床シート貼り コンクリート共撤去 (PS内は仕上無し)
巾木	ビニル巾木 H=75 撤去
壁	W1: LGS W65下地、ラスモルタルの上、アクリル砂壁状塗材吹付 (LGS残し) W2: LGS W65下地、ラスモルタルの上、アクリル砂壁状塗材吹付 LGS共撤去 W3: 小便器部: CB積み+モルタル下地、磁器質タイル貼り CB下地共撤去
天井	C1: LGS下地、PB 79.5 EP 下地共撤去
廻り縁	塩ビ製 撤去
備考	××× トイレブース 撤去 甲板SUS 撤去
現況仕上表 身障者用便所	
床	F1: モルタル下地、長尺ビニル床シート貼り 仕上材撤去 F3: 土間コンクリートの上、モルタル下地、長尺ビニル床シート貼り コンクリート共撤去
巾木	ビニル巾木 H=75 撤去
壁	W3: LGS W65下地、PB 712.5 EP塗り 撤去 (LGS残し) W4: LGS下地、PB 712.5+12.5 EP塗り 撤去 (LGS残し) W5: LGS下地、PB 712.5 EP塗り 下地共撤去
天井	C1: LGS下地、PB 79.5 EP 下地共撤去
廻り縁	塩ビ製 撤去
備考	軽量鋼製建具 撤去
現況仕上表 廊下	
床	F1: モルタル下地、長尺ビニル床シート貼り 仕上材撤去 F3: 土間コンクリートの上、モルタル下地、長尺ビニル床シート貼り コンクリート共撤去
巾木	ビニル巾木 H=75 撤去
壁	W4: LGS下地、PB 712.5+12.5 EP塗り 現況のまま W5: LGS下地、PB 712.5 AEP塗り 下地共撤去 W6: LGS W65下地、PB 712.5 AEP塗り 現況のまま
天井	C2: LGS下地、PB 79.5+岩綿吸音板 712張り 下地共撤去 (LGS残し)
廻り縁	塩ビ製 撤去
備考	サイン 撤去
特記事項	
・改修範囲における衛生設備類については全て撤去を行う事。(設備工事)	
・改修範囲における内装・建具・造作部分については建築工事にて全て撤去を行う事。	
・仮設間仕切壁 (====: LGS W50+GB-R 712.5程度) 及び工事用出入口を設ける事。	

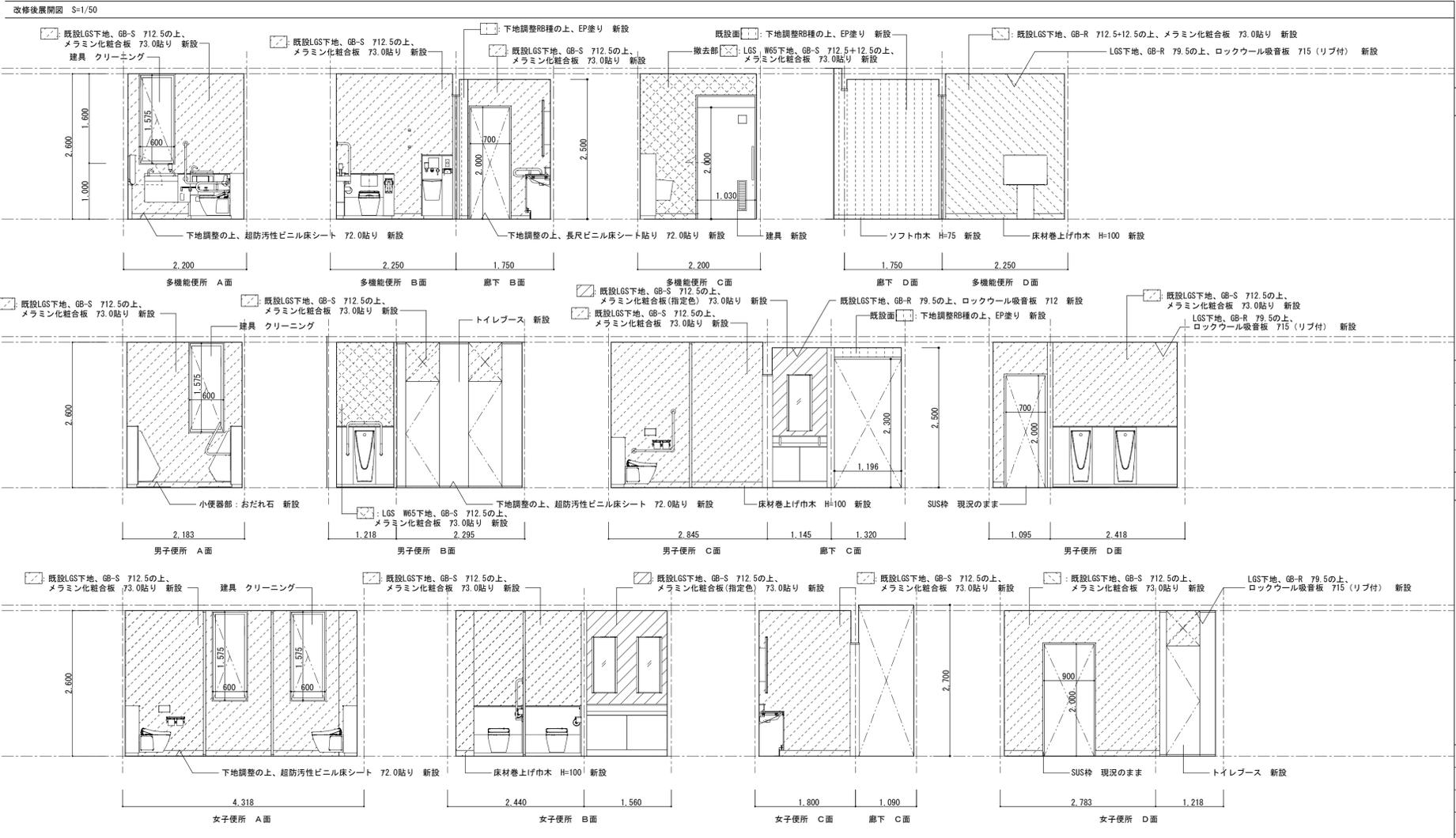
現況展開図 S=1/50



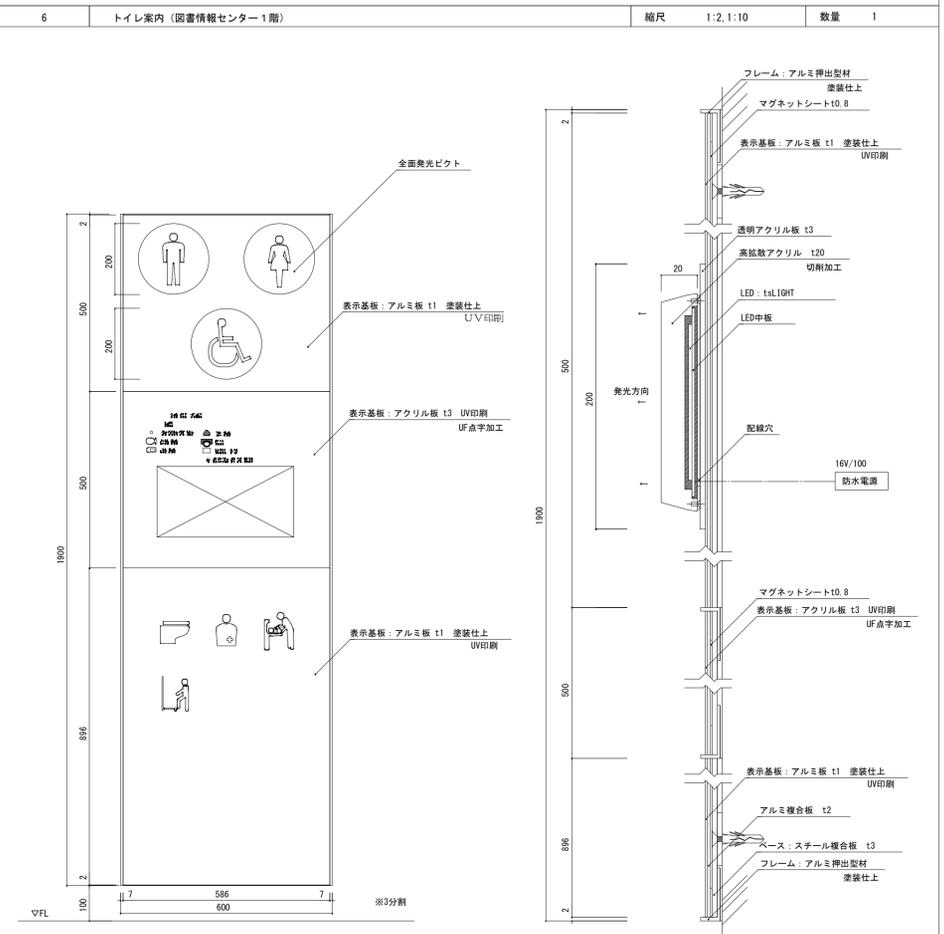
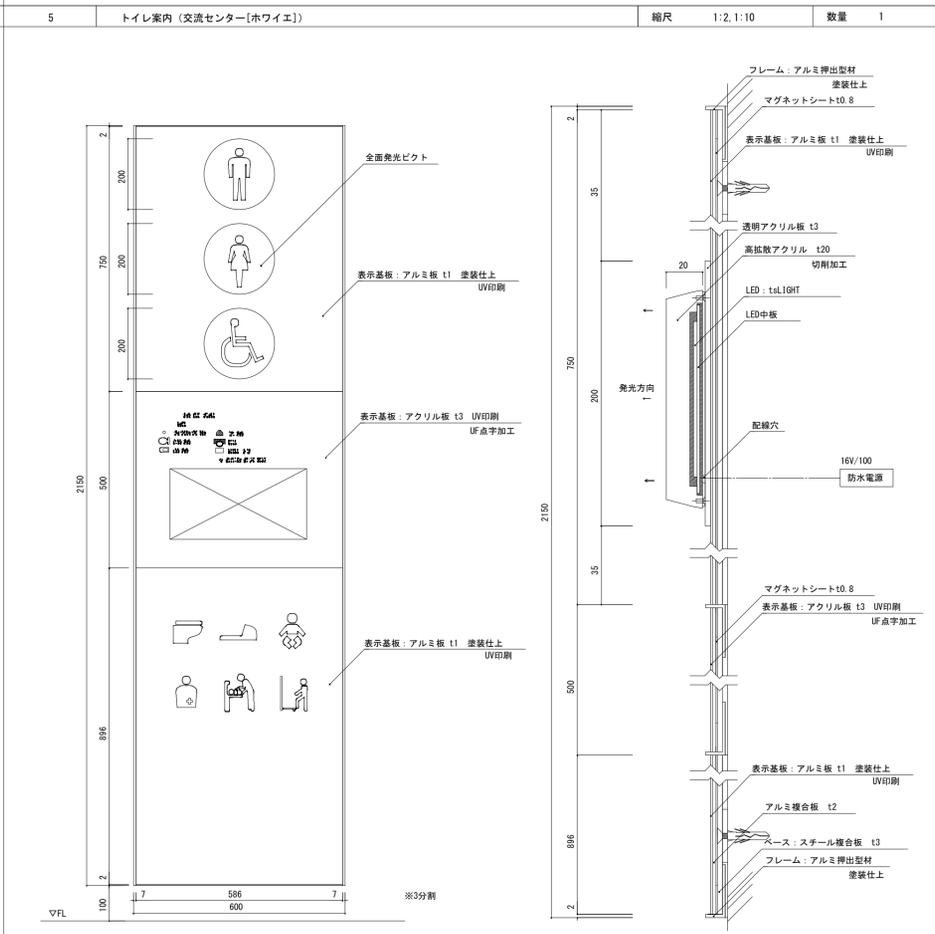
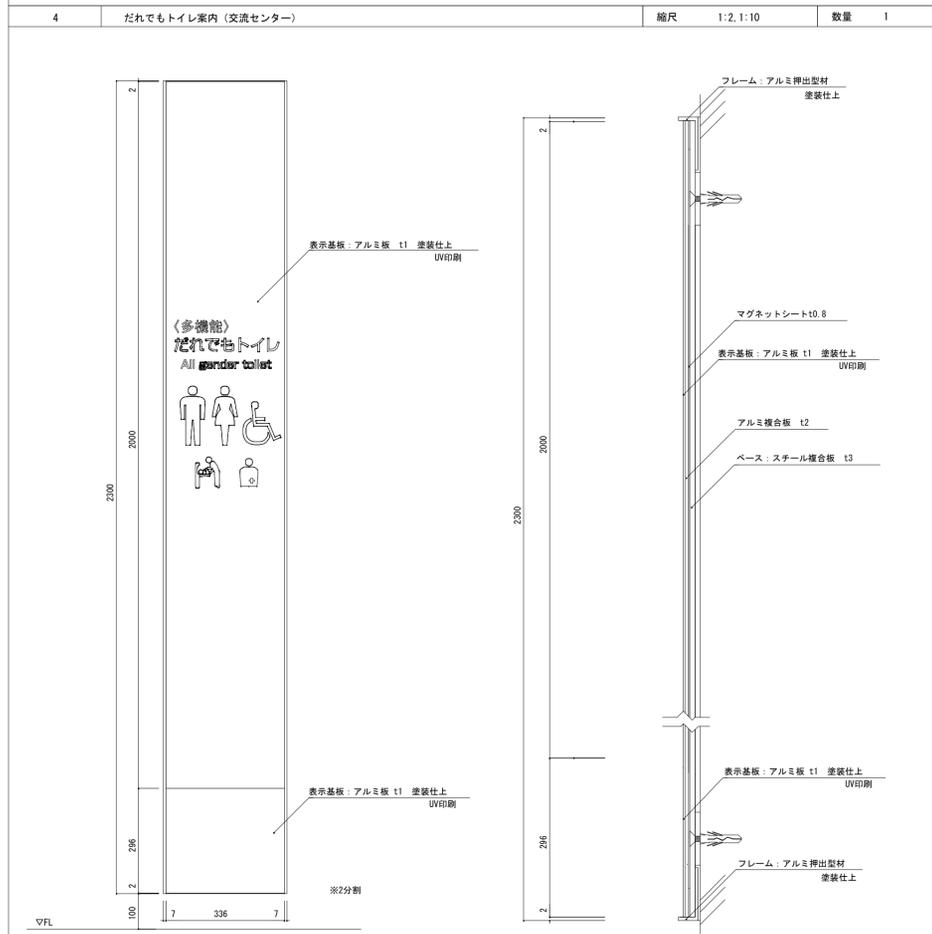
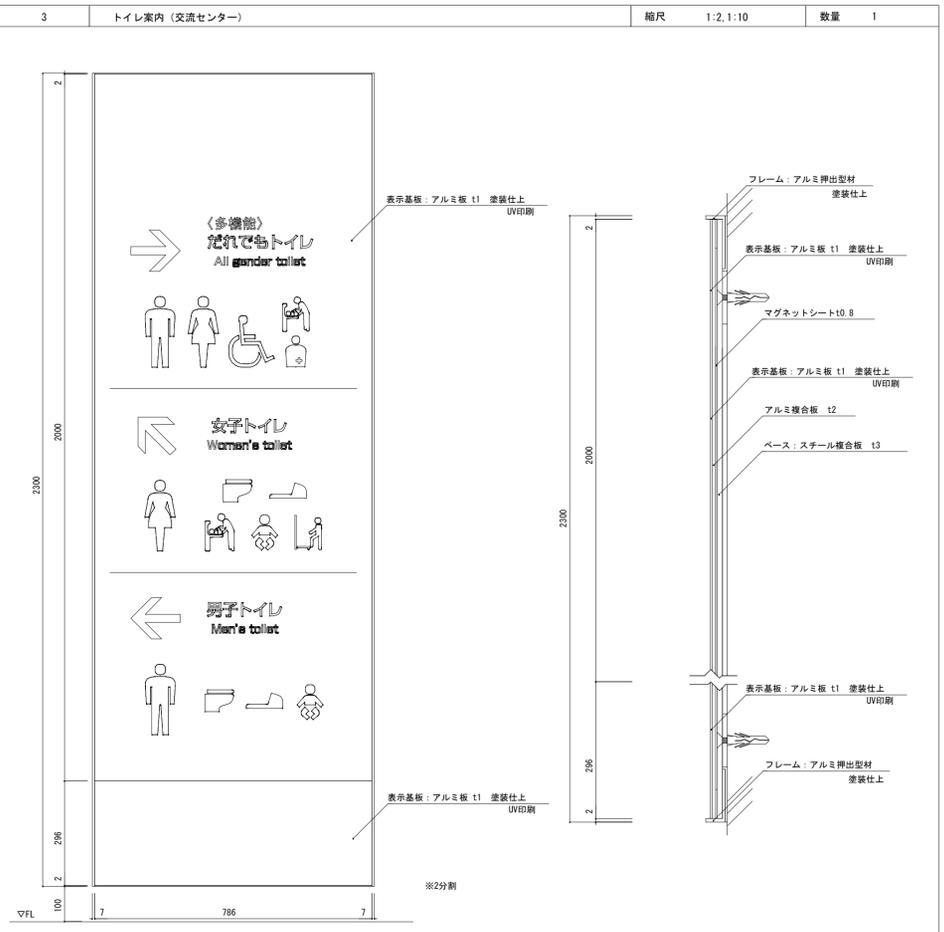
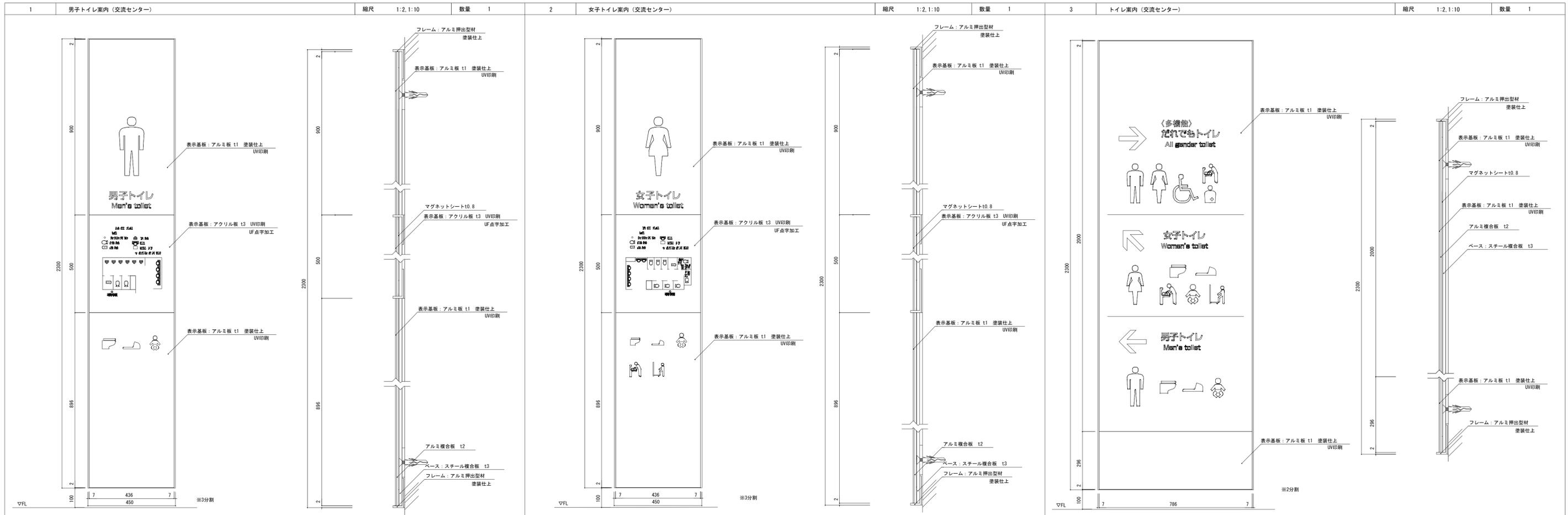


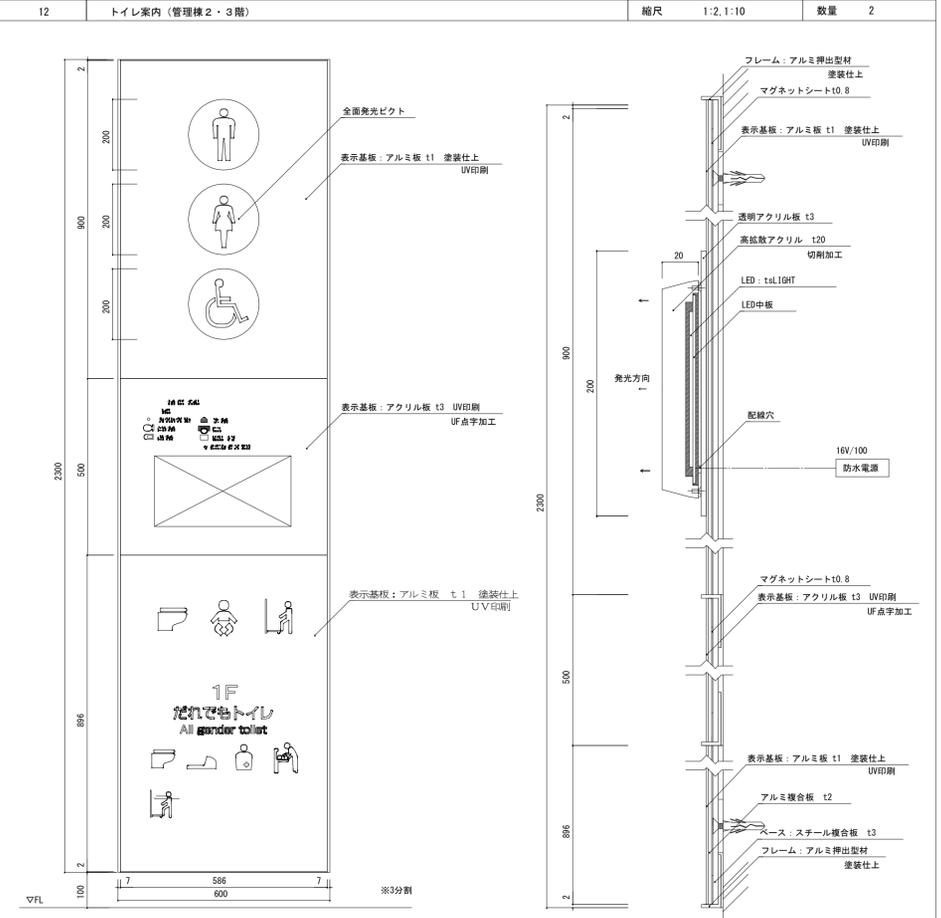
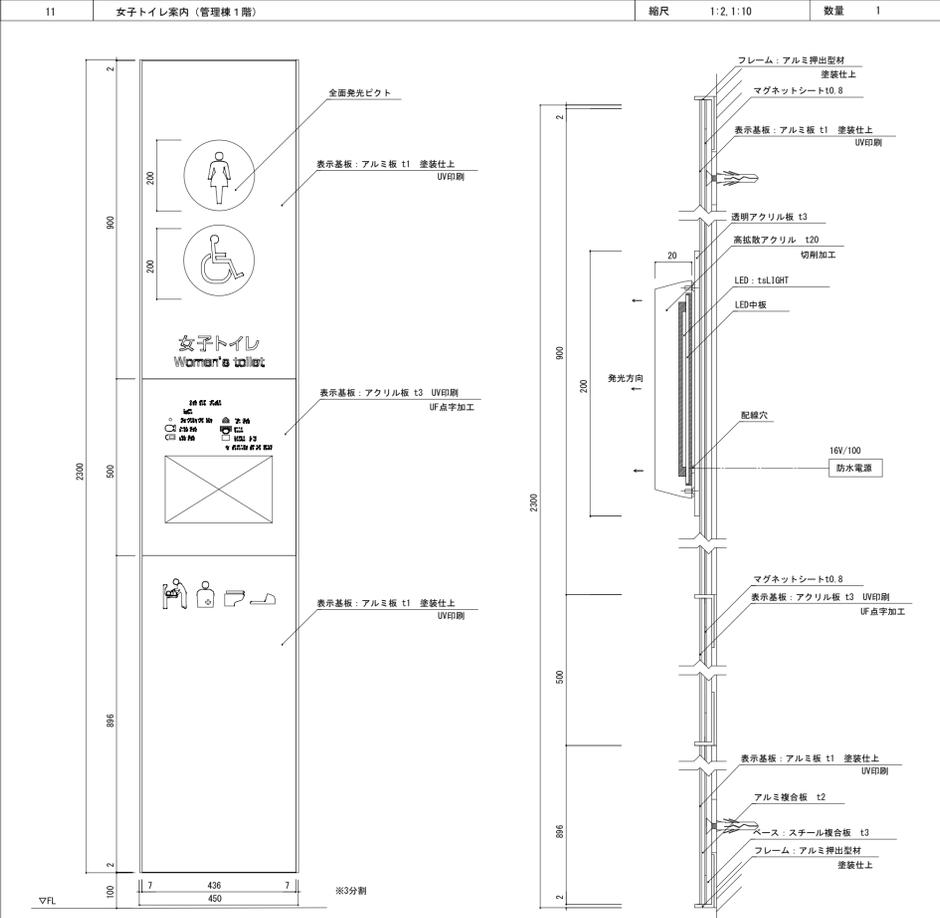
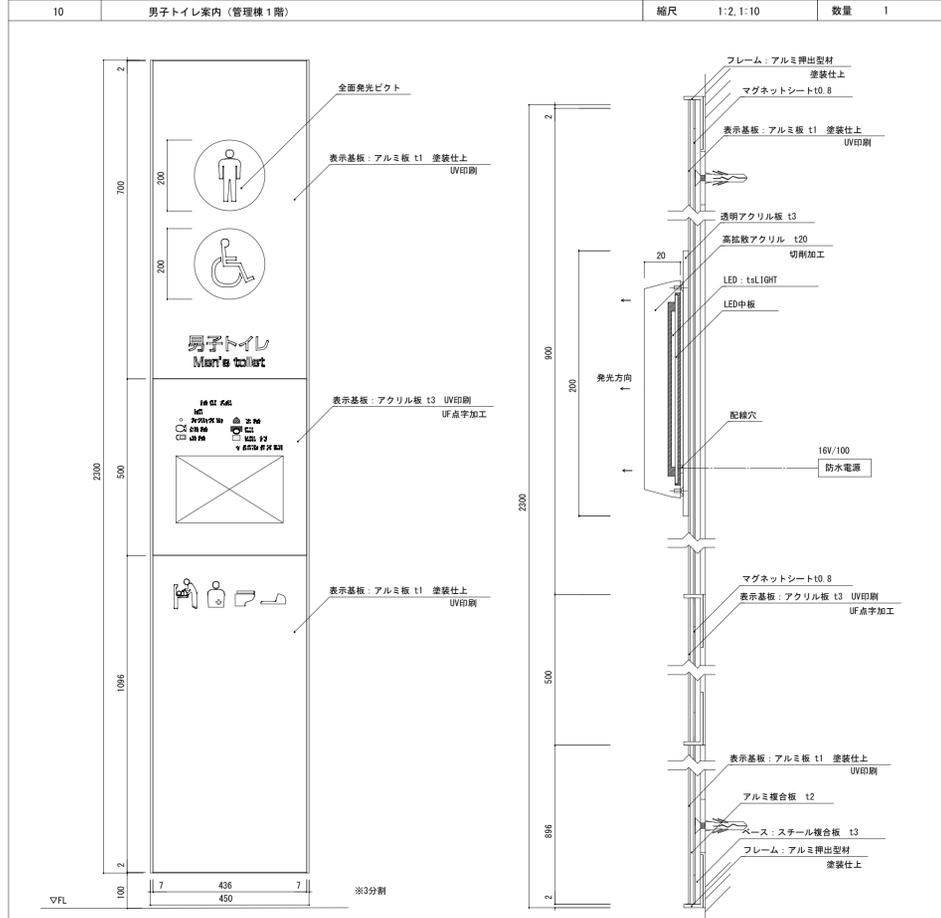
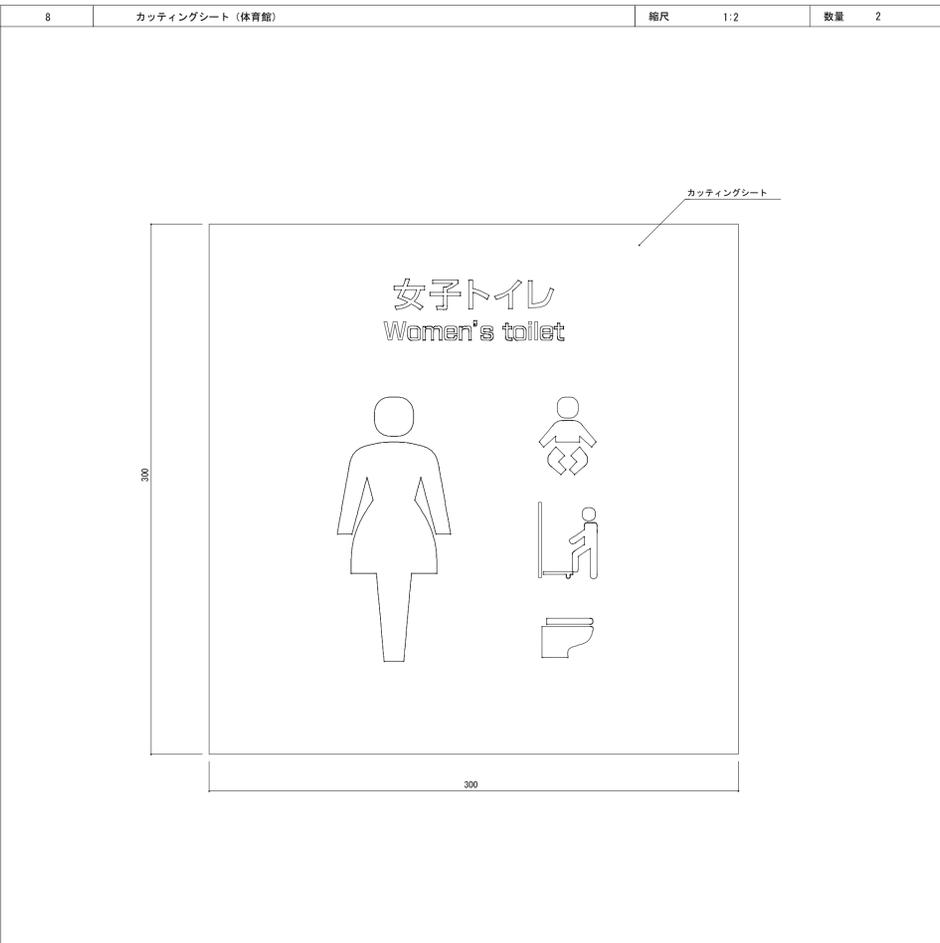
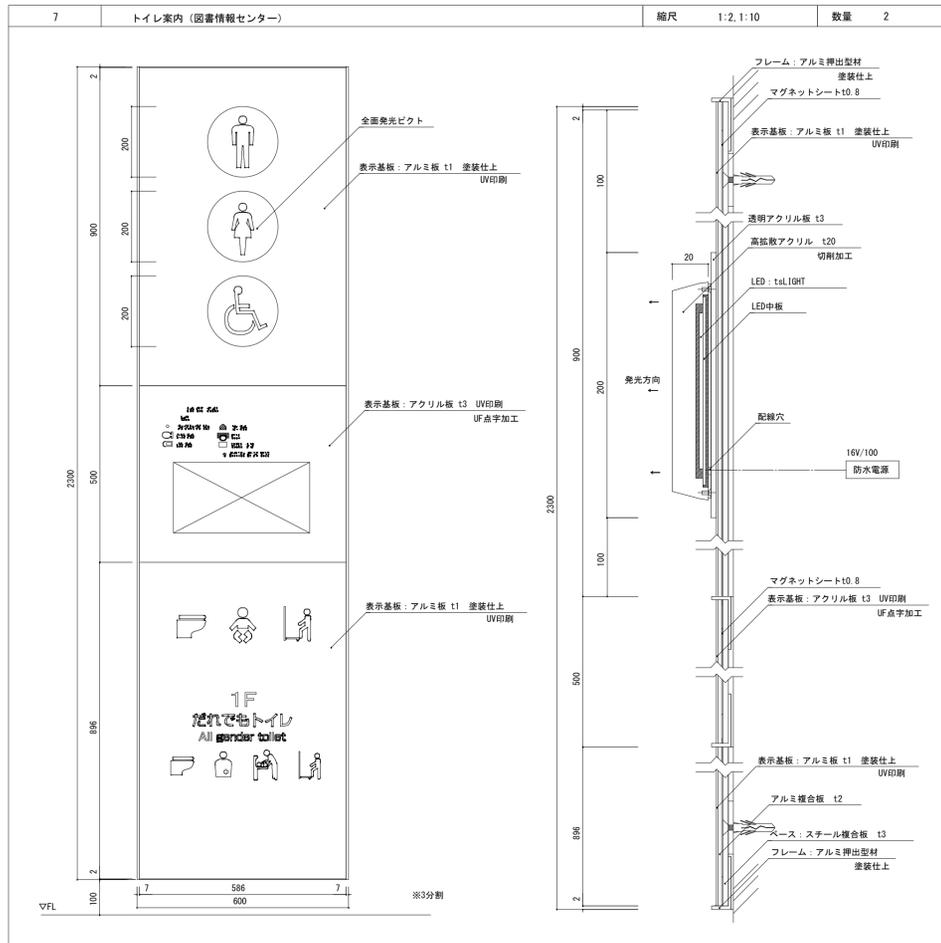
- 特記事項
- ・床既設面下地調整については、速硬型調整材にて下地調整を行う事。
 - ・塩ビ製網り線は目透かしタイプとする。
 - ・メラミン化粧合板貼り端部及び巾木取合部にはアルミ製切りを取り付ける事
 - ・衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-SIに替え構造用合板にて補強を行う事。
 - ・天井点検口450角(中:×)を適宜設ける事。
 - ・メラミン化粧合板は、アイカ工業 セラール 同等品とする。
 - ・メラミン化粧合板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領による乾燥状態で施工を行う事。
 - ・既設建具、サッシはクリーニングを行う事。

改修後仕上表 男性・女性便所	
床 (NF1)	下地調整の上、超防汚性ビニル床シート 72.0貼り 新設
(NF2)	小便器部:おだれ石 新設
	撤去部:砕石 7120+土間コンクリート 7150打設
巾木	床材巻上げ巾木 H=100
壁 (NW1)	既設LGS下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧合板 73.0貼り 新設
(NW1A)	既設LGS下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧合板(指定色) 73.0貼り 新設
(NW2)	LGS W65下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧合板 73.0貼り 新設
天井 (NC1)	LGS下地、GB-R 79.5の上、ロックウール吸音板 712 (リ付) 新設
廻り縁	塩ビ製 新設
備考	トイレベース 新設
改修後仕上表 多機能便所	
床 (NF1)	下地調整の上、超防汚性ビニル床シート 72.0貼り 新設
	撤去部:砕石 7100+土間コンクリート 7120打設
巾木	床材巻上げ巾木 H=100
壁 (NW1)	既設LGS下地、GB-S 712.5の上、メラミン化粧合板 73.0貼り 新設
(NW2)	既設LGS下地、GB-R 712.5+12.5の上、メラミン化粧合板 73.0貼り 新設
(NW3)	撤去部:LGS W65下地、GB-S 712.5+12.5の上、メラミン化粧合板 73.0貼り 新設
天井 (NC1)	LGS下地、GB-R 79.5の上、ロックウール吸音板 712 (リ付) 新設
廻り縁	塩ビ製 新設
備考	軽量鋼製建具 新設
改修後仕上表 廊下	
床 (NF3)	下地調整の上、長尺ビニル床シート貼り 72.0貼り 新設
	撤去部:砕石 7100+土間コンクリート 7120打設
巾木	ソフト巾木 H=75 新設
壁 (NW5)	既設面:下地調整R種の上、EP塗り 新設
(NW6)	撤去部:LGS W65下地、GB-R 712.5+12.5の上、EP塗り 新設
天井 (NC2)	既設LGS下地、GB-R 79.5の上、ロックウール吸音板 712 新設
廻り縁	塩ビ製 新設
備考	サイン 新設 (サイン詳細図-13 参照)



記号	名前	数量	仕様	1	2	3
(LSD) 1	鋼製 片引き戸 (壁内蔵タイプ)	1				
(TB) 1	トイレベース	1				
姿図						
室名	湖沼環境実験施設 多機能便所					湖沼環境実験施設 男性便所
材質 仕上 見込	枠: 焼付塗装 扉: 焼付塗装					メラミン化粧板 40
硝子	F4					-
金物	ハンガール金物、引き棒、表示錠、自閉装置、アルミガラリ					SUS巾木 表示錠 (非常時開放装置付) 戸当りフック
備考	サイン貼付 (サイン詳細図-9 参照)					アルミカラーアルエッジ フルパネル仕様 コマニー糊 同等品
記号	名前	数量	仕様	1	2	3
(TB) 2	トイレベース	1				
(TB) 3	トイレベース	1				
姿図						
室名	湖沼環境実験施設 女性便所					湖沼環境実験施設 女性便所
材質 仕上 見込	メラミン化粧板 40					メラミン化粧板 40
硝子	-					-
金物	SUS巾木 表示錠 (非常時開放装置付) 戸当りフック					SUS巾木 表示錠 (非常時開放装置付) 戸当りフック
備考	アルミカラーアルエッジ フルパネル仕様 コマニー糊 同等品					アルミカラーアルエッジ フルパネル仕様 コマニー糊 同等品





<p>13 平付型ピクトサイン 縮尺 1:2 数量 20</p>	<p>14 カuttingシート (案内所・管理棟1階) 縮尺 1:3 数量 4</p>	<p>15 平付型トイレサイン (園場実鉄場) 縮尺 1:3 数量 3</p>
----------------------------------	--	---

<p>16 カuttingシート (図書情報センター・管理棟) 縮尺 1:1 数量 5</p>	<p>■サイン特記仕様</p> <p>[1] 使用材料</p> <ol style="list-style-type: none"> 木材 : VOC商品 (ホルムアルデヒド基準F☆☆☆☆対応) とする。 アルミ : JIS-H4100 A-6063 S-T5 (アルミ押出型材) アクリル : JIS-K-6718 ステンレス : JIS-G4305 SUS304, HL仕上 <p>[2] フォント</p> <ol style="list-style-type: none"> 書体については、丸ゴシックは「スーラDB」、角ゴシックは「新ゴM」を基準とする。 ※ただし、係員より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。 <p>[3] ピクトグラム</p> <ol style="list-style-type: none"> 図柄については、原稿を作成し係員の承認を受けること。 <p>[4] カラーユニバーサル</p> <ol style="list-style-type: none"> ODDカラー認証取得業者での製作とする。 <p>[5] 取付位置・方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定する。 取付方法については、取付位置の地下などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。 障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定する。 <p>[6] その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるよう脱着式を基本とする。 又、室名札脱着の際には スライドロック機構、専用吸盤などを利用し 商品の損傷等がなスムーズに脱着できる仕様とすること。 サイン計画については、当施設の他工事と充分に調整協議をすること。 	
---	--	--